當ノ旅費ヲ支給ス

第十五條　一日中ノ用務ニ依リ旅費ノ支給額ヲ異ニスル場合ニ於テハ其ノ多キ額ヲ支給ス

第十六條　年度又ハ日ニ依リテ旅費ヲ區分スルノ必要アル場合ニ於テ其ノ區分判明ナラサルトキハ最近ノ到達地ニ著シタル日ヲ以テ其ノ路程ヲ區別シ計算ス

第十七條　旅行中退職又ハ廢職トナリタル者ニハ當任地ニ至ル前職相當ノ旅費ヲ支給ス但シ解職セラレタル者ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ場合ニ於テハ第五條ニ定メタル旅程ノ割合ヲ以テ計算シタル日數ニ依リ旅費ヲ支給ス

旅行中死亡シタル場合ニ於テハ前二項ノ規定ニ準シ旅費ニ相當スル金額ヲ遺族ニ支給ス

第十八條　事務引繼殘務調理等ノ爲退職者ニ旅行ヲ命スルトキハ前職相當ノ旅費ヲ支給ス

第十九條　日當及宿泊料ハ同一地ニ滯在十日ヲ超ユルトキハ其ノ超過日數ニ付定額ノ一割、三十日ヲ超ユルトキハ其ノ超過日數ニ付定額ノ二割、六十日ヲ超ユルトキハ其ノ超過日數ニ付三割、百日ヲ超ユルトキハ其ノ超過日數ニ付定額ノ四割ヲ減ス

同一地ニ滯在中一時他ノ地ニ旅行シタル場合ニ於テハ前項ノ期間ハ前後ノ日數ヲ通算シテ之ヲ定ム

第二十條　樺太ヨリ內地ニ旅行スルトキハ樺太最後ノ發船地迄ヲ樺太ノ旅行トシ內地ヨリ樺太ニ旅行スルトキハ樺太最初ノ著船地迄ヲ內地旅行トシテ各其ノ旅費ヲ支給ス但シ樺太ヨリ內地ヘ乘船當日ハ內地旅行ノ日當內地ヨリ樺太ヘ著船當日ハ樺太旅行ノ日當ヲ支給ス

第二十一條　樺太廳長官ハ本令ニ依ル旅費ノ定額ヲ減シ又ハ町村ヲシテ其ノ全部若ハ一部ノ支給ヲ爲サシメサルコトヲ得

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（別表）

第一號

區分	車馬賃一里ニ付	日當一日ニ付	宿泊料一夜ニ付	移轉料
樺太 月俸二百圓以上ノ者	一圓五十錢	五圓	七圓	百五十圓
樺太 月俸二百圓未滿ノ者 內地	九十錢	四圓	六圓	以內
樺太 月俸二百圓未滿ノ者 內地	七十五錢	三圓	六圓	百圓以內

第二號

區分	陸路一里ニ付	汽車路一粁ニ付	海路一海里ニ付
樺太內ノ移轉料 月俸二百圓以上ノ者	一圓五十錢	十二錢	三十錢
樺太內ノ移轉料 月俸二百圓未滿ノ者	一圓二十錢	九錢	二十錢

第三號

區分	朝鮮臺灣	汽車路二千六百粁以上	汽車路六百五十粁以上	汽車路六百五十粁未滿
樺太外ヨリノ移轉料 月俸二百圓以上ノ者	百五十圓	百二十圓	九十圓	四十五圓
樺太外ヨリノ移轉料 月俸二百圓未滿ノ者	百圓	七十五圓	六十圓	三十圓

備考

路程ノ計算ニ付テハ陸路一里ハ四粁、海路一海里ハ二粁トシ各汽車路ニ計算ス

〔樺法〕

●町村長旅費減額支給規程

昭和四年七月一日
訓令第三百七十號

改正　昭六年一月訓令八號、六月一三七號

支廳　町村役場

有給町村長旅費減額支給規程左ノ通改正ス

町村長旅費減額支給規程

第一條　二級町村長及樺太町村制附則第二項ノ町村ノ有給町村長ノ旅費ハ本令ニ依リ減額支給スヘシ

第二條　講習出席、事務研究等ノ出張ニシテ往復ノ日ヲ除キ同一箇所ニ三十日以上滯在スルトキハ其ノ滯在期間中ノ日當、宿泊料ハ各定額ノ六割ヲ支給スヘシ

第三條　町村內ノ出張ニハ別表ニ依リ日額旅費ヲ支給スヘシ但シ傳染病豫防（種痘並ニ清潔法施行及檢査ヲ除ク）ノ用務ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

一旅行ニシテ町村ノ內外ニ跨ルトキハ町村內ヲ町村外ト看做スヘシ

第四條　町村內ノ出張ニシテ陸路二里未滿、鐵道八粁未滿、水路四海里未滿ノ旅行ニハ旅費ヲ支給スルコトヲ得ス但シ鐵道又ハ水路ニ依リ旅行シタルトキハ鐵道賃又ハ船賃ニ限リ之ヲ支給スヘシ

第五條　日額旅費ヲ受クル者ノ在勤地ト用務地又ハ用務地相互間ノ旅行ニハ鐵道賃、船賃及別表ノ車馬賃ヲ支給シ用務地內ノ旅行ニハ鐵道賃、船賃ニ限リ之ヲ支給スヘシ

第六條　日額旅費ハ夜數ニ依リ之ヲ計算シ宿泊ヲ要セサルトキ及船舶ニ宿泊シタルトキハ其ノ三分ノ一ヲ支給スヘシ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（別表）

區分	車馬賃一里ニ付	日額
月俸二百圓以上ノ者	一圓五錢	九圓
月俸二百圓未滿ノ者	七十五錢	七圓

●有給助役及收入役ノ給料額、旅費額及其ノ支給方法ニ關スル件

大正十一年二月十一日
勅訓令第十號

改正　大一二年三月勅訓令二號、一三年三月三號、昭六年六月一三八號

支廳

有給助役及收入役ノ給料額、旅費額及其ノ支給方法ハ本令ニ依ルヘシ

給料

一　給料ハ月俸トシ其ノ金額ハ別表ニ依ルヘシ

一　有給助役及收入役ニシテ一級俸ヲ受ケ五年ヲ超エ事務熟練成績優等ナル者ニハ特ニ月俸二百七十圓迄ヲ給スルコトヲ得

一　月俸百四十五圓未滿ノ者ニ限リ級俸ニ拘ラス適宜ノ金額ヲ定メ又ハ別表最低額以下ヲ給スルコトヲ得

一　有給助役、收入役轉任ノ場合ニ於テハ發令ノ當日迄甲町村ノ負擔トシ發令ノ翌日ヨリ乙町村ノ負擔トス

一　前項ノ外給料ノ支給方法ニ付テハ町村長ノ給料額及其ノ支給規程ニ準據スヘシ

旅費

一　旅費ハ鐵道賃、船賃、車馬賃、日當、宿泊料、赴任手當及家族旅費ノ七種トシ鐵道賃、船賃及赴任手當ハ町村長ノ例ニ依リ、車馬賃、日當及宿泊料ハ別表ノ定額ニ依ルヘシ

臺灣、朝鮮及外國ノ旅行ニ對シテハ前項ニ依ラス支廳長ニ於テ其ノ都度之カ支給額ヲ定ムヘシ

一　旅費ノ支給方法ニ付テハ有給町村長ノ旅費額及其ノ支給規程ニ準據スヘシ

附則

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

（別表）

給料額

職名＼級俸	一級俸	二級俸	三級俸	四級俸	五級俸	六級俸	七級俸	八級俸	九級俸	十級俸	十一級俸	十二級俸
助役 收入役	二百五十圓	二百十圓	百八十五圓	百七十圓	百五十五圓	百四十五圓	百三十圓	百圓	九十圓	八十圓	七十圓	

旅費額

區別			日當	宿泊料
助役	月俸百五十五圓以上ノ者	棒太	七十五錢	三圓
		内地	七十錢	三圓
	月俸百五十五圓未滿ノ者	棒太	七十五錢	三圓
		内地	七十錢	二圓五十錢
收入役		棒太	七十五錢	三圓
		内地	七十錢	二圓五十錢

一車馬賃ハ一里ニ付一日ニ付一夜ニ付

〔樺法〕

●町村長、助役及收入役ノ臨時代理者ノ給料額旅費額及其ノ支給規程

昭和四年七月一日
勅令第二十六號

改正　昭六年六月勅令二一號

町村長、助役及收入役ノ臨時代理者ノ給料額旅費額及其ノ支給規程左ノ通定ム

町村長、助役及收入役ノ臨時代理者ノ給料額旅費額及其ノ支給規程

第一條　町村長臨時代理者ノ給料額ハ月俸二百七十圓以下助役及收入役ノ臨時代理者ノ給料額ハ月俸二百二十五圓以下トシ其ノ支給ニ付テハ二級町村長ノ給料支給方法ノ例ニ依ル

第二條　臨時代理者公務ニ依リ旅行スルトキハ別表ノ旅費ヲ支給ス其ノ支給ニ付テハ二級町村長ノ旅費支給方法ノ例ニ依ル

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（別表）

區分			車馬賃 一里ニ付	日當 一日ニ付	宿泊料 一夜ニ付
町村長		棒太	九十錢	五圓	七圓
臨時代理者		内地	八十錢	四圓	六圓
助役	臨時代理者	棒太	七十五錢	三圓	六圓
		内地	七十錢	三圓	五圓
收入役		棒太	七十五錢	三圓	五圓
		内地	七十錢	二圓五十錢	四圓五十錢

〔樺法〕

●町村有給吏員退隱料、退職給與金、遺族扶助料及死亡給與金條例（規則）準則

昭和九年一月二十七日
勅令第二號

支廳　町村役場

町村有給吏員退隱料、退職給與金、遺族扶助料及死亡給與金條例（規則）準則左ノ通定メ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

町村有給吏員ノ退隱料、退職給與金、遺族扶助料及死亡給與金規則準則ハ之ヲ廢止ス

町村有給吏員退隱料、退職給與金、遺族扶助料及死亡給與金條例（規則）準則

第一條　本町（村）有給吏員及其ノ遺族ハ本條例（規則）ノ定ムル所ニ依リ

退隱料、退職給與金、遺族扶助料又ハ死亡給與金ヲ受クルノ權利ヲ有ス

第二條　本條例（規則）ニ於テ有給吏員（以下單ニ吏員ト稱ス）トハ有給ノ町（村）長、助役、收入役及棒太町村制施行令第八十二條（大正十一年勅令第八號棒太町村制第十條）ノ吏員ヲ謂ヒ、遺族トハ吏員ノ祖父、祖母、父、母、夫、妻、子及兄弟姉妹ニシテ吏員死亡ノ當時之ト同一戸籍内ニ在ル者ヲ謂フ

吏員死亡ノ當時胎兒タル子出生シタルトキハ前項ノ規定ノ適用ニ付テハ其ノ死亡ノ當時戸籍内ニ在リタルモノト看做ス

第三條　本條例（規則）ニ依リ給與ヲ受クベキ遺族ノ順位ハ恩給法ノ例ニ依ル

第四條　退隱料、退職給與金、遺族扶助料及死亡給與金ノ算定基礎トナルベキ給料額ニ付テハ恩給法第五十九條ノ二ノ例ニ依ル但シ恩給法施行令第二十四條ノ十第一號中七十五圓トアルハ（何）圓トス

第五條　退隱料ハ年金トシ退職給與金、遺族扶助料及死亡給與金ハ一時金トス

第六條　退隱料、退職給與金、遺族扶助料及死亡給與金ノ額ノ圓位未滿ハ之ヲ圓位ニ滿タシム

第七條　退隱料、退職給與金、遺族扶助料及死亡給與金ヲ受クルノ權利ハ五年間請求セザルトキハ時效ニ因リテ消滅ス

第八條　退隱料ノ給與ハ之ヲ給スベキ事由ノ生ジタル月ノ翌月ヨリ之ヲ始メ權利消滅ノ月ヲ以テ終ル

第九條　退隱料ヲ受クルノ權利ヲ有スル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ權利消滅ス

一　死亡シタルトキ

二　死刑又ハ無期若ハ二年ヲ超ユル懲役若ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタルトキ

三　國籍ヲ失ヒタルトキ

在職中ノ職務ニ關スル犯罪（過失犯ヲ除ク）ニ因リ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキハ其ノ權利消滅ス但シ其ノ在職ガ退隱料ヲ受ケタル後ニ爲サレタルモノナルトキハ其ノ再就職ニ因リテ生ジタル權利ノミ消滅ス

第十條　退隱料又ハ退職給與金ヲ受クルノ權利ヲ有スル者其ノ受クベキ給與ヲ受ケズシテ死亡シタルトキハ之ヲ其ノ遺族ニ給シ遺族ナキトキハ死亡者ノ相續人ニ給ス

第十一條　本條例（規則）ニ定ムル給與ヲ受クルノ權利ハ之ヲ讓渡シ又ハ擔保ニ供スルコトヲ得ズ

第十二條　本條例（規則）ニ於テ就職トハ吏員タルノ身分ヲ取得スルヲ謂ヒ退職トハ之ヲ離脫スルヲ謂フ

第十三條　吏員ノ在職年ハ就職ノ月ヨリ之ヲ起算シ退職又ハ死亡ノ月ヲ以テ終ル

退職シタル後再就職シタルトキハ前ノ在職ニ因リ退隱料ヲ受ケタル者ニ限リ前後ノ在職年月數ヲ通算ス

退職シタル月ニ於テ再就職シタルトキハ再在職ノ在職年ハ其ノ翌月ヨリ之ヲ起算ス但シ第十四條ノ場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第十四條　吏員轉職シ又ハ退職ノ當日若ハ翌日再就職シタルトキハ之ヲ

【棒法】

勤續ト看做シ最後ニ退職シタルトキ之ニ退隱料又ハ退職給與金ヲ給ス

第十五條　左ニ揭グル年月數ハ在職年ヨリ之ヲ除算ス

一　退隱料ヲ受クルノ權利消滅シタル場合ニ於テ其ノ權利ノ基礎トナリタル在職年

二　第十六條ノ規定ニ依リ退隱料又ハ退職給與金ヲ受クルノ資格ヲ失ヒタル在職年

第十六條　吏員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ引續キタル在職ニ付退隱料又ハ退職給與金ヲ受クルノ資格ヲ失フ

一　懲戒ニ依リ解職セラレタルトキ

二　在職中禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

第十七條　退隱料ノ年額ハ月割ヲ以テ計算シ每年一月、四月、七月、十月（何月、何月）ノ四期（何期）ニ於テ各其ノ前月分迄ヲ支給ス但シ退隱料ヲ受クルノ權利消滅シタル場合ハ期月ニ拘ラズ之ヲ支給ス前期月ニ支給スベカリシ分ニ付亦同ジ

第十八條　吏員ハ每月其ノ給料月額ノ百分ノ一ニ相當スル金額ヲ本町（村）ニ納付スベシ

第二章　退隱料

第十九條　吏員在職年十五年以上ニシテ退職シタルトキハ之ニ退隱料ヲ給ス

前項ノ退隱料ノ年額ハ在職年十五年以上十六年未滿ニ對シ退職前ノ給料年額ノ四分ノ一ニ相當スル金額トシ十五年以上一年ヲ增ス每ニ其ノ一年ニ對シ退職前ノ給料年額ノ二百四十分ノ一ヲ加ヘタル金額トス

在職年三十年ヲ超ユル者ニ給與スベキ退隱料ノ年額ハ在職年三十年ノ者ニ給スベキ金額トス

第二十條　公務ノ爲傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ不具癈疾トナリ其ノ職ニ堪ヘズシテ退職シタルトキハ其ノ在職年數ニ拘ラズ之ニ退隱料ヲ給ス前項ノ退隱料ハ在職年十五年未滿ノ者ニ在リテハ退職前ノ給料年額ノ四分ノ一ニ相當スル金額トシ十五年以上ノ者ニ在リテハ退隱料年額ニ其ノ十分ノ三ヲ加ヘタル金額トス

第二十一條　退隱料ヲ受クルノ權利ヲ有スル者再就職シ失格原因ナクシテ退職シ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ前後ノ在職年月數ヲ合算シ第十九條又ハ第二十條ノ規定ニ依リ計算シタル退隱料年額ト前退隱料年額トヲ比較シ利益ナル一方ヲ給ス

一　在職年一年以上ニシテ退職シタルトキ

二　公務ノ爲傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ不具癈疾トナリ退職シタルトキ

第二十二條　退隱料ハ之ヲ受クル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ間全部又ハ一部ノ支給ヲ停止ス

一　本町（村）ノ吏員トナリタルトキハ就職ノ翌月ヨリ退職ノ月迄其ノ全額但シ實在職一月未滿ナルトキハ此ノ限ニ在ラズ

二　二年以下ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタルトキハ其ノ翌月ヨリ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至リタル月迄其ノ全額但シ刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ受ケタルトキハ退隱料ハ之ヲ停止セズ其ノ言渡ヲ取消サレタルトキハ取消ノ翌月ヨリ刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至リタル月迄之ヲ停止ス

三　四十五歲ニ滿ツル月迄ハ退隱料ノ八分ノ一ヲ停止ス

四　官職又ハ第一號以外ノ公職ニ就キ俸給又ハ給料ヲ受クル場合其ノ俸給又ハ給料月額ト退隱料月額トヲ合シタル額ガ退隱料算定ノ基礎トナリタル給料月額ヲ超過スルトキハ其ノ超過額ノ支給ヲ停止ス

前項第三號ノ規定ハ第二十條ノ退隱料ニハ之ヲ適用セズ

第一項第四號ノ場合ニ於テ同項第三號ノ停止ヲ受クル者ニ付テハ其ノ停止額ヲ控除シタル殘額ヲ以テ退隱料月額トス

第三章　退職給與金

第二十三條　在職年四年以上十五年未滿ニシテ退職シタルトキハ之ニ退職給與金ヲ給ス但シ退隱料ヲ給スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

退職給與金ノ金額ハ在職十年未滿ノ者ニ在リテハ退職前ノ給料月額ノ十分ノ八ニ、十年以上十五年未滿ノ者ニ在リテハ退職前ノ給料月額ニ各其ノ在職年數ヲ乘ジタル金額トス

第四章　遺族扶助料

第二十四條　吏員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ遺族ニ遺族扶助料ヲ給ス

一　在職年十五年以上ノ者在職中死亡シタルトキ

二　在職年十五年未滿ノ者在職中公務ノ爲死亡シタルトキ

遺族扶助料ノ金額ハ退隱料年額ノ三倍ニ相當スル金額トス

第二十五條　遺族中未成年ノ子ハ未ダ婚姻セザルトキ、夫又ハ成年ノ子ハ不具廢疾ニシテ生活資料ヲ得ルノ途ナク且之ヲ扶養スル者ナキトキニ限リ之ニ遺族扶助料ヲ給ス

養子ハ吏員ノ家督相續人タルトキ又ハ吏員ガ家督相續人ニシテ之ヲ戶主ト看做ストキハ其ノ死亡ノトキニ於テ其ノ家督相續人トナルベキ者タルトキニ限リ之ニ遺族扶助料ヲ給ス但シ退隱料又ハ遺族扶助料ハ之ヲ本條例（規則）ニ依リ受クルモノト看做ス但シ其ノ給與額ニ付テハ從前ノ規定ニ依ル

第二十六條　吏員在職年四年以上十五年未滿ニシテ在職中死亡シタルトキハ其ノ遺族ニ死亡給與金ヲ給ス但シ遺族扶助料ヲ給スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

死亡給與金ノ金額ハ吏員死亡前ノ給料月額ノ二分ノ一ニ其ノ在職年數ヲ乘ジタル金額トス

前條ノ規定ハ第一項ノ給與金ヲ支給スル場合ニ付之ヲ準用ス

附　則

第二十七條　本條例（規則）ハ昭和何年何月何日（公布ノ日）ヨリ之ヲ施行ス

第二十八條　何町（村）有給吏員ノ退隱料、退職給與金、遺族扶助料及死亡給與金規則（條例）ハ之ヲ廢止ス

第二十九條　本條例（規則）施行前給與事由ノ生ジタル退隱料、退職給與金、遺族扶助料及死亡給與金ニ付テハ從前ノ規定ニ依ル但シ支給期ニ付テハ第十七條ノ規定ヲ適用ス

從前ノ規定ニ依ル退隱料又ハ遺族扶助料ハ之ヲ本條例（規則）ニ依リ受クルモノト看做ス但シ其ノ給與額ニ付テハ從前ノ規定ニ依ル

第三十條　本條例（規則）施行ノ際現ニ在職スル者ノ在職年ニ付テハ其ノ在職ニ繼續スル在職ニ限リ本條例（規則）施行前ノ在職ト雖本條例（規則）ニ依リ之ヲ計算ス但シ從前ノ規定ニ依リ退職給與金ヲ受ケタル者ニ付テハ其ノ基礎トナリタル在職年ハ之ヲ除算ス

第三十一條　本條例（規則）施行ニ關シ必要ナル細則ハ町（村）長之ヲ定ム

〔棒法〕

第五節　財務

●町村特別稅ノ賦課ニ關スル件

昭和三年三月三十一日
訓令第四十八號

改正　昭七年四月訓令七六號

町村特別稅ノ賦課ニ關スル件左ノ通改正ス

支廳　町村役場

町村特別稅ノ賦課ニ關スル件

第一章　戶別割

第一條　戶別割納稅義務者ト生計ヲ共ニスル同居者ノ所得ハ之ヲ其ノ納稅義務者ノ所得ト看做スヘシ但シ其ノ納稅義務者ヨリ受クル所得ハ此ノ限ニ在ラス

第二條　同一人ニ對シ數町村ニ於テ戶別割ヲ賦課スル場合ニ於テハ各其ノ町村ニ於ケル所得ヲ以テ其ノ者ノ資力算定ノ標準タル所得ト爲スヘシ其ノ所得ニシテ分別シ難キモノアルトキハ關係町村ニ於テ平分スヘシ

戶別割ヲ納ムル町村以外ノ地ニ於ケル所得ハ納稅義務者ノ資力算定ニ付住所地町村ニ於ケル所得ト看做スヘシ

前二項ニ規定スル所得ノ計算ニ付關係町村異議アル場合ニ於テ其ノ支廳管內ニ止マルモノハ棒太廳支廳長、數支廳ニ渉ルモノハ棒太廳長官之ヲ定ム

第三條　納稅義務者ノ資力算定ノ標準タル所得額ハ左ノ各號ノ規定ニ依リ計算スヘシ

一　營業ニ非サル貸金ノ利子並公債、社債、預金及貯金ノ利子ハ前年中ノ收入金額

二　山林ノ所得ハ前年中ノ總收入金額ヨリ必要ノ經費ヲ控除シタル金額

三　賃與又ハ賃與ノ性質ヲ有スル給與ハ前年三月一日ヨリ其ノ年二月末日迄ノ收入金額

四　法人ヨリ受クル利益若ハ利息ノ配當又ハ剩餘金ノ分配ハ前年三月一日ヨリ其ノ年二月末日迄ノ收入金額但シ無記名株式ノ配當ニ付テハ同期間內ニ於テ支拂ヲ受ケタル金額

株式ノ消却ニ因リ支拂ヲ受クル金額又ハ退社ニ因リ持分ノ拂戻トシテ受クル金額カ其ノ株式ノ拂込濟金額又ハ出資金額ヲ超過スルトキハ其ノ超過金額ハ之ヲ法人ヨリ受クル利益ノ配當ト看做ス

五　俸給、給料、歲費、年金、恩給、退隱料及此等ノ性質ヲ有スル給與ハ前年中ノ收入金額但シ前年一月一日ヨリ引續キ支給ヲ受ケタルニ非ザルモノニ付テハ其ノ年ノ豫算年額

六　前各號以外ノ所得ハ前年中ノ總收入金額ヨリ必要ノ經費ヲ控除シタル金額但シ前年一月一日ヨリ引續キ有シタルニ非サル資產、營業又ハ職業ノ所得ニ付テハ其ノ年ノ豫算年額

前項第一號、第二號及第四號ノ所得ニ付テハ被相續人ノ所得ハ之ヲ相續人ノ所得ト看做シ第六號ノ所得ニ付テハ相續シタル資產又ハ營業ハ相續人ガ引續キ之ヲ有シタルモノト看做シテ其ノ所得額ヲ計算スヘシ但シ被相續人ノ資力算定ノ標準タル所得額ハ左ノ各號ノ規定ニ依

〔棒法〕

ニ在ラス

年度開始ノ日ノ屬スル年ノ翌年ニ戸別割ヲ賦課スル場合ニ於テハ最近ノ戸別割賦課ノ時ニ算定シタル所得額ヲ以テ其ノ資力算定ノ標準トスヘシ但シ未タ其ノ所得ノ算定ナカリシ者ニ關シテハ年度開始ノ日ノ屬スル年ヲ基準トシ第一項各號ノ規定ニ依リ之ヲ算定スヘシ

第四條　前條第一項第二號及第六號ノ規定ニ依リ總收入金額ヨリ控除スヘキ經費ハ種苗肥料ノ購買費、家畜其ノ他ノモノノ飼養料、仕入品ノ原價、原料品ノ代價、場所物件ノ修繕費又ハ借入料、場所物件又ハ業務ニ係ル公課、雇人ノ給料其ノ他收入ヲ得ルニ必要ナルモノニ限ル但シ家事上ノ費用及之ニ關聯スルモノハ之ヲ控除セス

第五條　第三條第一項第六號ノ規定ニ依ル所得計算ニ付損失アルトキハ同條第一項第五號ノ規定ニ依ル所得ヨリ之ヲ差引キテ計算スヘシ

第六條　第三條乃至前條ノ規定ニ依リ算出シタル金額一萬二千圓以下ナルトキハ其ノ所得中俸給、給料、歲費、年金、恩給、退隱料、賞與及此等ノ性質ヲ有スル給與ニ付テハ其ノ十分ノ一、六千圓以下ナルトキハ同十分ノ二、三千圓以下ナルトキハ同十分ノ三、千五百圓以下ナルトキハ同十分ノ四、八百圓以下ナルトキハ同十分ノ五ニ相當スル金額ヲ控除スヘシ

第七條　第三條乃至前條ノ規定ニ依リ算出シタル金額三千圓以下ナル場合ニ於テ納稅義務者及之ト生計ヲ共ニスル同居者中年度開始ノ日ニ於テ年齡十四歲未滿若ハ六十歲以上ノ者又ハ不具癈疾者アルトキハ納稅義務者ノ申請ニ依リ其ノ所得ヨリ左ノ各號ノ規定ニ依ル金額ヲ控除スヘシ

一　所得千圓以下ナルトキ　　一人ニ付　百圓以内
二　所得二千圓以下ナルトキ　同　　一人ニ付　七十圓以内
三　所得三千圓以下ナルトキ　同　　一人ニ付　五十圓以内

前項ノ不具癈疾者トハ心神喪失ノ狀況ニ在ル者、聾者、唖者、盲者其ノ他重大ナル傷痍ヲ受ケ又ハ不治ノ疾患ニ罹リ常ニ介護ヲ要スル者ヲ謂フ

第八條　左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ納稅義務者ノ資力算定ノ標準タル所得額ニ算入スルコトヲ得ス

一　軍人從軍中ノ俸給及手當
二　扶助料及傷痍疾病者ノ恩給又ハ退隱料
三　旅費、學資金、法定扶養料及救助金
四　營利ノ事業ニ關セサル一時ノ所得
五　日本ノ國籍ヲ有セサル者ノ外國ニ於ケル資產、營業又ハ職業ヨリ生スル所得

第九條　戸別割ハ年稅トシ四月一日現在ヲ以テ賦課シ年額ヲ二期以上ニ分チ之ヲ徵收スヘシ

第十條　賦課期日後納稅義務ノ發生シタル者ニ對スル賦課額ハ既ニ定マリタル他ノ納稅義務者ノ賦課額ニ比準シテ町村長之ヲ定ムヘシ

第十一條　賦課期日後納稅義務ノ發生シタル者ニ對シテハ其ノ發生ノ翌月ヨリ納稅義務ノ消滅シタル者ニ對シテハ其ノ消滅シタル月迄月割ヲ以テ之ヲ賦課スヘシ但シ戸別割ノ賦課後納稅義務消滅スルモ其ノ賦課額ハ之ヲ變更セス

一ノ町村ニ於テ納稅義務消滅シ他ノ町村ニ於テ納稅義務發生シタルトキハ納稅義務ノ發生シタル町村ハ納稅義務ノ消滅シタル町村ニ於テ賦課シタル部分ニ付テハ之ヲ賦課スルコトヲ得ス

第十二條　公費ノ救助ヲ受クル者ニハ戸別割ヲ賦課スルコトヲ得ス但シ一時ノ災害ニ依リ救助ヲ受ケタル者ハ此ノ限ニ在ラス

前項ノ外貧困ニシテ戸別割ノ賦課ニ堪ヘスト認ムル者ハ町村會ノ議決又ハ町村評議會ノ諮問ヲ經テ戸別割ノ賦課ヲ免除スルコトヲ得

第十三條　町村長ハ其ノ町村住民ニ非サル者（法人ヲ除ク）ノ當該町村内ニ於テ生スル其ノ年度分所得及其ノ所得ノ基本タル事實ヲ毎年四月末日迄ニ其ノ住所地町村長ニ通報スヘシ但シ當該町村ニ於テ其ノ者ニ戸別割ヲ賦課スルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十四條　納稅義務ヲ有スル者ニシテ他町村ニ移轉シタル者アルトキハ町村長ハ其ノ都度第一號樣式ニ依リ移轉地町村長ニ通知スヘシ

第十五條　町村役場ニ第二號樣式ノ戸別割臺帳ヲ備フヘシ

第二章　建物割

第十六條　建物ノ構造及用途ニ依ル等差ハ特別ノ事情ナキ町村ニ在リテハ左ノ比ニ依ルヘシ

〔棒法〕

構造＼用途	乘率			
	石造、煉瓦造、鐵筋コンクリート造	人造石造、木骨煉瓦造、木骨セメント造	土藏	其ノ他
第一類　居宅、營業所	一、四	一、二	〇、九	〇、七
第二類　倉庫、工場、製造場	一、二	一、〇	〇、七	〇、五
第三類　前各種以外ノ建物	一、〇	〇、八	〇、六	〇、四

〔棒法〕

第十七條　敷地ノ地位ハ交通ノ便否其ノ他土地ノ狀況ヲ參酌シ町村會ノ議決又ハ町村評議會ノ諮問ヲ經テ之ヲ定ムヘシ其ノ變更ニ付亦同シ

第十八條　一建物ノ坪數合計ニ一坪未滿ノ端數アルトキハ之ヲ四捨五入シテ坪ニ止ムヘシ

第十九條　左ニ揭ケル建物ハ課稅標準ニ算入スルコトヲ得ス

一　門、塀及瓦ノ類
二　井戸屋形、外便所、外竈下、傳ヒ樋及地下室ノ類

第二十條　建物割ハ年稅トシ四月一日現在ヲ以テ之ヲ賦課スヘシ

賦課期日後建築セラレタル建物ニ付テハ工事竣成ノ翌月ヨリ月割ヲ以テ建物割ヲ賦課スヘシ

建物割ヲ賦課スルコトヲ得サル建物ガ賦課期日後之ヲ賦課スルコトヲ得ヘキモノト爲リタルトキハ其ノ翌月ヨリ月割ヲ以テ建物割ヲ賦課ス

ヘシ

賦課期日後建物ガ滅失シ其ノ他建物トシテノ效用ヲ失ヒタルトキハ納税義務者ノ申請ニ依リ其ノ月迄月割ヲ以テ建物價額ヲ賦課スヘシ其ノ建物ノ建築後前項ノ賦課後新ニ建物ヲ賦課スルコトヲ得サル建物ト雖モ同シ

第二十一條　法令ニ別段ノ規定アルモノノ外左ニ掲クルモノニハ建物割ノ賦課額ハ之ヲ變更セス

一　一時ノ使用ニ供スル建物

二　專ラ公會、學藝又ハ慈善ノ爲使用スル建物及産業組合若ハ合ノ用ニ供スル建物但シ有料ニテ使用セシメ又ハ住宅ヲ以テ之ニ充ツルモノハ此ノ限ニ在ラス

第二十二條　町村役場ニ第三號樣式ノ建物割臺帳ヲ備フヘシ

第三章　所得割

第二十三條　所得割ハ法人ニ對スル分ヲ除キ年額ヲ四分シ左ノ期閒ニ之ヲ徵收スヘシ

第一期　其ノ年七月一日ヨリ三十一日限

第二期　其ノ年十月一日ヨリ三十一日限

第三期　翌年一月一日ヨリ三十一日限

第四期　翌年三月一日ヨリ三十一日限

法人ニ在リテハ事業年度等ニ之ヲ徵收スヘシ

第二十四條　納税義務者相互ニ住所ヲ定ムルニ至ルト雖當該年度ノ所得割ハ之ヲ變更スルコトヲ得ス

第二十五條　町村役場ニ第四號樣式ノ所得割臺帳ヲ備フヘシ

第四章　土地割

第二十六條　土地割ハ年度ノ四月一日現在ヲ以テ賦課シ年額ヲ二分シ左ノ期閒ニ依リ之ヲ徵收スヘシ

第一期　四月一日ヨリ三十日限

第二期　十月一日ヨリ三十一日限

第二十七條　左ニ該當スルモノハ市街地附近ニ在ル工業用地トス

一　市街地（市街宅地區劃地ヲ含ム以下之ニ準ス）及市街地ニ準シ地帶ヲ附セラレタルモノ

二　市街地ニ介在又ハ圍繞セラルルモノ

三　其ノ他前各號ニ準スルモノ

第二十八條　左ニ該當スルモノハ市街宅地又ハ都落宅地ニ近接スル繁用地トス

一　市街宅地、都落宅地

二　市街宅地、都落宅地ニ介在又ハ圍繞セラルルモノ

三　其ノ他前各號ニ準スルモノ

第二十九條　町村役場ニ第五號樣式ノ土地割臺帳ヲ備フヘシ

第五章　營業稅

第三十條　營業稅ノ課稅標準ハ左ノ區別ニ從ヒ之ヲ算定スヘシ

一　藝妓置屋業稅及貸座敷業稅以外ノ營業稅ノ課稅標準タル純益金額ヨリ必要ノ經費ヲ控除シタル金額ニ依ルヘシ但シ前年一月一日ヨリ引續キ貸シタルニ非サル營業ニ付テハ其ノ年ノ年中ノ總收入金額ヲ控除シタル金額ニ依ルヘシ

二　藝妓置屋業稅及貸座敷業稅ノ課稅標準タル純益、前納、從業者及使用人ノ給料、賞與金、交際費、廣告費、消耗品費、修繕費、保險料、公課、諸負擔金、利子、損失補償金、貸倒金、減價償却金、家賃、地代、賃借料、雜費等ヲ控除シタル金額ニ依ルヘシ

三　藝妓置屋業稅及貸座敷業稅以外ノ營業稅ノ課稅標準タル純益金額ハ前二號ニ準シ算定スヘシ

第三十一條　前條第一項第一號ノ規定ニ依リ總收入金額ヨリ控除スヘキ必要經費ハ仕入品ノ原價、原料品ノ代價、器具物件又ハ營業ニ係ル公課、雇人ノ給料其ノ他收入ヲ得ルニ必要ナルモノニ限ル但シ家事上ノ費用及之ニ關聯スルモノハ之ヲ控除セス

第三十二條　同一人ニシテ二種以上ノ營業ヲ爲シ又ハ二箇以上ノ營業場ヲ有スルモノニ對シテハ各別ニ營業稅ヲ賦課スヘシ

第三十三條　營業稅ハ四月一日現在ヲ以テ賦課シ年額ヲ二分シ左ノ期閒ニ依リ之ヲ徵收スヘシ但シ藝妓置屋業稅及貸座敷業稅ハ每月一日現在ヲ以テ賦課シ其ノ月末日限之ヲ徵收スヘシ

第一期　其ノ年八月一日ヨリ三十一日限

第二期　其ノ年十一月一日ヨリ三十日限

第三十四條　營業稅ノ賦課期日後納稅義務ノ發生シタル營業稅ノ賦課スヘキ者ニ對シテハ其ノ發生ノ翌月ヨリ月割ヲ以テ營業稅ヲ賦課スヘシ

前項ノ營業稅ノ賦課期日後納稅義務ノ消滅シタル者ニ對シテハ其ノ消滅シタル月迄月割ヲ以テ營業稅ヲ賦課スヘシ

第一項ノ營業稅ニ付テハ其ノ賦課後營業ノ承繼アリタル場合ニ於テハ前營業者ノ納稅ヲ以テ後ノ營業者ノ納稅ト看做シ前二項ノ規定ヲ適用

シ前項ノ營業者ノ納稅義務ノ消滅シタル月迄月割ヲ以テ營業稅ヲ賦課スヘシ

第一項ノ營業稅ニ付テハ其ノ賦課後營業ノ繼承アリタル場合ニ於テハ相續人カ引續キ之ヲ營シタルモノト看做シテ其ノ課稅標準ヲ計算スヘシ

第三十一條　前條第一項第一號ノ規定ニ依リ總收入金額ヨリ控除スヘキ必要經費ハ仕入品ノ原價、原料品ノ代價、器具物件又ハ營業ニ係ル公課、雇人ノ給料其ノ他收入ヲ得ルニ必要ナルモノニ限ル但シ家事上ノ費用及之ニ關聯スルモノハ之ヲ控除セス

第三十二條　同一人ニシテ二種以上ノ營業ヲ爲シ又ハ二箇以上ノ營業場ヲ有スルモノニ對シテハ各別ニ營業稅ヲ賦課スヘシ

第三十三條　營業稅ハ四月一日現在ヲ以テ賦課シ年額ヲ二分シ左ノ期閒ニ依リ之ヲ徵收スヘシ但シ藝妓置屋業稅及貸座敷業稅ハ每月一日現在ヲ以テ賦課シ其ノ月末日限之ヲ徵收スヘシ

第一期　其ノ年ノ八月一日ヨリ三十一日限

第二期　其ノ年十一月一日ヨリ三十日限

第三十四條　營業稅ノ賦課期日後納稅義務ノ發生シタル者ニ對シテハ其ノ發生ノ翌月ヨリ月割ヲ以テ營業稅ヲ賦課スヘシ

前項ノ營業稅ノ賦課期日後納稅義務ノ消滅シタル者ニ對シテハ其ノ消滅シタル月迄月割ヲ以テ營業稅ヲ賦課スヘシ

第一項ノ營業稅ニ付テハ其ノ賦課後營業ノ承繼アリタル場合ニ於テハ前營業者ノ納稅ヲ以テ後ノ營業者ノ納稅ト看做シ前二項ノ規定ヲ適用

ハ町村長ハ其ノ都度第六號樣式ニ依リ移轉地町村長ニ通知スヘシ

第三十九條　町村役場ニ第七號樣式ノ營業稅臺帳ヲ備フヘシ

第六章　雜種稅

第四十條　電柱稅ハ電燈、電力等總テ電氣供給ノ爲建設シタルモノニ賦課スヘシ

電柱ノ支柱ニ對シテハ電柱稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

第四十一條　不動產取得稅ノ課稅標準タル不動產ノ價格ハ其ノ登記アルモノハ登記價格ニ依リ登記ナキモノハ其ノ時價ニ依ルヘシ

第四十二條　遊興稅ノ課稅標準タル消費金額ハ飮食、歌樂及之ニ伴ヒ消費シタル金額ニ依ルヘシ

二人以上同一ノ場所ニ於テ遊興ヲ爲シタル場合ハ共同行爲ト看做シ一人當消費金額ハ等分シテ之ヲ計算スヘシ

同一ノ場所ニ於テ連續シテ遊興ヲ爲シタル場合ハ之ヲ一回ト看做シテ課稅標準ヲ計算スヘシ

第四十三條　漁業稅中昆布漁獲割ノ漁獲物價格ハ前年中ノ總額ニ依ルヘシ

前項ニ依リ難キモノハ一年分ノ見込額ニ依ルヘシ

第四十四條　雜種稅ハ左ノ賦課期日ニ依リ之ヲ賦課スヘシ

一　年稅（畜犬稅及漁業稅ヲ除ク）　四月一日

二　月稅　毎月一日

三　日稅　屆出ノ日

四　畜犬稅及漁業稅　五月一日

五　狩獵稅　狩獵免許ヲ受ケタル日

六　不動產所得稅　不動產取得シタル日

七　遊興稅　遊興ヲ爲シタル時

八　流木稅　流送開始ノ時

特別ノ事情アル町村ニ在リテハ前項ノ賦課期日ニ依ラサルコトヲ得

第四十五條　第三十四條ノ規定ハ雜種稅ノ賦課ニ之ヲ準用ス

第四十六條　藝妓又ハ酌婦ニシテ休業全月ニ渉ルトキハ其ノ申告ニ依リ當月分ノ稅金ヲ免除スルコトヲ得

第四十七條　興行稅ハ豫定日數ニ依リ其ノ開始前之ヲ納付セシムルコトヲ得但シ興行日數又ハ課稅標準ニ增減ヲ生シタルトキハ之ニ相當スル稅額ヲ追徵又ハ還付スヘシ

第四十八條　流木稅ノ賦課期日後流送許可ノ取消ヲ受ケ若ハ流送ノ中止ヲ命セラレ又ハ天災其ノ他不可抗力ニ因リ木材ヲ亡失シタルトキハ其ノ申告ニ依リ之レニ相當スル稅額ヲ還付スルコトヲ得

第四十九條　漁業稅ノ賦課期日後ニ於テ左ニ揭クル場合ハ其ノ申告ニ依リ賦課額ヲ減免スルコトヲ得但シ既納ノ稅金ハ還付スルノ限ニ在ラス

一　著業前廢業シタルトキ

二　自己ノ責ニ歸スヘカラサル事由ニ依リ著業セサルトキ

三　著業前其ノ漁業ニ使用スル漁具又ハ漁船ノ滅失シタルトキ

四　漁期中天災其ノ他不可抗力ニ因リ其ノ漁業ニ使用スル漁具又ハ漁船ノ滅失シタルトキ

五　營業ノ實況ニ依リ昆布漁獲割ノ諸稅標準著シク減少シタルトキ

第五十條　法令ニ別段ノ規定アルモノノ外左ニ揭クルモノニハ雜種稅ヲ賦課スルコトヲ得ス

〔棒法〕

一　主トシテ神社、寺院、布敎所、公益法人、慈善團體、產業組合又ハ漁業組合ノ用ニ供スル船、車、橇及金庫但シ有料ニテ之ヲ使用セシムル場合ハ此ノ限ニ在ラス

二　非常時ニ專用スル船、車及橇

三　販賣ヲ目的トスル船、車、橇及金庫

四　本船ニ搭載スル船及船橋ノ組成ニ用フル船

五　手提金庫

六　生後三月未滿ノ畜犬及學校、病院ニ於テ學術研究ノ爲飼養スル犬

七　國有財產ノ讓與又ハ賣拂ニ因ル不動產ノ取得

八　主トシテ公共團體、神社、寺院、布敎所、公益法人、私立ノ學校、幼稚園、產業組合又ハ漁業組合ノ用ニ共スル目的ヲ以テ爲ス不動產ノ取得但シ其ノ取得シタル不動產ヲ有料ニテ使用セシムル場合ハ此ノ限ニ在ラス

九　法人ノ合併ニ因ル不動產ノ取得

十　共有物ノ分割ニ因ル不動產ノ取得

十一　營利ノ目的ニ非サル興行

十二　百圓未滿ノ昆布漁獲

第五十一條　遊興稅ノ徵收ニ付テハ料理店、席貸、貸座敷、飮食店等ノ營業者及藝妓、娼妓、酌婦等ノ營業者ヲシテ遊興稅ノ徵收義務者タラシメ每月遊興稅ヲ取纏メ之ヲ拂込マシムルノ義務ヲ負擔セシムヘシ但シ營業者ガ徵收義務者ト爲ル場合ハ消費者ガ其ノ者ニ對スル計算ヲ以テ遊興ヲ爲シタルトキニ限ル

第五十二條　左ニ揭クル課稅物件ニ付テハ納稅義務者ヲシテ町村所定ノ鑑札ノ交付又ハ檢印ヲ受ケシムヘシ

一　鑑札ヲ交付スヘキモノ

船、自轉車、自動車、畜犬、漁船

二　檢印ヲ受クヘキモノ

乘用馬車、荷積馬車、人力車、荷積車、橇

第五十三條　町村役場ニ第八號樣式ノ雜種稅臺帳及第九號樣式ノ鑑札番號簿ヲ備フヘシ

附　則

本令ハ昭和三年度分ヨリ之ヲ適用ス但シ戶別割臺帳及營業稅臺帳ヲ除キ當分ノ內從前ノ臺帳ヲ使用スルコトヲ得

附　則　（昭和七年訓令第七十六號）

本令ハ昭和七年度分ヨリ之ヲ適用ス

第一號樣式

昭和　年度戶別割納稅義務者異動通知書

轉出年月日事由及轉出地（字名、番地）	課稅標準所得額	賦課月數 何月ヨリ何月マデ	職業	住所	氏名

〔棒法〕

右通知候也

年 月 日

町村長殿

町 村 長

第二號樣式

表紙

戸別割臺帳

何町村役場

第 號	住居所	職業	氏名

所得ノ種類 / 年度	所得額 年度	年度	年度
營業ニ非サル貸金ノ利子並公債、社債預金及貯金ノ利子			

區分 / 年度	調査所得額 年度	年度	年度
申告總所得額			
決定總所得額			

賞與又ハ賞與ノ性質ヲ有スル給與	法人ヨリ受クル利益、利息ノ配當、剰餘金ノ分配	俸給、給料、歳費、年金、恩給、退隱料及此等ノ性質ヲ有スル給與	畑 自作	小作	山林	貸宅地貸家	營業貸金ノ利子	商業	工業	牧畜	漁業

第 條ニ依ル控除額 俸給、給料、歳費、年金、恩給、退隱料、賞與等 一萬二千圓以下ナルトキ十分ノ一	六千圓以下ナルトキ十分ノ二	三千圓以下ナルトキ十分ノ三	千五百圓以下ナルトキ十分ノ四	八百圓以下ナルトキ十分ノ五	控除殘所得額	第 條ニ依ル 十四歳未滿六十歳以上不具 所得額三千圓以下ナルトキ一人ニ付 圓	所得額二千圓以下ナルトキ一人ニ付 圓

〔棒法〕

勞力	何々	合計	備考

控除額 癈疾者（ 人） 所得額千圓以下ナルトキ一人ニ付 圓	差引課税標準タル所得額

備考

一 職業欄ニハ重ナル業名ヲ記入スヘシ

二 本臺帳ハ本樣式所定ノ内容ヲ具備スル調査書類ヲ編綴代用スルモ妨ナシ

三 本臺帳ニハ左ノ索引ヲ添付スヘシ

番號	年月日	事由	住居所	氏名

備考

一 本番號ハ臺帳番號ト一致スヘキモノトス

二 年月日欄ニハ納税義務發生又ハ消滅年月日ヲ記載スヘシ但シ從來一戸ヲ構ヘ其ノ年月日詳ナラサルモノハ省略スルモ妨ナシ

三 事由欄ニハ納税義務發生消滅ニ關スル事項ヲ記載スヘシ

第三號樣式

表紙

建物割臺帳

何町村役場

建物所在地	地位等級	納税義務發生年月日事由	納税義務消滅年月日事由

用途	構造	坪數 二階以上	階下	計	建物粲率	地位粲率	個數	摘要
第一								

〔棒法〕

備考
一　構造欄ニハ第十六條ノ區別ニ依リ記載スヘシ

者務義稅納	年月日事由	住所	櫂所有者ノ者則資	氏名	摘要

計	類三第	類二第	類

第四號樣式

紙表

事日年發義納ハ資務納稅由及月生務稅	住所	氏名
	所在地	
事日年消義納由及月滅務稅	種類	
	考備	

年度	摘要	稅額	課稅標準	課率	稅額	摘要

〔縮法〕

紙表

土地臺帳

何町村役場

課稅物件	所在地	地番	地目	等級	坪數

納稅義務者	年月日	事由	住所	氏名	摘要

第五號樣式

備考
一　種類欄ニハ資産又ハ営業ノ所得ノ種類ヲ記載スヘシ
二　摘要欄ニハ課稅標準算定ノ基礎ヲ記載スヘシ

者					
年度	稅額		備考		

備考
一　本臺帳ハ大字、字、地番順ニ編綴スヘシ

第六號樣式

昭和　年度営業稅納稅義務者異動通知書

開始出廢又ハ字名、番地、事由及年月日	課稅標準	課稅標準月數	營業	住所	氏名
		何月ヨリ何月マデ			

右通知候也

年　月　日

町村長

町村長殿

備考
一　本通知ハ年稅タル営業ニ限リ之ヲ發スヘシ

第七號樣式

〔縮法〕

紙表

資業稅臺帳

何町村役場

（年起之部）

種類	所在地	開業年月日	廢業日及消滅事由	住所	氏名

年度	課稅標準		稅額		摘要

備考

一　課稅標準欄ニハ現金金額ヲ記載スヘシ

（月起之部）

種類	所在地	開業年月日	廢業日及消滅事由	住所	氏名

年度	期日	課稅標準	稅額		摘要
	四月				
	五月				

備考

一　營業ノ種類欄ニハ「藝妓置屋」又ハ「貸座敷業」ト記載スヘシ

二　課稅標準欄ニハ藝妓置屋業ニ在リテハ「藝妓又ハ酌婦ノ人數」貸座敷業ニ在リテハ「從業者及娼妓ノ人數」ヲ記載スヘシ

三　貸座敷業ニハ左ノ內譯書ヲ添付スヘシ

寄寓娼妓（從業者）

區分	氏名	寄寓（雇入）年月日	退去年月日	摘要

第八號樣式

（縱法）

紙表

雜種稅臺帳

何町村役場

電柱ノ例

柱		電					
番	標	稅	課	年月日	事由	納稅義務者	住所
				本	數	氏名	
				摘			
						要	

備考

一　年月日事由欄ニハ課稅標準ノ增減年月日竝其ノ事由ヲ記載スヘシ

藝妓、酌婦ノ例

種類			
年納月稅日義及務消滅由			
年納月稅日義及務消滅由			
所業務			
名氏	所住		

第八類　地方稅制度　第二章　町村稅

（縱法）

漁業稅臺帳

漁業	年度	課稅標準	稅額	摘要	納稅義務者	住所	氏名

漁業ノ內昆布漁獲ノ例

備考

一　氏名欄ニハ「藝妓」「酌婦」ト記載スヘシ

二　一人毎ニ作製スヘシ

三　種類欄ニハ「藝妓」「酌婦」ノ氏名ヲ附記スヘシ

藝名及生年月日、酌婦ニ在リテハ則

要	摘	寄寓所

（縱法）

第九號樣式

戸長印	町村	何々區札番號簿					
	番號札	交付年月日	住所	氏名	捺印	摘要	

備考

一　一物件毎ニ之ヲ記載シ其ノ種類及編目毎ニ口座ヲ分ツヘシ

二　前號ノ口座毎ニ課稅標準及納稅義務者數ノ合計表ヲ添付シ且其ノ異動ヲ記載スヘシ（樣式適宜）

三　區札番號及交付年月日欄ニハ町村ニ於テ區札ヲ交付シタル物件ニ付其ノ番號及交付年月日ヲ記載スヘシ

四　電柱、鐵筒、鑛業ノ內屋布漁獵ニ付テモ第二號ノ例ニ依リ整理スヘシ

種類	細目	區札番號	納稅義務發生	納稅義務消滅	納稅義務者	
		交付年月日	年月日及事由	年月日及事由	住所	氏名

船、車、機、金庫、畜犬及漁業（昆布漁獵ヲ除ク）ノ例

種	

備考

一　區札ノ種類毎ニ口座ヲ設ケ整理スヘシ

二　前號ノ口座毎ニ區札ノ受拂表ヲ添付スヘシ（樣式適宜）

● 町村特別地ノ土地等級

大正十二年二月二十五日告示第十二號

改正　大正三年二月告示第八號

町村特別地ノ土地等級左ノ通定ム

一、部落宅地

漁村部落宅地　大正十年十月縮太圖告示第百七十八號ニ依リ定メタル等級中一、二等地ヲ一等地、三、四等地ヲ二等地、五、六等地ヲ三等地、七、八、九等地ヲ四等地トス

（縮法）

二、工業用地

市街地附近ニ在ルモノヲ一等地トス

前項以外ノモノヲ二等地トス

三、漁業用地

等級	部名	町村名	地番
一等地	發澁部	發澁村	大字發澁字鳥矢自一、至三
	大泊部	大泊町	大字大泊字圓留一
	本斗部	千歳村	大字一ノ濱字一ノ濱一一三
	眞岡部	本斗町	大字本斗北本斗一一五
	沼居部	眞岡町	大字字澁沼字定員四〇
		沼居町	大字沼居字西ケ原二五、二六
二等地	大泊部	深港村	大字鹿畝沼字鹿畝沼七
	本斗部	港島村	大字沼皿字沼皿一〇一
		內幌村	大字古丹字南字須一
			大字內幌字內幌
			大字氣主字氣主
		本斗町	大字本斗字吐礒保四五
			大字阿幸字阿幸

等級	部名	町村名	地番
三等地	發澁部	發澁村	大字發澁字北沼澁二、二
	白鏥部	白鏥村	大字眞鏥字白鏥定二四
	深港部	深港村	大字鹿畝沼字牧場六
	港島部	港島村	大字古丹字北古丹自一一至一、六四
			大字古丹字南古丹二〇、二一
	本斗部	本斗町	大字本斗字濱通
	內幌部	內幌村	大字內幌字字仁
	眞岡部	眞岡地村	大字元眞字元眞二四
		眞岡町	大字字澁沼字知志內七九
			大字字澁沼字字澁沼一三、一四
	鹿沼部	鹿沼村	大字本古丹字鹿沼四六
			大字本古丹字本古丹二八、二七
	野田部	野田村	大字野田字濱香六
	鵜塚部	鵜塚村	大字鵜塚字北字須七七
	眞須取部	眞須取村	大字眞須取字眞須取一三一
		安朗村	大字安朗字安朗三八
	元沼部	帆寄村	大字登帆字北登帆一二一
四等地	發澁部	發澁村	大字小田美字北坂田一
			大字小田美字眞宮一

（縮法）

四

地	等五
敷香郡	町各等ニ屬セサルモノ
内路村	大字植柴字床住一
	大字植柴字榊栄一一
敷香村	大字内路字榎澤一一
	大字敷香字東里耶一一
	大字敷香字中里耶一一
	大字敷香字西里耶一一
多来加村	大字敷香字東加多来加字牛
	大字西多来加字牛

四、營業用地

市街宅地及ハ部落宅地ニ近接セルモノヲ一等地トス

町村各等ニ屬セサルモノヲ二等地トス

●樺太町村制施行規則ニ依ル町村稅指定

昭和四年七月一日　廳令第二十七號

特別稅戶別割

特別稅家屋附加

特別稅營業附加

特別稅所得割

特別稅土地割

特別稅營業收益

特別稅營業

特別稅營業割

樺太町村制施行規則第百四條第一項ノ規定ニ依リ左ノ町村稅ヲ指定ス

第八類　地方制度

第二章　町村制

第一

等

郡	村
本斗郡	
塩見郡	塩見村
南名好郡	三郷村
	南名好村
宗仁郡	宗仁村

郡	村
大泊郡	
白縫郡	白縫村
深海郡	深海村
敷香郡	内路村
	敷香村
	多来加村
長濱郡	長濱村
真岡郡	真岡郡
野田郡	野田村
泊居郡	泊居町
本斗町	本斗町

第二

等

郡	村
本斗郡	
塩見郡	塩見村
南名好郡	三郷村
	南名好村
宗仁郡	宗仁村

郡	村
大泊郡	
白縫郡	白縫村
深海郡	深海村
敷香郡	内路村
	敷香村
	多来加村
長濱郡	長濱村
真岡郡	真岡郡
野田郡	野田村
泊居郡	泊居町
本斗町	本斗町

第三

等

郡	村
本斗郡	
塩見郡	塩見村
南名好郡	三郷村
	南名好村
宗仁郡	宗仁村

郡	村
大泊郡	
白縫郡	白縫村
深海郡	深海村
敷香郡	内路村
	敷香村
	多来加村
長濱郡	長濱村
真岡郡	真岡郡
野田郡	野田村
泊居郡	泊居町
本斗町	本斗町

第四

等

郡	村
本斗郡	
塩見郡	塩見村
南名好郡	三郷村
	南名好村
宗仁郡	宗仁村

郡	村
大泊郡	
白縫郡	白縫村
深海郡	深海村
敷香郡	内路村
	敷香村
	多来加村
長濱郡	長濱村
真岡郡	真岡郡
野田郡	野田村
泊居郡	泊居町
本斗町	本斗町

第五

等

郡	村
本斗郡	
塩見郡	塩見村
南名好郡	三郷村
	南名好村
宗仁郡	宗仁村

郡	村
大泊郡	
白縫郡	白縫村
深海郡	深海村
敷香郡	内路村
	敷香村
	多来加村
長濱郡	長濱村
真岡郡	真岡郡
野田郡	野田村
泊居郡	泊居町
本斗町	本斗町

第六

等

郡	村
本斗郡	
塩見郡	塩見村
南名好郡	三郷村
	南名好村
宗仁郡	宗仁村

郡	村
大泊郡	
白縫郡	白縫村
深海郡	深海村
敷香郡	内路村
	敷香村
	多来加村
長濱郡	長濱村
真岡郡	真岡郡
野田郡	野田村
泊居郡	泊居町
本斗町	本斗町

第七

等

郡	村
本斗郡	
塩見郡	塩見村
南名好郡	三郷村
	南名好村
宗仁郡	宗仁村

郡	村
大泊郡	
白縫郡	白縫村
深海郡	深海村
敷香郡	内路村
	敷香村
	多来加村
長濱郡	長濱村
真岡郡	真岡郡
野田郡	野田村
泊居郡	泊居町
本斗町	本斗町

第八

等

郡	村
本斗郡	
塩見郡	塩見村
南名好郡	三郷村
	南名好村
宗仁郡	宗仁村

郡	村
大泊郡	
白縫郡	白縫村
深海郡	深海村
敷香郡	内路村
	敷香村
	多来加村
長濱郡	長濱村
真岡郡	真岡郡
野田郡	野田村
泊居郡	泊居町
本斗町	本斗町

第九

等

郡	村
本斗郡	
塩見郡	塩見村
南名好郡	三郷村
	南名好村
宗仁郡	宗仁村

郡	村
大泊郡	
白縫郡	白縫村
深海郡	深海村
敷香郡	内路村
	敷香村
	多来加村
長濱郡	長濱村
真岡郡	真岡郡
野田郡	野田村
泊居郡	泊居町
本斗町	本斗町

第十

等

郡	村
本斗郡	
塩見郡	塩見村
南名好郡	三郷村
	南名好村
宗仁郡	宗仁村

郡	村
大泊郡	
白縫郡	白縫村
深海郡	深海村
敷香郡	内路村
	敷香村
	多来加村
長濱郡	長濱村
真岡郡	真岡郡
野田郡	野田村
泊居郡	泊居町
本斗町	本斗町

第十一

等

郡	村
元泊郡	
名好郡	久春内郡
	久春内村
安別村	安別村
帆寄村	帆寄村

郡	村
大泊郡	
真岡郡	真岡郡
野田郡	野田村
泊居郡	泊居町
本斗町	本斗町

第十二

等

郡	村
元泊郡	
名好郡	久春内郡
	久春内村
安別村	安別村
帆寄村	帆寄村

郡	村
大泊郡	
真岡郡	真岡郡
野田郡	野田村
泊居郡	泊居町
本斗町	本斗町

●樺太町村制施行令ニ依ル直接稅ノ種類

昭和四年七月一日　告示第百四十四號

改正　昭和九年四月告示第七二號

樺太町村制施行令第百五十條ノ規定ニ依リ直接稅ノ種類左ノ通定ム

國稅

市街宅地稅

所得稅（樺太所得稅令第三條第二種ノ所得稅ヲ除ク）

營業收益稅

營業稅

砂鑛區稅

町村稅

直接國稅ノ附加稅

特別稅戶別割

特別稅家屋割

特別稅營業割

特別稅所得割

特別稅土地割

特別稅營業收益割

特別稅營業割

特別稅鑛區稅（鑛業稅ヲ除ク）

（樺太）

●牛馬籍規則第五條第二項ニ依ル牛馬籍票再下付手數料ニ關スル件

昭和三年五月九日
勅令第十六號

牛馬籍規則第五條第二項ニ依ル牛馬籍票再下付手數料ニ關スル件左ノ通定ム

牛馬籍規則第五條第二項ニ依ル牛馬籍票再下付手數料ニ關スル件

牛馬籍規則第五條第二項ニ依リ牛馬籍票ノ再下付ヲ爲ストキハ一枚ニ付金二十錢ノ手數料ヲ徵收ス

前項ノ手數料ハ之ヲ町村ノ收入トス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●町村會計事務規程準則

昭和七年三月二十四日
訓令第三十九號

支那　町村役場

町村會計事務規程準則左ノ通定メ昭和七年度分ヨリ之ヲ施行ス町村會計事務規程ハ昭和六年度分限リ之ヲ廢止ス

何町(村)會計事務規程準則

第一章　總則

第一條　本町(村)ノ會計事務ハ法令其ノ他別ニ規定アルモノノ外總テ本規程ニ依ル

第二條　出納ニ關スル帳簿其ノ他ノ證憑書類ニ記載スル文字ハ改竄、塗抹又ハ糊貼スルコトヲ得ズ若シ止ムヲ得ズ訂正又ハ削除ヲ要スルトキハ原字ノ影響ナルトキハ朱線、朱書ナルトキハ墨線二條ヲ施シ挿入又ハ訂正ノ文字ハ右傍ニ記載シ證憑書類ハ正當本人ヲシテ訂正ノ箇所ニ其ノ他ハ取扱者ニ於テ欄外ニ捺印スベシ

出納ニ關スル證憑書類ノ金員ノ文字中一、二、三、十、廿、卅ノ文字ハ壹、貳、參、拾、貳拾、參拾ノ字體ヲ用フベシ

出納ニ關スル帳簿中金額ノ誤謬アルコトヲ後日ニ於テ發見シタルトキハ最終記載ノ次ニ其ノ事由ヲ記シテ計算ヲ更正シ(增ハ墨書減ハ朱書)當該誤謬ノ箇所ニハ其ノ事由ヲ朱書スベシ

第三條　棒太町村制施行令第百二十九條ニ依リ町(村)長ヨリ收入役ニ交付スベキ豫算書謄本ニハ其ノ交付年月日ヲ記入シ否決シタル費途アルトキハ同時ニ之ヲ通知スベシ

棒太町村制施行令第八十六條第三項、第八十七條第一項及第二項ニ依リ豫算ヲ處證シ棒太町村制施行令第八十八條ニ依リ豫算ヲ命ゼラレタル場合ハ前項ノ例ニ依リ直ニ其ノ謄本ヲ收入役ニ交付スベシ

(棒太町村制附則第二項ノ町村ニ在リテハ各適用條項ヲ更訂ノ上記載スルコト)

第四條　町(村)長ハ左ノ場合ニ於テ其ノ要領ヲ直ニ收入役ニ通知スベシ

一　豫備費支出ノ決定ヲ爲シタルトキ

二　費目流用ノ議決又ハ決定ヲ爲シタルトキ

〔棒法〕

三　年度又ハ科目ノ更正ヲ爲シタルトキ

四　調定ノ取消、減額又ハ缺損處分ヲ爲シタルトキ

五　調定額ヲ翌年度ニ繰越ヲ爲ストキ

六　前年度剩餘金ノ繰越ヲ爲ストキ

七　翌年度歲入ノ繰上充用ヲ爲ストキ

八　纔額費ノ還次繰越ヲ爲ストキ

九　一般會計ト特別會計トノ間ニ於テ繰入ヲ爲ストキ

第五條　收入役第三條ニ依リ書類ノ交付ヲ受ケ又ハ前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ直ニ關係諸帳簿ニ登記スベシ

第二章　歲入

第六條　町(村)長ハ町(村)稅其ノ他ノ收入ヲ各其ノ徵收簿帳ニ依リ調定スベシ

第七條　徵稅令書、賦課令書又ハ納額告知書ハ其ノ納期開始前ニ之ヲ發スベシ

第八條　徵稅令書ヲ發シタル後金額其ノ他ニ異動ヲ生ジタルトキハ其ノ增額ニ付テハ追加令書ヲ發シ減額ニ對シテハ更正令書ヲ發スベシ賦課令書又ハ納額告知書ニ付亦同ジ

第九條　町(村)長徵稅令書、賦課令書又ハ納額告知書ヲ發シタルトキハ同時ニ收入役ニ歲入簿ニ依リ收入命令ヲ發スベシ

納付書ニ依リ收入スルモノ又ハ納付書ニ依リ難キモノノ收入ニ在リテハ其ノ都度收入命令ヲ發スベシ

每月徵收スル學校授業料其ノ他ノ使用料ニシテ其ノ年度ノ全額ヲ記載シタル納額告知書ヲ發シタルモノニ在リテハ每月收入命令ヲ發スベシ

收入命令後其ノ收入金額ニ增減ヲ生ジタルトキハ其ノ都度增額又ハ減額ノ命令ヲ發スベシ

第十條　收入役現金又ハ現品ヲ受領スルトキハ其ノ收入命令ノ有無ヲ照査シタル上之ヲ受領シ其ノ未ダ收入命令ナキトキ若ハ收入命令ト符合セザルモノアルトキハ一時領收ヲ中止シ其ノ旨町(村)長ニ報告スベシ

徵稅令書、賦課令書、納額告知書又ハ納付書ニ依リ現金若ハ現品ヲ受領シタルトキハ其ノ擇續セル領收證ニ領收年月日ヲ記入シ收入役ノ印ヲ押捺シ納入ニ交付スベシ

收入役ハ其ノ日ノ收入ヲ歲入簿ニ依リ町(村)長ニ報告スベシ

町(村)長前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ直ニ收入シタル原符等ニ基キ徵收纔帳ヲ整理スベシ

納期アル收入ニシテ納期限ヲ過ギタルモノアルトキハ溜納整理簿ニ登記シ督促狀ヲ發スベシ

第十一條　收入役督促狀發付後ノ徵收金ヲ收納スル場合ハ町(村)長ニ通告シ延滯金ノ收納ヲ要スルモノニ付テハ其ノ收入命令ヲ受ケ溜納金、督促手數料、延滯金ハ同時ニ之ヲ收納スベシ

第十二條　誤納、過納ノ還付ヲ要スルトキハ町(村)長ハ還付スベキ旨ヲ納入ニ通告シ併セテ收入役ニ對シ拂戾命令ヲ發スベシ其ノ拂戾手續ハ第十六條ヲ適用ス

第十三條　收入シタル原符ハ收入役ニ於テ日計表ヲ添ヘ逐次編綴スベシ決算結了後ニ於テハ各會計每ニ原符ヲ一括シ表紙ニ所屬年度、收入科目、金額ヲ記載スベシ

〔棒法〕

十三　使用料徴収簿
十四　手数料徴収簿
十五　諸収納整理並督促手数料及過金等徴収簿
十六　借入金簿
十七　現金出納簿
十八　基本財産簿
十九　積立金等簿
二十　基本財産、積立金等外町村有財産
二十一　備品簿
二十二　寄附受納簿
二十三　出産命令等
二十四　寄附申込等
二十五　消耗品受渡等
二十六　物品購入決議等
二十七　固定資産決議等
二十八　区域外道路使用決議
二十九　人夫賃決議等
三十　歳入歳出外現金出納簿
三十一　現金日計等
三十一ノ二　歳入歳出外現金出納簿
三十二　特別ノ技術ヲ要スル事業ニ在ラザレバ命ズルモノ
三十三　工事ノ請負
三十四　物件ノ買入レ又ハ借入
三十五　売却又ハ貸付
三十六　不用ノ物品ノ処分
三十七　寄附又ハ遺贈ヲ受ケル
三十八　収入ノ徴収又ハ支出ノ命令
三十九　収入又ハ支出ノ原因ニ関スル調査
四十　収入又ハ支出ノ通知
四十一　収入又ハ支出ノ期日
四十二　収入又ハ支出ノ場所
四十三　収入又ハ支出ノ方法
四十四　収入又ハ支出ノ証拠
四十五　収入又ハ支出ノ時効
四十六　収入又ハ支出ノ決定ノ取消
四十七　収入又ハ支出ノ更正
四十八　収入又ハ支出ノ決定ノ撤回
四十九　収入又ハ支出ノ決定ノ無効
五十　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ制限
五十一　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ効果
五十二　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ手続
五十三　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ通知
五十四　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間
五十五　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例
五十六　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ起算日
五十七　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例
五十八　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日
五十九　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例
六十　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例
六十一　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例
六十二　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
六十三　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
六十四　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
六十五　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
六十六　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
六十七　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
六十八　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
六十九　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
七十　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
七十一　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
七十二　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
七十三　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
七十四　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
七十五　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
七十六　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
七十七　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
七十八　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
七十九　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
八十　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
八十一　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
八十二　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
八十三　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
八十四　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
八十五　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
八十六　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
八十七　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
八十八　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
八十九　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
九十　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
九十一　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
九十二　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
九十三　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
九十四　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
九十五　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
九十六　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
九十七　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
九十八　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
九十九　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
百　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例

第八類　地方制度
第二章　町村制

百一　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
百二　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
百三　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
百四　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
百五　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
百六　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
百七　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
百八　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
百九　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
百十　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
百十一　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
百十二　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例

十三　使用料徴収簿
十四　手数料徴収簿
十五　諸収納整理並督促手数料及過金等徴収簿
十六　借入金簿
十七　現金出納簿
十八　基本財産簿
十九　積立金等簿
二十　基本財産、積立金等外町村有財産
二十一　備品簿

第十三様式　使用料徴収簿
第十四様式　手数料徴収簿
第十五様式　諸収納整理並督促手数料及過金等徴収簿
第十六様式　借入金簿
第十七様式　現金出納簿
第十八様式　基本財産簿
第十八様式ニ準ズ
第十九様式　積立金等簿
第十八様式ニ準ズ
第二十様式　基本財産、積立金等外町村有財産簿
第二十一様式　備品簿
第十八様式ニ準ズ
第二十二様式　寄附受納簿
第二十三様式　出産命令等
第二十四様式　寄附申込等
第二十五様式　消耗品受渡等
第二十五様式ニ準ズ
第二十六様式　物品購入決議等
第二十七様式　固定資産決議等
第二十八様式　区域外道路使用決議
第二十九様式　人夫賃決議等
第三十様式　歳入歳出外現金出納簿
第三十一様式　現金日計等
第三十一様式ニ準ズ
第三十二様式　特別ノ技術ヲ要スル事業ニ在ラザレバ命ズルモノ
第三十二様式ニ準ズ
第三十三様式　工事ノ請負
第三十四様式　物件ノ買入レ又ハ借入
第三十五様式　売却又ハ貸付
第三十六様式　不用ノ物品ノ処分
第三十七様式　寄附又ハ遺贈ヲ受ケル
第三十八様式　収入ノ徴収又ハ支出ノ命令
第三十九様式　収入又ハ支出ノ原因ニ関スル調査
第四十様式　収入又ハ支出ノ通知
第四十一様式　収入又ハ支出ノ期日
第四十二様式　収入又ハ支出ノ場所
第四十三様式　収入又ハ支出ノ方法
第四十四様式　収入又ハ支出ノ証拠
第四十五様式　収入又ハ支出ノ時効
第四十六様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ制限
第四十七様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ効果
第四十八様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ手続
第四十九様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ通知
第五十様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間
第五十一様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例
第五十二様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ起算日
第五十三様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日
第五十四様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ特例
第五十五様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ特例ノ起算日
第五十六様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ特例ノ特例
第五十七様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ特例ノ特例ノ起算日
第五十八様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
第五十九様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ起算日
第六十様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
第六十一様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ起算日
第六十二様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
第六十三様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ起算日
第六十四様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
第六十五様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ起算日
第六十六様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
第六十七様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ起算日
第六十八様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
第六十九様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ起算日
第七十様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
第七十一様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ起算日
第七十二様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
第七十三様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ起算日
第七十四様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
第七十五様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ起算日
第七十六様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
第七十七様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ起算日
第七十八様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
第七十九様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ起算日
第八十様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
第八十一様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ起算日
第八十二様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例

第八類　地方制度
第二章　町村制

第百　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例

第百一　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例

第百二　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例

第百三　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例

第百四　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例

第百五　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例

第百六　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例

第百七　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例

第百八　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例

第百九　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例

第百十　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例

第百十一　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例

第百十二　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例

第八類　地方制度
第二章　町村制

百　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例

百一　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
百二　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
百三　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
百四　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
百五　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
百六　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
百七　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
百八　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
百九　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
百十　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
百十一　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
百十二　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例

第十三様式　使用料徴収簿
第十四様式　手数料徴収簿
第十五様式　諸収納整理並督促手数料及過金等徴収簿
第十六様式　借入金簿
第十七様式　現金出納簿
第十八様式　基本財産簿
第十八様式ニ準ズ
第十九様式　積立金等簿
第十八様式ニ準ズ
第二十様式　基本財産、積立金等外町村有財産簿
第二十一様式　備品簿
第十八様式ニ準ズ
第二十二様式　寄附受納簿
第二十三様式　出産命令等
第二十四様式　寄附申込等
第二十五様式　消耗品受渡等
第二十五様式ニ準ズ
第二十六様式　物品購入決議等
第二十七様式　固定資産決議等
第二十八様式　区域外道路使用決議
第二十九様式　人夫賃決議等
第三十様式　歳入歳出外現金出納簿
第三十一様式　現金日計等
第三十一様式ニ準ズ
第三十二様式　特別ノ技術ヲ要スル事業ニ在ラザレバ命ズルモノ
第三十二様式ニ準ズ
第三十三様式　工事ノ請負
第三十四様式　物件ノ買入レ又ハ借入
第三十五様式　売却又ハ貸付
第三十六様式　不用ノ物品ノ処分
第三十七様式　寄附又ハ遺贈ヲ受ケル
第三十八様式　収入ノ徴収又ハ支出ノ命令
第三十九様式　収入又ハ支出ノ原因ニ関スル調査
第四十様式　収入又ハ支出ノ通知
第四十一様式　収入又ハ支出ノ期日
第四十二様式　収入又ハ支出ノ場所
第四十三様式　収入又ハ支出ノ方法
第四十四様式　収入又ハ支出ノ証拠
第四十五様式　収入又ハ支出ノ時効
第四十六様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ制限
第四十七様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ効果
第四十八様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ手続
第四十九様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ通知
第五十様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間
第五十一様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例
第五十二様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ起算日
第五十三様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ起算日
第五十四様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ特例
第五十五様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ特例ノ起算日
第五十六様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ特例ノ特例
第五十七様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ特例ノ特例ノ起算日
第五十八様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
第五十九様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ起算日
第六十様式　収入又ハ支出ノ決定ノ取消又ハ更正ノ期間ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例ノ特例
第六十一様式　収入又ハ支出

六　競爭入札ニ付スルモ入札者ナキトキ又ハ再入札ニ付スルモ倘落札者ナキトキ

七　追加工事ヲ前請負者ニ請負ハシムルトキ

八　勞務ノ供給ヲ目的トスル請負又ハ職工人夫等ヲ直接傭役スルトキ

第三十條　財產ノ賣却、貸與、工事ノ請負及物件勞力其ノ他ノ供給ヲ競爭入札ニ付スルトキハ入札期日前掲示場ニ於テ又ハ新聞紙其ノ他ノ方法ヲ以テ左ノ事項ヲ公告シ且一定ノ場所ニ設計書、契約書案等ヲ備ヘ縱覽ニ供スベシ

一　入札ニ付スル事項

二　設計書、契約書案ヲ示ス場所及日時竝契約締結當當吏員ノ職氏名

三　入札及開札ノ場所竝日時

四　入札保證金ノ額及種類

五　入札ノ方法

六　前各號ノ外必要ト認ムル事項

第三十一條　競爭入札ニ付シタルトキ入札ニ加入セムトスル者ハ何年以來工事請負又ハ營業ニ從事シタル者ニシテ直接國稅（町村稅）何圓以上納付セル旨ノ當該官公署ノ證明書ヲ差出スベシ但シ町（村）長ニ於テ相當ノ資力ヲ有スルモノト認メ特ニ入札ニ加入スルコトヲ承認シタル者ハ此ノ限ニ在ラズ

左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ解約若ハ事實ヲ認定セラレタル日ヨリ何年間入札ニ加入スルコトヲ得ズ

一　財產ノ賣却、貸與、工事及物件勞力其ノ他ノ供給ヲ請負タル者其ノ義務ヲ果サズシテ契約ヲ解除セラレタル者

二　主務吏員ニ對シ不法ノ行爲ヲ加ヘタル者

三　入札ニ關シ脅迫其ノ他ノ不正行爲ヲ以テ入札ノ實ヲ喪失若ハ妨害シタル者

四　落札ノ告知ヲ受ケ其ノ請負契約ヲ締結セザリシ者

第三十二條　入札ニ付スル事項ハ價格ヲ豫定シ其ノ豫定價格ハ之ヲ封書ト爲シ開札ノ際豫メ開札ノ場所ニ備置クベシ

開札ハ入札人ノ面前ニ於テ之ヲ行フベシ入札人又ハ其ノ代理人開札ノ場所ニ出頭セザルトキハ其ノ者ノ入札ハ無效トス

入札中豫定價格ニ達スルモノナキトキハ直ニ再入札ニ付スベシ

前二項ノ規定ハ郵便入札ノ場合ニ之ヲ適用セズ

落札トナルベキ同價格ノ入札ヲ爲シタル者二人以上アルトキハ抽籤ヲ以テ落札者ヲ定ムベシ但シ郵便入札ノ場合ニ於テハ主務吏員代リテ抽籤ヲ行フベシ

第三十三條　入札人ハ入札前ニ其ノ見積價格ノ百分ノ五以上ノ入札保證金ヲ納ムベシ

落札人ハ其ノ契約締結ノ際契約金額ノ百分ノ十以上ノ契約保證金ヲ納ムベシ但シ町（村）長ニ於テ特別ノ事情アリト認ムルトキハ之ヲ減額又ハ免除スルコトヲ得

落札人指定ノ期間内ニ契約ヲ締結セザルトキ又ハ契約ヲ履行セザルトキハ落札ヲ無效トシ又ハ契約ヲ解除シ其ノ保證金ハ之ヲ本町（村）ノ所得トス但シ不可抗力ニ因ル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十四條　本章ニ定ムルモノノ外明治四十年樺太廳告示第三十六號工事請負及工用品竝職工人夫供給規則ノ例ニ依ル

【樺法】

第八章　檢查

第三十五條　樺太町村制施行令第百三十一條ニ依ル定期出納檢查ハ每月五日、臨時出納檢查ハ一年度ヲ二期ニ分テ上半期ハ七月ヨリ九月ノ間ニ下半期ハ一月ヨリ三月ノ間ニ於テ之ヲ施行スベシ

前項檢查ノ例日休日ニ當ルトキハ順次繰下グ

（樺太町村制附則第二項ノ町村ノ例）

樺太町村制第六十七條ニ依ル定期出納檢查ハ每年度四月、六月、八月、十月、十二月、二月ノ各五日ヲ例日トシ臨時出納檢查ハ每年度一月ヨリ三月ノ間ニ於テ之ヲ施行スベシ

前項檢查ノ例日休日ニ當ルトキハ順次繰下グ

第三十六條　出納檢查ヲ行フトキハ其ノ前月末日迄ノ出納ヲ帳簿、證憑書類及現金ニ對照シテ之ヲ檢查スベシ但シ臨時出納檢查ニ在リテハ其ノ前日現在ニ依ルベシ

第三十七條　出納檢查ノ際不正當ト認ムル事項アルトキハ町（村）長ハ收入役ニ對シ審理書ヲ發シテ答辯ヲ徵シ其ノ事項輕易ナルトキハ日限ヲ期シテ誤ヲ正サシムベシ

第三十八條　出納檢查ヲ終了シタルトキハ歲出簿ノ差引殘ノ部ニ檢查施行ノ旨及其ノ年月日ヲ記入シ町（村）長署名捺印スベシ但シ臨時出納檢查ニ在リテハ町（村）長ノ外立會人ノ署名捺印ヲ要ス

附　則

本規程ハ昭和何年度分ヨリ之ヲ適用ス

【樺法】

第一號樣式　　歲入簿

昭和何年度

歲　入　簿

何郡何町（村）役場

科數手及料用使紙二第
科數手頁二第
科數手明證目一第

年月日		摘要	豫算額	收入命令額	收入額	差引 未收入額	差引 豫算殘額
昭和何年五月十日	㊞	定額豫算	二、五〇〇圓	圓	圓	圓	二、五〇〇圓
五月二十一日	㊞	第一期何某外何名調	〇				〇
△五月二十六日	㊞	△第一期何某調定額	〇				〇
五月三十一日	㊞	第一期何某外何名納	〇	五九五〇	〇	五九五〇	二、五〇〇
第一期何某外何名納	㊞	誤△第一期付過額何某調定額	〇	二七五〇	〇	二七五〇	二、二八〇
		△	二五〇				
				三、三〇〇	〇	二七五〇	二、二八〇
二六〇〇						四〇	一、九二〇
二五〇						一八〇	一、九〇〇
二五〇						一八〇	一、九〇〇

過月計		摘要	豫算額	收入命令額	收入額	差引 未收入額	差引 豫算殘額
計	計		二、七〇〇	一、〇七三〇	一、〇六九八〇		一、六三〇
			〇	〇	〇		〇
			二〇〇	四七八〇	四八九八〇		一、六三〇
			〇	〇	〇		〇
			二、五〇〇	五九二五〇	五八〇〇	一二五〇	一、九二〇
			〇	〇	〇		〇
		六月三日豫算追加	二〇〇				二、二二〇
		額第一期臨時何某調定	〇	四八〇		一七三〇	〇
		第一期何某外何名納	〇		一〇	七三〇	二、二一〇
		第一期臨時何某納	〇		四八〇	二五〇	二、一〇五二〇
		△第一期何某調定額	〇			△二五〇	
		分△第一期何某調定額	〇	四七八〇		四七八〇〇	
		名第一期何某外何調定追加	〇	四七八〇	四七八〇		一、六二七二〇
		第一期何某外何調定追加	〇				
		定△第一期何某調付過額追加	〇	三〇〇			
		第一期何某調付過額追加	〇		△三〇〇		一、六三〇二〇
計	計		二、七〇〇	一、〇七三〇	一、〇六九八〇		一、六三〇二〇

（繰越）

備考

一　本帳簿ハ毎年度改調スベシ

二　豫算ノ經常部、臨時部ノ別ニ依リ口座ヲ分チ更ニ科目ノ細目ニ從ヒ口座ヲ分ツベシ

三　「年月日」欄ノ年ハ最初ニ記載スル事項及年ノ改マル場合ニ於ケル事項ニ限リ之ヲ記載スベシ第二號樣式、第七號樣式、第八號樣式、第十四號樣式、第十八號樣式金員ノ部、第二十二號樣式、第二十三號樣式、第二十四號樣式、第二十五號樣式、第二十六號樣式、第二十七號樣式及第二十九號樣式ニ於ケル「年月日」欄亦同ジ

四　「收入命令及收入徹」印欄ノ印ハ町（村）長印トス

（繰越）

第二號樣式

歲出簿

（村）各帳簿ニ之ニ倣フ

何（村）基本財産歲入簿」ト記載スルガ如シ）

六　特別會計ニ在リテハ帳簿名ヲ「何々歲入簿」ト記載スベシ（例ヘバ基本財産ノ特別會計ナレバ「何町（村）基本財産歲入簿」又ハ「何町

五　△印ヲ付セル文字ハ朱書スベシ

費場役　款一第 給　能　項一第 料給役助　目一第	年 月 日	番號	摘要	豫算額	支出額	豫算殘額
			定額豫算	二、五〇〇圓〇〇	圓	二、五〇〇圓〇〇
	昭和何年四月三十日	一	前給月分十六日ヨリ三十日迄月俸何程ノ日		五〇〇〇	二、四五〇〇
	通月計			二、五〇〇〇	五〇〇〇	二、四五〇〇
	五月二十一日	七	五月分月俸助役何某渡		二一〇〇〇	二、二一〇〇
	計月計				二一〇〇〇	二、二一〇〇
	通計			二、五〇〇〇	二七〇〇〇	二、二一〇〇

何郡何町（村）役場

歲出簿

昭和何年度

費場役　款一第 給　能　項三第 料給役助　目二第	年 月 日	番號	摘要	豫算額	支出額	豫算殘額
			定額豫算	一〇〇圓〇〇	圓	一〇〇圓〇〇
	昭和何年四月三十日	二	某渡月十日某地出張監督町（村）長（何々）何		一〇 二五	八 八九 七五
	五月三十一日計	六	四月分追加十日支拂出張監督何某渡分不足		一〇 二五	八 八九 七五
	通月計				一〇 三五	八 八九 六五
	六月二十七日	九	用役場費第一項給料第一目助役給料ヨリ流	一〇〇〇		一〇 八九 六五
	六月三十日		何月何日某地出張監督助役何某外何名渡		五〇 一〇	五九 五五
			付六月三十日豫算百圓ヲ百三十圓ニ更正ニ	三〇〇		八九 五五
	通月計			一五〇〇	六〇 一〇	八九 五五
	六月二十五日	一	渡四月三十日支拂四月分日割給何某渡分過付返納			二、三一〇
	六月二十七日		△役場費第三項雜給第二目旅費ヘ流用	△ 二〇	〇〇	二、二一〇
	計月計			△ 二〇	△ 〇 一	〇 一
	通計			二、四八〇〇	二六九九	二、二一〇 一

費筑學小　款四第
費用需　項二第
費品備　目一第

月	日	番號	摘要	豫算額	支出額	豫算殘額
			定額豫算	八〇圓〇〇	圓	八〇圓〇〇
四	三十	三	卓新調代何某渡		一五〇〇	六五〇〇
同	日	四	時計修繕代何某渡		一五〇〇	六四五〇〇
計	日			八〇〇〇	一五〇〇	六四五〇〇
六	十	八	科費手指 目第三修 過ニ項繕 仍修代 更繕何 正費某渡 一分 目五月 繕三十 費一日 ヨ小學 リ校 支ノ 拂ニ	八〇〇〇	一五〇〇	六四五〇〇
過	計			八〇〇〇	一五六五	六四三五
八	十		豫備費ヨリ移ス	五〇〇〇	一五六五	六四三五
月	日			五〇〇〇		六九三五
計	計			八五〇〇	一五六五	六九三五

（繰越）

入借時一

月	日	番號	摘要	借入額	返濟額	未返濟額
同	同		何某ヨリ借入返濟期限昭和何年何月何日	一〇〇〇〇〇		
昭和何年四月二十九日	昭和何年四月二十九日		何某ヨリ借入返濟期限昭和何年何月何日	二〇〇〇〇〇		
			昭和何年四月二十九日借入決定	圓	圓	三〇〇〇圓〇〇
計	計			三〇〇〇〇〇		三〇〇〇圓〇〇

費備豫款一十三第
費備豫　項一第
費備豫　目一第

月	日	番號	摘要	豫算額	移算額	豫算殘額
			定額豫算	五〇圓〇〇	圓	四五〇圓〇〇
八	十五	日	第四款小學校費第二項需用費第一目備品費ヨ移ス		五〇〇	四五〇〇
計	計			五〇〇〇	五〇〇	四五〇〇

費
費
費

月	日	番號	摘要	通額	△額	通額
通	計			一〇〇〇		一〇〇〇
通	計			八〇〇〇		八〇〇〇
△	計			二〇〇〇	△	一八〇〇
△	計			二〇〇〇	一五〇〇	六五〇〇
六	十	八	付△目分△五 額豫科目月 算首ニ三十 ヲ更付一 八正小日 十學支 圓ニ校拂手 ニ六費第修 月三品ニ一繕 三十費項代 日更ヨ需何 更正リ用某 ニ支費渡 ノ拂第 ニ		△	七一五〇
月	日			五一〇〇	一五〇〇	五一五〇
計	計			五一〇〇	一五〇〇	五一五〇

（繰越）

金入敷	年月日	摘要	管現金保額	現金受入額	支現金ノ拂内額	預入額	支直預拂繰入額積金ノ主ノ内	引預出額入金	保現管額金	現預在額入金
	昭和何年四月五日		圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
五	四月二十九日		二〇	二〇〇	〇〇	三〇〇	〇〇		二〇	三〇〇 二〇
月	四月三十日		二〇						二〇	一九五 七五
十	五月十日		二〇	一	〇〇				二〇	一九五 七五
日	五月二十一日		二〇	三〇〇	二〇				二〇	一九五 七五
六	通計		二〇	三〇一	二〇	三〇〇	〇〇		二〇	一九五 七五
月	四月二十九日	一時借入金借入	二〇	三〇〇	〇〇				二〇	三〇〇 二〇
一	四月三十日		二〇						二〇	一九五 七五
日	五月十日		二〇	一	〇〇				二〇	一九五 七五
	五月二十一日		二〇	三〇〇	二〇				二〇	一九五 七五
	通計		二〇	三〇一	二〇	三〇〇	〇〇		二〇	一九五 七五
	五月三十一日	△一時借入金返済	〇〇	二六〇	〇〇				二〇	一九五 七五
	通計		二〇	五八一	二〇	三三四	一〇四	二五	二〇	一九五 七五
	六月十日		二〇	一	〇〇				二〇	一九五 七五
	六月二十五日		二〇	四七八	〇〇				二〇	一九五 七五
	通計		二〇	五九六	〇〇	三三四	一〇四	二五	二〇	一九五 七五
	六月二十七日	△第三款第五項第一目	二〇	一、〇七四	〇〇	三三四	一〇四	二五	二〇	一九五 七五
	六月二十五日	△第一款第一項第一目	二〇	一、〇七一	〇〇	三三四	一〇四	二五	二〇	一九五 七五
	六月十日		二〇	一、〇七一	〇〇	三三四	一〇四	二五	二〇	一九五 七五
	通計		二〇	一、〇七一	〇〇	三六三	一〇四	二五	二〇	一九五 七五

金	年月日	摘要	残引出差入歳	金
通同	五月三十一日	四月二十九日何某ヨリ借入分返済	〇〇	二一〇
同	同日	同日何某ヨリ借入ノ分返済	〇〇	一〇〇
通計	日		〇〇	三一〇

預金

五月二十四日		一〇一 二〇			一〇〇 〇〇			一 二〇	二九五 七五
五月三十一日		一 二〇	二六〇 〇〇	一〇〇 二五		二〇〇 〇〇		一六〇 九五	二九五 七五
六月三日		一六〇 九五						一〇 九五	二四五 七五
六月五日		一〇 九五	一〇 〇〇					二〇 九五	二四五 七五
六月六日		二〇 九五	四 八〇					二五 七五	二四五 七五
六月二十五日		二五 七五	四七八 〇一					三 七六	七四五 七五
六月二十六日		三 七六					三〇 〇〇	三三 七六	七一五 七五
六月二十七日		三三 七六		三 〇〇				三〇 七六	七一五 七五
六月三十日		三〇 七六			九 一〇	五〇 〇〇		二一 六六	六六五 七五

備考

一　本帳簿ハ毎年度改調スベシ

二　第一號様式ノ備考二及五ハ本様式ニ之ヲ準用ス

三　「番號欄」ハ支出命令ノ番號ヲ記載スベシ

四　一時借入金、歳入出差引殘、收入金預入ノ部ハ帳簿ノ末尾ニ口座ヲ設ケテ記載スベシ

五　收入金預入ノ部ニ於テハ歳入ノ減額ハ支拂ノ方ニ歳出ノ減額ハ受入ノ方ニ之ヲ記載スベシ

六　收入金預入ノ部ノ「預入金ノ内直接債主ヘ支拂額」欄ハ樺太町村制施行規則第百二十四條ノ規定ニ依リ預入銀行ヲ支拂人トスル小切手ヲ債主ノ爲ニ振出シテ現金ノ交付ニ代ヘタルモノヲ記載スベシ

〔樺法〕

第三號様式

現金前渡概算拂整理簿

〔樺法〕

昭和何年度

現金前渡概算拂整理簿

何郡何町（村）役場

前渡又ハ概算拂年月日	摘要	前渡又ハ概算拂金額	精算 年月日	精算 精算額	精算 追拂額	精算 返納額
		圓		圓	圓	圓
昭和何年何月何日	經常部第何款役場費第何項雜給第何目何某旅費概算拂	一〇〇 〇〇	昭和何年何月何日	一〇三 〇〇	三 〇〇	
昭和何年何月何日	經常部第何款小學校費第何項需用費第何目何費何某何々代前渡	二〇〇 〇〇	昭和何年何月何日	一九五 〇〇		五 〇〇

備考

本帳簿ハ毎年度改調スベシ

第四號様式

繰替金整理簿

由事	年月日	摘要	何 支出額	何 受入額	某 残額
昭和何年何月何日何地ニ於テ倒死、何月何日警察官吏ヨリ引渡ヲ受ケ何月何日何墓地ニ假埋葬セリ（何々） 昭和何年何月何日何地ニ於テ行旅病人トシテ救護、昭和何年何月何日全治歸郷セリ（昭和何年何月何日何地ニ於テ倒死、何月何日警察官吏ヨリ引渡ヲ受ケ何月何日何墓地ニ假埋葬セリ）（何々）	何昭和月和何日年	葬共費務者ノ國庫ヨリ交付（何々）			
	何昭和月和何日年	葬共費務者ノ財産ヨリ國庫ヨリ交付（何々）			
	何昭和月和何日年	何々代何某渡	一、〇〇〇		
	何昭和月和何日年	葬儀、醫師何某渡	二、〇〇〇		
	何昭和月和何日年	何々代何某渡	五〇〇		
	何昭和月和何日年	何々人夫賃（死體運搬人夫賃）何某外何名渡	三圓〇〇	圓	
		行旅病人救護費（行旅死亡人取扱費）			
		繰越金	六、五〇〇	六、〇〇〇	五〇〇
		計	六、五〇〇	六、〇〇〇	五〇〇

本籍　何縣何郡何町（村）大字何々番地戸主（戸主何某長男）（何々）

何郡何町（村）役場

繰越金決算原簿

第五號樣式

何々費費決算原簿

何郡何町（村）役場

備考

一　本帳簿ハ逓年度繼續使用スベシ

二　一事件毎ニ之ヲ記載スベシ

三　樣式ハ行旅病人又ハ行旅死亡人ノ場合ヲ例示セルモノナリ故ニ入費旅費、召集旅費ノ如キ場合モ之ニ準ズベキモノトス

		豫算額	決算額	逓次繰越額引差	決算殘額
支出額	昭和何年度 定額	二、〇〇〇圓〇〇	一、四〇〇圓〇〇	六〇〇圓〇〇	圓
	昭和何年度 逓次繰越額	六〇〇〇〇	一、四〇〇〇〇	一〇〇〇〇	一〇〇〇〇
	昭和何年度 定額	一、〇〇〇〇〇			
	逓次繰越額	一、五〇〇〇〇	一、五〇〇〇〇		

第六號樣式　　歲計剩餘金支出及繰越金目流用並翌年度歲入繰上充用簿

備考
一　本帳簿ハ連年度繼續使用スベシ

昭和何年度

歲計剩餘金支出及繰越金目流用並翌年度歲入繰上充用簿

何郡何町（村）役場

歲計剩餘金支出ノ部

決定年月日	長町（村）印	牧入役ヘ通知年月日	補充科目	補充額	事由	牧入役印
昭和何年何月何日	㊞	昭和何年何月何日	經常部第四款小學校費第一項雜給第一目旅費	二〇圓〇〇	教員旅費不足ノ爲	㊞
昭和何年何月何日	㊞	昭和何年何月何日	經常部第二十二款營繕費第二項需用費第一目備品費	一五〇〇	ポンプ購入費不足ノ爲	㊞

歲計剩餘金繰越金目流用ノ部

議決（諮問）年月日	長町（村）印	牧入役ヘ通知年月日	流用科目	流用額	事由	牧入役印
昭和何年何月何日	㊞	昭和何年何月何日	經常部第一款役所費第一目備品費第四項需用費第五項修繕ヲ要スル費	三〇圓〇〇	用役所庭園修繕ヲ要スル費不足ノ爲	㊞

〔裏面〕

第七號樣式　　支出命令番號簿

備考
一　本帳簿ハ每年度改調スベシ
二　項內ノ細目流用ニ在リテハ「議決（諮問）年月日」ノ欄ニ朱線ヲ引スベシ

昭和何年度

支出命令番號簿

何郡何町（村）役場

番月許可（認可）年號日	何何昭第月和號日年	何何昭第月和號日年	何何昭第月和號日年	翌年度歲入繰上充用ノ部	昭和何年何月何日
長町（村）印	㊞	㊞	㊞		㊞
年通牧入役月日知ヘ	昭和何年何月何日	昭和何年何月何日	昭和何年何月何日		何昭月和 何何日年
充用科目	經常部第四款小學校費第一項雜給第一目旅費	經道路橋梁費第三款第土木費第一目道路修繕費	貧民救療費第一款第一目救助金		傳染病豫防費第六款第二項第三目人痘苗及藥品費
充用額	二〇圓〇〇	三〇〇圓〇〇	七〇〇〇		一八〇〇
事由	教員旅費不足ノ爲	爲何道路修繕費支拂ノ	ノ爲何山福林人夫賃支拂		藥品費不足ノ爲
戻入年月日		百二百圓圓	昭和何年何月何日		
牧入役印	㊞	㊞	㊞		㊞

〔裏面〕

第八號様式

收入金預入簿

昭和何年度

何部何町（村）役場

收入金預入簿

一　番號ハ順序番號トス

番號	命令年月日	科目	主任	金額	支拂年月日
一	四昭和三何十年月日	第第經二一常目項部費給第一記料款役場費	何	五〇圓〇〇	四昭和三何十年月日
二	同	第第經二三常目項部費給第一仕給款役場費	某	一〇五	同
三	同	第第經二三常目項部費消需第一用四品費款小學校費	某	一五〇	同
四	同	第第經二一常目項部費需需第一繕修第一繕修四品費款小學校費	某	五〇〇	同
五	同	第第經二三常目項部費修修第一繕修四品記料款小學校費	某	二八〇	同
六	五月二十一日	第第經二三常目項部費給第一仕給款役場費	某	五〇〇	同
七	同	第第經二一常目項部費書給第一記料款役場費	名某	〇〇二一〇	五月二十一日
八	五月三十一日	第第經二三常目項部費修修第一繕修四品費款小學校費	名某	〇〇二一〇	五月三十一日
九	六月三十日	第第經二三常目項部費給第一仕給款役場費	名某	〇〇一一〇	六月三十日

備考

一　本帳簿ハ毎年度改調スベシ

先入預	何部何町（村）大字何 何銀行（何銀行何支店）（何郵便局）	番通號帳	第何號（何第何號）				
年月日	摘要	預入額	預主ヘ額ノ支拂内額直後	引出額		預入現在額	
四昭和二十何九日年		一〇〇圓〇〇	圓		圓	三〇〇圓〇〇	
四月三十日	何某ヘ支拂		一〇四	二五		一九五	七五
五月二十四日		五〇〇				二四五	七五
五月三十一日	何某ヘ支拂		一〇〇	〇〇		一四五	七五
六月三日		一〇〇				二四五	七五
六月二十五日		五〇〇				七四五	七五
六月二十七日				三〇	〇〇	七七五	七五
六月三十日	何某ヘ支拂		五〇	〇〇		六六五	七五

二　番號ハ順序番號トス

第八號様式

收入金預入簿

備考
一　本帳簿ハ毎年度改調スベシ
二　頂入通帳ノ要ルヲ毎ニ口座ヲ分ツベシ
三　「頂入額ノ内直接債主ヘ支拂額」欄ハ棒太町村制施行規則第百二十四條ノ規定ニ依リ頂入銀行ヲ支拂人トスル小切手ヲ債主ノ爲ニ振出シテ現金ノ交付ニ代ヘタルモノヲ記載スルモノトス尙郵便貯金ニ在リテハ此ノ欄ヲ要セズ

第九號樣式

町（村）稅賦課徵收臺帳

昭和　何年度

何稅（何割）（國稅何稅附加稅）

町（村）稅賦課徵收臺帳

何郡何町（村）役場

二	號	一	納入人	摘要	第一期				第二期				第三期				第四期			
大字何	番	大字何			金額	月日	印	收期	金額	月日	印	收期	金額	月日	印	收期	金額	月日	印	收期
何某		何某			二圓五〇	四月二十七日	㊞		二圓五〇	七月三十一日	㊞		二圓五〇	十月二十八日	㊞		二圓五〇	十二月二十五日	㊞	
何（村）大字何何郡ヨリ年何町入月何日（村）大字何何郡何町へ轉年何月何日出		五〇〇	昭和何年何月何日轉入	「六〇〇」ヲ「五〇〇」ニ訂正△印ノ分ハ朱書スベシ																

（轉法）

備考
一　本帳簿ハ毎年度改調スベシ
二　紙數少キ時ハ合冊スルコトヲ得此ノ場合ハ枝番ニ口座ヲ分ツベシ
三　追加課稅ノ分ハ別冊トシ前表紙ノ枝番ニ追加ノ旨ヲ記載スベシ但シ定期ノ分ニ適宜追加ノ欄ヲ設ケテ併記スルコトヲ得
四　數人若ハ町（村）ノ一部ニ對スル賦課ノ分ハ別冊トシ前表紙ノ枝番ニ「何々ノ關係者賦課」又ハ「大字何賦課」ノ如ク記載スベシ
五　特別稅種稅ハ各種目毎ニ口座ヲ分ツベシ又ハ種目中ノ細目毎ニ口座ヲ分ツベシ
（電柱稅、金扉稅、畜犬稅、藝妓稅、車稅ノ內自轉車、遊興稅ノ內遊興飮食稅、遊興稅ノ內娼妓、藝妓、芸者ニ對スル分ノ如シ）
六　番號ハ順序番號トス
七　「納人」欄ノ「大字何」ヘアルハ本町（村）ニ住所ヲ有スル者ノ例ヲ示シタルモノナリ故ニ本町（村）ニ住所ヲ有セザル者ニ在リテハ郡町（村）大字名等ヲ記載スベシ各樣式ニ於テ所ノ如キモノノ記載方總テ同ジ
八　一年度分ヲ一時ニ賦課スルモノニ在リテハ「摘要」欄ヲ設ケザルコトヲ得
九　「領收月日印」欄ノ印ハ收入役印トス但シ第三十七號樣式ノ收入役領收印ヲ使用スルトキハ「何月何日」ノ文字記載ヲ要セズ
十　「第何期迄」トアルハ一例ヲ示シタルモノナレバ各期ニ依リ「前期迄」「後期」「前半年分」「後半年分」「何月分」「自何月至何月」ノ如キ記載ヲ要セズ他ノ樣式ニ於テ所ノ如キモノノ記載方總テ同ジ
十一　「金額」欄ノ「」ハ朱ニテ之ヲ書スベシ
△印ヲ付セル文字ハ朱書スベシ

四	三	號	番
大納字何何管理人	大字何何		
某	某		
（昭和何々）年何月何日何々ニ付起額減額何々賣渡	昭和何年何月何日何々ニ付起額減額何々賣入		
	七五〇	二圓五〇	第一期
	五月三日㊞	五月三日㊞	
	二五〇	二圓五〇	第二期
	十月二十日㊞	十月二十日㊞	
三〇〇	二五〇	二圓五〇	第三期
十月二十一日㊞	鉄磯十分五ノ日二結果納二	十月二十日㊞	
	二五〇	二圓五〇	第四期
繰越△翌年度へ	十二月△翌年度へ十二月三十一日迄ニ可	十二月△翌年度へ	

（轉法）

十二　各納期毎ニ人員及金額ノ合計ヲ終ニ左ノ如ク記載スベシ

號番	納人	摘要	第一期 金額	第一期 領收月日印	第二期 金額	第二期 領收月日印
合計	改 一二四人		改改△ 一、三三七五〇〇	外何名何増日 何月何日 何某	圓	
	何月何日 何某減 一二五人		一、三三四五〇〇	某△減何月何日		
			一、三三三五〇〇			

人員及金額ノ合計ハ一調定毎ニ之ヲ記載スベシ故ニ例ヘバ第一期ノ納期限ヲ過ギテ其ノ一期ニ屬スル分ヲ隨時調定シタルモノノ如キ

ハ假令第一期ナリトモ總モ別式ノ如ク合計ヲ記載スルモノトス

十三　帳簿ノ首部(數枚目合冊ノ場合ニハ其ノ枚目ノ分ノ首部)ニ左ノ樣式ノ合計表ヲ添付スベシ

何枚(圓枚何枚納期追加)合計表

何々何程ニ付課率何程(圓枚何枚一圓ニ付課率何程ノ圓枚何枚每期納額一圓ニ付課率何程)

第一期課率何程	第二期課率何程	第三期課率何程	第四期課率何程

第一期	第二期	第三期	第四期	隨時期	合計
賦課徵收起算日					
納期限					
調定額					
收納額					
收入額					
還付未濟額					
收入額計					
繰越額					
減免額					
缺損額					

〔續法〕

第十號樣式

夫役賦課徵收臺帳

昭和何年度　何工事(何々ノ夫役ニ關スル用途ヲ記載スルコトヲ要ス)

夫役賦課徵收臺帳

何郡　何町(村)役場

號番	納人	賦課人夫數	代納金	人夫使役期日	濟人夫使役印	代納金領收月日印

翌年度繰越額ニ關シ年度ヘ繰越シタルモノハ翌年度ニ於テ別ニ帳簿ヲ設ケテ整理スベシ(町(村)役外ノ町(村)收入亦同ジ)

過年度賦課ニ係ルモノハ其ノ年度ニ於テ別ニ帳簿ヲ設クベシ(町(村)役以外ノ町(村)收入亦同ジ)

中ノ遊興稅ノ如シ此ノ場合ハ總稅ノ賦課徵收臺帳ノ表紙稅目ニ遊興稅ヲ除クト記載スベシ)

宜ノ式ニ依ルベシ(舟其ノ徵收セシムル町(村)稅獨立ノ稅目ニ非ザルトキハ其ノ稅目ヨリ分離シテ別ニ帳簿ヲ設クベシ(例ヘバ總稅

十四　標本町村制施行規則第百四條第一項ノ規定ニ依リ徵收ノ便宜ヲ有スル者ヲシテ徵收セシムル町(村)稅ニ在リテハ本帳簿ハ之ヲ適

追加課稅ノ分ハ標目ニ追加ノ旨ヲ記載スベシ

「翌年度繰越額」欄中左ノ期許可セルモノハ朱ニテ內書スベシ

納入告知書	賦課人員	人夫使役	代納金額	人夫使役供出納金額	人夫使役	納金割役人夫使役代数	人夫使役代数入額納金期	過誤納還付金	代納金入額計	代納金収入額繰越金	代納金収入額	代納金欠損額
役付年月日	夫数	役人期日	代納金額	人夫使役供出納金額	人夫使役数	納金割役人夫使役代数	収入役額収印ヲ使用スルトキハ「何月何日」ノ文字記載ヲ要セズ	過誤納還付金	代納金	収入役額収印ヲ使用スルトキハ「何月何日」ノ文字記載ヲ要セズ	代納金収入額	代納金欠損額

六　式ノ収入役領収印ヲ使用スルトキハ「何月何日」ノ文字記載ヲ要セズ

帳簿ノ首部（数工事等ノ分合冊ノ場合ハ其ノ工事等ノ分ノ首部）ニ左ノ様式ノ合計表ヲ添付スベシ

何工事（何々）夫役合計表

直接町（村）税（直接国税）何程ニ付人夫一人此ノ代納金一人ニ付何程

何工事（何々）夫役合計表

昭和何年何月何日賦課

代納金算出何々何程ニ付人夫一人此ノ代納金一人ニ付何程

賦課人夫数	人夫使役数	人夫未使役数	対未使役人夫ニ対スル代納金	代納金収入額	繰越代納金額	代納金欠損額
人	人	人	円	円	円	円

何工事（何々）急迫夫役合計表

一	番号	納	人夫数	人夫使役期日並使役済印	未使役人夫代納金	代納金領収月日印
		大字何何某	何人	何月何日内何人㊞	円	何月何日㊞

七　急迫ノ場合ニ賦課スル夫役ニ在リテハ簿様及合計表ノ様式左ニ依ルベシ但表紙ニハ急迫ノ旨ヲ記載スベシ

如ク記載シ又ハ町（村）毎ノ合計表ノ例ニ準ジ同頭ノ欄ヲ設ケテ之ヲ列記スベシ

一工事等ニ於テ数回ニ分チテ夫役ヲ課スルモノニ在リテハ「何工事（何々）夫役合計表」トアルヲ「何工事（何々）第何回夫役合計表ノ代納金額ハ更ニ朱ニテ内書スベシ

「代納金収入額計」欄ニハ代納金ニテ収入シタルモノモ「過誤還付代納金額」欄中ニ之ヲ記載スベシ此ノ場合ハ朱ニテ此ノ分ヲ内書スベシ

過誤使役人夫ヲ代納金ニテ換算還付シタルモノモ「過誤還付代納金額」欄中ニ之ヲ記載スベシ此ノ場合ハ朱ニテ此ノ分ヲ内書スベシ

昭和何年何月何日	何人	何月何日人	何月何日人	何月何日人	何月何日人	何月何日人	何月何日人	何月何日人	何月何日人	何月何日人	何月何日人
		、、円	、、円	、、円	、、円	、、円	、、円	、、円	、、円	、、円	、、円

〔縮写〕

第十一號様式　現品賦課徴収簿様

賦課	備考
一　本帳簿ハ毎年度改調スベシ	
二　第九號様式ノ備考六及十二ハ本様式ニ之ヲ準用ス	
三　一工事等ニ於テ数回ニ分チ夫役ヲ課スルモノニ在リテハ之ヲ合冊シ各回毎ニ口座ヲ分ツベシ	
四　紙数少キモノハ数工事ノ分ヲ各合冊スルコトヲ得此ノ場合ハ工事毎ニ口座ヲ分ツベシ	
五　「人夫使役期日」欄ノ印「人夫使役済」欄ノ印及「代納金領収月日印」欄ノ印ハ収入役印トス但シ「代納金領収月日印」欄ニ第三十七號様式ノ収入役領収印ヲ使用スルトキハ「何月何日」ノ文字記載ヲ要セズ	
六　帳簿ノ首部（数工事等ノ分合冊ノ場合ハ其ノ工事等ノ分ノ首部）ニ左ノ様式ノ合計表ヲ添付スベシ	
何工事（何々）夫役合計表	
直接町（村）税（直接国税）何程ニ付人夫一人此ノ代納金一人ニ付何程	
何工事（何々）夫役合計表	
代納金算出何々何程ニ付人夫一人此ノ代納金一人ニ付何程	
昭和何年何月何日賦課	
何工事（何々）急迫夫役合計表	
七　急迫ノ場合ニ賦課スル夫役ニ在リテハ簿様及合計表ノ様式左ニ依ルベシ但表紙ニハ急迫ノ旨ヲ記載スベシ	
如ク記載シ又ハ町（村）毎ノ合計表ノ例ニ準ジ同頭ノ欄ヲ設ケテ之ヲ列記スベシ	
一工事等ニ於テ数回ニ分チテ夫役ヲ課スルモノニ在リテハ「何工事（何々）夫役合計表」トアルヲ「何工事（何々）第何回夫役合計表ノ代納金額ハ更ニ朱ニテ内書スベシ	
「代納金収入額計」欄ニハ代納金ニテ収入シタルモノモ「過誤還付代納金額」欄中ニ之ヲ記載スベシ此ノ場合ハ朱ニテ此ノ分ヲ内書スベシ	
過誤使役人夫ヲ代納金ニテ換算還付シタルモノモ「過誤還付代納金額」欄中ニ之ヲ記載スベシ此ノ場合ハ朱ニテ此ノ分ヲ内書スベシ	

〔縮写〕

昭　和　何　年　度　何々（現品ノ用途改変修工其ノ他現品名ヲ記載スベキガ如例シ）

現品賦課徴収簿帳

何郡何町（村）役場

番號	納人	賦課數量	代納金	現品收納期日	現品收納濟印	代納金領收月日印
			圓			

備考

一　本帳簿ハ毎年度改調スベシ

二　紙數少キモノハ數種ノ現品ノ分ヲ合冊スルコトヲ得此ノ場合ハ現品ノ種類毎ニ區ヲ分ツベシ

三　第十號樣式ノ備考二、三、五及六竝ニ內容記載方ハ本樣式ニ之ヲ準用ス

第十二號樣式　納稅延期用細帳

昭　和　何　年　度

納稅延期明細帳

何郡何町（村）役場

〔縱法〕

稅目	納期	帳冊號	延期稅額	延期許可年月日	納付指定期限	收入年月日	納稅者	摘要
第幾回稅何加稅何期稅稅		一五	三圓〇〇	何昭和何年何月何日	何昭和何年何月何日	何昭和何年何月何日	大字何某	昭和何年何月何日延期許可

備考

一　本帳簿ハ毎年度改調スベシ

二　翌年度ヘ繰越シタルモノハ翌年度ノ帳簿ニ更ニ移載スベシ此ノ場合ハ翌年度ノ帳簿ノ「摘要」欄ニ其ノ年度ヲ記載スベシ

三　「帳冊號」欄ハ賦課徴收帳ノ番號ヲ記載スベシ

四　本帳簿ハ稅目毎ニ區ヲ分ツコトヲ得

第十三號樣式　使用料徵收帳

昭　和　何　年　度

使用料徵收帳

小學校授業料（以外ノ學校モノ授業料）

何郡何町（村）役場

〔縱法〕

小學校授業料ノ例

番號	納入告知書發付月日	兒童名	摘要	月額	別領收月日印
一	昭和何年何月何日	大字何 何某	何年何月何日何町(村) (轉出	何程	四月分 何月何日領收㊞ 五月分 何月何日領收㊞ 六月分 七月分 八月分 九月分 十月分 十一月分 十二月分 一月分 二月分 三月分

小學校授業料以外ノモノノ例

番號	納入告知書發付年月日	人種	目金額	納期限	領收月日印	摘要
一	昭和何年何月何日	大字何 何某	何々 圓、、	何月何日限	何月何日㊞	

備考

一　本帳簿ハ毎年度改調スベシ

二　番號ハ順序番號トス

三　小學校授業料ヲ數箇月分纏メテ徵收スルモノニ在リテハ左ノ樣式ニ依ルコトヲ得

番號	納入人	兒童名	摘要	月額	自何月至何月	自何月至何月	自何月至何月
				金額	領收月日印	金額 領收月日印	金額 領收月日印

〔縫法〕

一	大字何 何某	何程	圓、、	何月何日㊞	圓、、	圓	圓

四　小學校授業料ノ部ノ「月別領收月日印」欄又ハ「領收月日印」欄ノ印及小學校授業料以外ノモノノ部ノ「領收月日印」欄ノ印ハ納ム收入役領收印ヲ使用スルトキハ「何月何日領收」ノ文字又ハ「何月何日」ノ文字記載ヲ要セズ但シ第三十七號樣式ノ收入役領收印ヲ使用スルトキハ「何月何日領收」ノ文字又ハ「何月何日」ノ文字記載ヲ要セズ

五　小學校授業料ニ在リテハ納入、金額ノ合計ヲ町(村)役賦課徵收臺帳ノ例ニ準ジ記載スベシ

六　小學校授業料以外ノモノノ部ハ毎月月計及通計ヲ記載スベシ

七　小學校授業料ニ限リ臺帳首部ニ左ノ樣式ノ合計表ヲ添付スベシ

	納入告知書發付年月日	納期限	調定額	納期內收入額	納期後過誤納還付額	收入計額	翌年度繰越額	缺損額
四月			圓	圓	圓	圓	圓	圓
五月								
六月								
七月								
八月								
九月								
十月								
十一月								
十二月								
一月								
二月								

〔縫法〕

第十五號様式

滞納整理督促手数料及差押金等徴収簿帳

昭和何年度	滞納整理督促手数料及差押金等徴収簿	町村(役)ノ部

何郡何町(村)役場

六　督促手数料ハ本帳ニ記載スベカラズ

五　毎月月計及通計ヲ本帳ニ記載スベシ

四　「領収月日印」欄ノ収入役印ハ第三十七號様式ノ収入役印ヲ使用スルトキハ「何月何日何ノ収入役印ノ文字記載ヲ要セズ

三　番號ハ各頁序號トス

二　證明手数料等ノ別ニ從ヒ口座ヲ分ツベシ

一　本帳ハ年度別ニ調製スベシ

備考

第十四號様式

手数料徴収簿帳

昭和何年度	手数料徴収簿	町村(役)ノ部

何郡何町(村)役場

八　小學校授業料以外ノモノト雖モ毎月徴収スルモノニ在リテハ小學校授業料ノ例ニ倣ヒ毎ニ記載スベシ此ノ場合ハ他ノ小學校授業料以外

第三十一號様式備考五ノ月ハ「領収月日印」欄ヲ設ケテ徴収スルモノニ在リテハ月ノ欄ヲ至何月ト「自何月」トシ金額ハ其ノ合計額ヲ記載スルモノトス

納税告知書發付年月日何何年何月何日

番號 一	納期限	領収月日印	摘要	人
何月何日限	何月何日㊞	何、何、	納税證明手数料	某

證明(閲覧又ハ何々)ノ部

第十三號様式

何月何日	何月何日限	何月何日㊞	何々何件	大字何何某
二		何、何、		

計

三　月

督促狀發付年月日	昭和何年五月十日		
納付指定期限	昭和何年五月二十五日限		
	金	額	領收月日印
督促手數料		一〇圓	六月七日㊞
延滯金	十三日分	九七	六月七日㊞
滯納處分費		—	
顛末	昭和何年六月七日完納 （昭和何年何月何日財産差押、何月何日公賣決行、何月何日完納） 昭和何年何月何日 （無財産ニ付缺損處分） （何々）		

町(村)稅以外ノ部

種目	臺帳番號	滯納金額	滯納者
水道料六月分	七一	二〇〇圓	大字何　何某
督促狀發付年月日	昭和何年七月六日		
納付指定期限	昭和何年七月二十日限		
	金	額	領收月日印
督促手數料		一〇圓	八月十日㊞
滯納處分費		二五	八月十日㊞
顛末	昭和何年何月何日財産差押、何月何日公賣決行、何月何日完納 （何々）		

備考

〔樺法〕

一　本帳簿ハ毎年度改調スベシ
二　本帳簿ハ督促狀又ハ納付命令書ヲ發シタルモノノミヲ記載スルモノトス
三　納付命令ノ手數料モ督促手數料ノ部ニ之ヲ記載スベシ
四　督促手數料ヲ徵セザル場合ニ在リテハ本帳簿ヲ「滯納整理竝延滯金等徵收臺帳」トシ督促手數料ニ係ル欄ヲ要セズ
五　町(村)稅ノ部ト町(村)稅以外ノ收入ノ部トハ口座ヲ分ツベシ
六　番號ハ各臺帳ノ番號ヲ記載スベシ
七　數稅目ヲ一通ノ督促狀ニ記載シテ督促シタル場合ニ於テハ「稅目納期」欄以下二欄ニ其ノ稅目ニ對スル分ヲ列記スベシ
八　督促手數料延滯金及滯納處分費ノ「領收月日印」欄ノ印ハ收入役印トス但シ第三十七號樣式ノ收入役領收印ヲ使用スルトキハ「何月何日」ノ文字記載ヲ要セズ
九　延滯金ヲ免ジタルトキハ其ノ要旨ヲ「顛末」欄ニ記載スベシ
十　町(村)稅以外ノ收入ノ部ニシテ小學校授業料、水道料ノ如ク納期アルモノハ「種目」欄ニ町(村)稅ノ例ニ準ジ納期ヲモ記載スベシ

〔樺法〕

第十六號樣式　　借入金臺帳

借入金臺帳

何郡何町(村)役場

許可（認可）指令番號	許可（認可）年月日	昭和何年何月何日 何第何號
借入目的		何事業（何々）
借入金額		何程（何々ノ爲何程 何々ノ爲何程）
借入方法		銀行ヨリ借入（個人ヨリ借入） （銀行ヨリ何程借入 個人ヨリ何程借入）
借入豫定期		昭和何年度（昭和何年何月何日） 昭和何年度何程 昭和何年度何程
利率	据置期間	年何程（月何程）
	償還期間	年何程（月何程）

償還期間	自昭和何年度 至昭和何年度	何年間
償還期月		每年度何月、何月ノ二回 （昭和何年何月 昭和何年何月 昭和何年何月）
償還年限		均等額何程 （昭和何年度何程 昭和何年度何程） 自昭和何年度 至昭和何年度 何年度何程宛 自昭和何年度 至昭和何年度 每年度何程宛
備考		

【棒法】

年度	元金	利子	計
昭和何年度	圓	圓	圓
昭和何年度			
昭和何年度			
昭和何年度			
昭和何年度			
昭和何年度			
昭和何年度			
昭和何年度			
昭和何年度			
昭和何年度			

償還年次表

昭和何年度	昭和何年度	昭和何年度	昭和何年度	昭和何年度	合計

【棒法】

借入金額	借入年月日	借入先	利率	償還期限	備考
圓	昭和何年何月何日	何地何銀行（何某）	年何程（月何程）	昭和何年何月何日限	

借入實行

借入先	元金償還年月日	元金償還額	利子支拂年月日	利子計算期間	利率	利子支拂額	備考
		償還					
何地何銀行（何某）	昭和何年何月何日	圓	昭和何年何月何日	自昭和何年何月何日至昭和何年何月何日一箇年（何々）	年何程（月何程）	圓	
何地何銀行（何某）	昭和何年何月何日	圓	昭和何年何月何日	自昭和何年何月何日至昭和何年何月何日一箇年（何々）	年何程（月何程）	圓	
		實行					

備考

一　本帳簿ハ連年度繼續使用スベシ

二　借入ノ目的二種類以上ニ渉リ其ノ種類毎ニ借入額ヲ區分セズシテ許可（認可）ヲ受ケタルモノニ在リテハ種類別ノ支出額ニ對スル按分比例ニ依リ種類別ノ借入額ヲ算出シテ之ヲ許可（認可）要領ノ「借入金額」欄ニ記載スベシ

三　町（村）稅以外ノ收入ヲ以テ償還ノ財源ニ充ツルモノニ在リテハ許可（認可）要領ノ「備考」欄ニ其ノ科目及各年度ノ金額ヲ記載スベシ

四　元金ノ償還ヲ据置ク場合ハ償還年次表ノ「元金」欄ニ据置ト記載スベシ

五　償還年次表ノ初年度ノ利子計算期間一年未滿ナルトキハ許可（認可）要領ノ「備考」欄ニ其ノ期間ヲ記載スベシ

〔樺法〕

六　年度內ノ收入ヲ以テ償還スベキ一時ノ借入金ハ本帳簿ニ記載スルノ限ニ在ラズ

前項ノ借入金ニ付特ニ帳簿ヲ設クル必要アルトキハ第十七號樣式ノ運用金臺帳ヲ參酌シ適宜ノ式ニ依ルベシ

第十七號樣式　運用金臺帳

一

運用金臺帳

何郡何町（村）役場

〔樺法〕

許可（認可）年月日指令番號	昭和何年何月何日何第何號
運用目的	役場新築（何々）
運用許可（認可）金額	何程（何々ノ爲何程何々ノ爲何程）
運用金種別	一般基本財產（何々）
利率	据置期間　年何程（月何程） 戻入期間　年何程（月何程）
運用實行額及其ノ年月日	何程　昭和何年何月何日 何程　昭和何年何月何日

戻入豫定	年度	元利	利子	計
	昭和何年度	圓	圓	圓
	昭和何年度	〃	〃	〃
	昭和何年度	〃	〃	〃
	昭和何年度	〃	〃	〃
	昭和何年度	〃	〃	〃
	昭和何年度	〃	〃	〃
	昭和何年度	〃	〃	〃
	昭和何年度	〃	〃	〃
	昭和何年度	〃	〃	〃
	昭和何年度	〃	〃	〃

備考　毎年何月、何月ノ二回戻入、利子同時支拂（何々）

戻入實行

元金戻入額	戻入年月日	利子支拂額	利子支拂年月日	利率	利子計算期間	備考
、、、圓、、、	昭和何年何月何日	、、、圓、、、	昭和何年何月何日	年何程（月何程）	自昭和何年何月何日 至昭和何年何月何日 一箇年（何々）	
、、、、、、	昭和何年何月何日	、、、、、、	昭和何年何月何日	年何程（月何程）	自昭和何年何月何日 至昭和何年何月何日 一箇年（何々）	

備考

一 本帳簿ハ連年度繼續使用スベシ

二 元金戻入ヲ据置ク場合ハ戻入豫定ノ「元金」欄ニ据置ト記載スベシ

〔樺法〕

第十八號様式 基本財産臺帳

〔樺法〕

基本財産臺帳

何郡何町（村）役場

土地ノ部

所在地	地番號	地目	坪數	地價	購入代價	所有權取得年月日及事由	所有權消滅年月日及事由	備考
何郡何町（村）大字何字何	番號	牧場	、、、坪	圓	、、、圓、、、	何部落ノ共有地ナリシカ大正何年何月何日大正十年法律第四十七號適用ノ際本町（村）有財産トナル		
何郡何町（村）大字何字何	何番	市街宅地	、、、	、、、、、、		昭和何年何月何日何某ヨリ寄附		
昭和何年何月何日現在合計	二筆		、、、					
何郡何町（村）大字何字何	何番	農耕地	、、、			昭和何年何月何日何某ヨリ買入	昭和何年何月何日何某ヘ何程ニテ賣却	
昭和何年何月何日現在合計	三筆		、、、					
昭和何年何月何日現在合計	二筆		、、、					

建物ノ部

所在地	種類	建坪	建築費又ハ購入代價	所有權取得年月日及事由	所有權消滅年月日及事由	備考
何郡何町(村)大字何字何何番	木造平家建柾葺	、、坪	圓	昭和何年何月何日何某ヨリ寄附	昭和何年何月何日何某ヘ讓與	
何郡何町(村)大字何字何何番	石造二階建亞鉛板葺	、、	、、、	昭和何年何月何日何某ヨリ買入		
昭和何年何月何日現在合計	二棟	、、				
昭和何年何月何日現在合計	一棟	、、				

有價證券ノ部

種類	證券記號番號	額面額	購入代價	所有權取得年月日及事由	所有權消滅年月日及事由	備考
何分利國庫債券	何第何號	、、、圓、、	圓	昭和何年何月何日何某ヨリ寄附	昭和何年何月何日何某ヘ何程ニテ賣却	
第何回勸業債券	何第何號	、、、、、	、、、、、	昭和何年何月何日何某ヨリ買入		郵便局保管預通帳記號番號何第何號
何債券	何第何號	、、、、、		何々		
昭和何年何月何日現在合計	三枚	、、、、、				
昭和何年何月何日現在合計	二枚	、、、、、				

〔樺法〕

穀物ノ部

種類	數量	購入代價	收藏場所	所有權取得年月日及事由	所有權消滅年月日及事由	備考
米	何石	、、、圓、、	何々	昭和何年何月何日何某ヨリ買入	昭和何年何月何日何某ヘ何程ニテ賣却	
麥	何石		何々	昭和何年何月何日何某ヨリ寄附		
合計	米何石 麥何石					
何々	何程		何々	昭和何年何月何日何某ヨリ何程ニテ買入	昭和何年何月何日何某ヘ何程ニテ賣却	
昭和何年何月何日現在合計	米何石 麥何石 何々何程					
昭和何年何月何日現在合計	麥何石					

〔樺法〕

金員ノ部

年月日	金額	事由	備考
昭和何年何月何日	五〇〇圓〇〇	昭和何年度歳入出決算殘金ノ内編入	
同日	五〇〇〇〇	何某ヨリ寄附	
計	五五〇〇〇		
昭和何年何月何日	二〇〇〇	何賣却代	
通計	五七〇〇〇		
△昭和何年何月何日	△一〇二〇〇	△國庫債券買入	
△同日	一〇〇	△右買入手數料	
改通計	四六七〇〇		

備考

一　本帳簿ハ每年度繼續使用スベシ

二　一般基本財產ト特別基本財產トハ別册ニシ倘特別基本財產ニ在リテハ目的每ニ別册トスベシ

三　本様式ニ示セル部門以外ノ財產ハ適宜ノ式ニ依リ之ヲ記載スベシ
四　各部門每ニ口座ヲ分ツベシ
五　土地ノ筆數多キモノハ地目每ニ口座ヲ分ツコトヲ得
六　土地ト立木トヲ竝有スルモノハ土地ノ價格ニ立木ノ價格ヲ含マシムベシ即チ立木ハ地上權ノ設定等ニ依リ立木ニ對スル權利ヲ目的トスル場合ニノミ立木ノ部門ヲ設ケテ記載スベキモノトス
七　建物ノ「建坪」欄ニハ二階以上ノモノヲモ合算スベシ
八　金員ノ部ハ財產添加ノ爲ニスル出納ノミヲ記載スルモノニシテ事業執行ニ係ル出納ハ別ニ歲入簿、歲出簿ヲ以テ整理スルモノトス
九　ヘ印ヲ付セル文字ハ朱書スベシ
十　土地、建物ヲ貸付セル場合ハ前記ノ外別ニ左ノ樣式ニ依リ記載スベシ

土地貸付ノ部

貸付先	大字何何某

貸付土地

所在地	地番	地目	坪數	貸付年月日	貸付期限	貸付料	貸付料納付期限	回收年月日	備考
何郡何町(村)大字何字何	何番	何	何坪	昭和何年何月何日	昭和何年何月何日限	年額(月額)何程	毎年度末日限(何々)		
何郡何町(村)大字何字何	何番	何	何坪	昭和何年何月何日	昭和何年何月何日限				無賃貸付
合計	二筆		何坪						

建物貸付ノ部

貸付先	大字何何某

〔樺法〕

貸付建物

所在地	種類	建坪	貸付年月日	貸付期限	貸付料	貸付料納付期限	回收年月日	備考
何郡何町(村)大字何字何何番地	何々	何坪	昭和何年何月何日	昭和何年何月何日限	月額(年額)何程	毎月末日限(何々)	昭和何年何月何日	

〔樺法〕

貸付先ノ異ル每ニ記載スベシ

十一　有價證券ノ內株券ニシテ額面額全部ノ拂込ヲ了ラサルモノニ就テハ前記ノ外別ニ左ノ樣式ニ依リ記載スベシ

株券拂込ノ部

株券ノ種類記號番號及額面額	何會社株券第何號額面何程（何會社株券何第何號、何第何號、何第何號、何第何號、何第何號額面一枚何程宛合計五枚分何程）		
拂込年月日	拂込額	拂込濟額	未拂込額
	圓	圓二五〇〇	圓七五〇〇
昭和何年何月何日	二五〇〇	五〇〇〇	五〇〇〇
昭和何年何月何日	二五〇〇	七五〇〇	二五〇〇

同種類（同一會社ノ株券ニシテ額面額、未拂込額、拂込期日及其ノ拂込額各同一ノモノ）ノ株券每ニ記載スベシ

十二　穀物等ヲ貸付セル場合ハ前記ノ外別ニ左ノ樣式ニ依リ記載スベシ

穀物(何々)貸付ノ部

貸付物	米（何々）	貸付先	大字何何某（何某何某）

貸付又ハ回收年月日	貸付高	回收高	貸付期限	保證人又ハ擔保物件	摘要
昭和何年何月何日	五十石（何程）		昭和何年何月何日迄	保證人大字何何某大字何何某（擔保物件何々何程）	利子年(月)何程元高ト共ニ納付ノ約但シ時價ニ依リ金錢ニテ換算ノコト（無利子貸付）（何々）

昭和何年何月何日		二十石（何程）			自昭和何年何月何日至昭和何年何月何日何箇月二十石（何程）ニ對スル年（月）何程ノ利子何石（何程）ノ代金何程及自昭和何年何月何日至昭和何年何月何日何箇月三十石（何程）ニ對スル年（月）何程ノ利子何石（何程）ノ代金何程計金何程昭和何年何月何日收入（何々）
昭和何年何月何日		三十石（何程）			

貸付先ノ異ル毎ニ記載スベシ

十三　金員ヲ銀行預金、郵便貯金其ノ他貸付セル場合又ハ一般會計ニ運用セル場合ハ前記ノ外別ニ左ノ樣式ニ依リ記載スベシ

金員預入ノ部

預入先	何郡何町（村）大字何 何銀行（何銀行支店）（何郵便局）	通帳記號番號	第何號（何第何號）

年月日	摘要	預入額	引出額	預入現在額
昭和何年何月何日		三九〇圓〇〇	圓	三九〇圓〇〇
昭和何年何月何日		一〇〇〇〇		四九〇〇〇
昭和何年何月何日			五〇〇〇	四四〇〇〇

金員貸付ノ部（一般會計ヘ運用ノ部）

貸付先	何郡何町（村）

〔樺法〕

貸付又ハ回收年月日	貸付運用金額	回收金額	貸付期限	保證人又ハ擔保物件	摘要
昭和何年何月何日	二、〇〇〇圓〇〇		昭和何年何月何日限	保證人何郡何町（村）大字何何某（擔保物件何々何程）	利子年（月）何程毎年何月納付ノ約（何々）
昭和何年何月何日		二、〇〇〇圓〇〇			自昭和何年何月何日至昭和何年何月何日一箇年（何日分）ノ利子何程昭和何年何月何日收入（何々）
昭和何年何月何日	一、〇〇〇〇〇		昭和何年何月何日限	ナシ	利子年（月）何程元金ト共ニ納付ノ約（何々）

〔樺法〕

銀行ニ定期預金トセル場合ハ貸付ノ例ニ準ジ記載スベシ

預入ノ部ハ預入通帳ノ異ル毎ニ貸付ノ部ハ貸付先ノ異ル毎ニ一般會計運用ノ部ハ一口毎ニ記載スベシ

第十九號樣式

備品臺帳

備品臺帳

何郡何町（村）役場

役場（何學校）（何々）ノ部圖書（器具、機械）

番號	品名	數量	價格	編入年月日及事由	除却年月日及事由	備考
一	何々	何程	、、、圓、、	昭和何年何月何日購入	昭和何年何月何日賣却（何々）	
二	何々	何程	、、、、、	昭和何年何月何日何某ヨリ寄附		

備考

備考
一　本帳簿ハ進年度繰越使用スベシ

入受物附寄		諾寄	採附寄	附寄者
金何程（何々何程）	員數	寄附目的	寄附物	何郡何町（村）大字何何某
昭和何年何月何日	受入年月日	小學校新築費ノ方ニ（何々ノ方ニ）	金何程（何々何程）	
金何程（何々何程）	員數	納付期限		
昭和何年何月何日	受入年月日	昭和何年何月何日限		

寄附受納書帳

何郡何町（村）役場

第二十號樣式　寄附受納書帳

一　寄附者ニ交附スル受納書ハ本帳ヲ調製シ之ニ割印ヲ施シテ交附スベシ
二　寄附者一人ニ付數回ノ寄附ヲ受ケタルトキハ其ノ都度寄附ノ年月日及寄附ノ金額又ハ物品ノ種類數量ヲ記載シ寄附者ニ交附スベシ
三　寄附者ニ交附スル受納書ハ本帳ヲ調製シ之ニ割印ヲ施シテ交附スベシ
四　寄附者一人ニ付數回ノ寄附ヲ受ケタルトキハ其ノ都度寄附ノ年月日及寄附ノ金額又ハ物品ノ種類數量ヲ記載シ寄附者ニ交附スベシ

使用	長町（村）	月支拂日	額旅費	件	長町（村）	印鑑出張名員	備考	地出張	
	日年命月令	何月何日（何月何日精算濟）	何程（概算精算後何程）	何々ノ件	日年命月令	何々（職名ヲ記載スルコト）		何地	月出發日
					昭和何年何月何日	何某㊞		何月何日	月歸著日
								數日	何日

出張命令簿

何郡何町（村）役場

第二十一號樣式　出張命令簿

一　本帳簿ハ進年度繰越使用スベシ
二　寄附者一人ニ付數回ノ寄附ヲ受ケタルトキハ其ノ都度寄附ノ年月日及寄附ノ金額又ハ物品ノ種類數量ヲ記載スベシ
三　寄附者ニ交附スル受納書ハ本帳ヲ調製シ之ニ割印ヲ施シテ交附スベシ
四　寄附者一人ニ付數回ノ寄附ヲ受ケタルトキハ其ノ都度寄附ノ年月日及寄附ノ金額又ハ物品ノ種類數量ヲ記載スベシ

第二十二號様式　郵便切手受拂簿

備考
一　本帳簿ハ毎年度改調スベシ
二　追加命令又ハ命令取消ノ場合ハ「備考」欄ニ其ノ要旨ヲ記載シ町（村）長捺印スベシ
三　歳計ノ經常、臨時ノ各部ニ分チ其ノ内更ニ歳費ノ支出科目ニ從ヒ口座ヲ分ツベシ

月日支拂濟		額面價	
備考			

昭和何年度

郵便切手受拂簿

何郡何町（村）役場

經常（臨時）部役場費（何々ノ部）

年	月	日	發送先	摘要	受	拂	殘
				前年度ヨリ越高	圓 一一〇〇	圓	圓 一一〇〇
四	四	一	何町長	何々ノ件封書		〇三〇	一一七〇
四	十	二	何村役場	何々ノ件端書		〇一五	一一五五
四	月	何日					

（繰越）

第二十二號様式　郵便切手受拂簿

備考
一　本帳簿ハ毎年度改調スベシ
二　歳計ハ經常、臨時ノ各部ニ分チ其ノ内役場費、小學校費等ノ別ニ從ヒ口座ヲ分ツベシ

昭和何年度

消耗品受拂簿

何郡何町（村）役場

經常（臨時）部役場費（何々）ノ部　八寸全紙紙（何々）

年	月	日	摘要	受	拂	現在
			前年度ヨリ越高	一、〇〇〇枚	枚	一、〇〇〇枚

（繰越）

月								
四	四	一	何	町長	何々ノ件封書		〇三〇	一一七〇
四	十	二	何村役場		何々ノ件端書		〇一五	一一五五
四	月	何日						
五	月	三	何	支廳	何々ノ件書留	一	〇四五	一 一五五
五	月	十	一	日				
五	月	二	何郡何町村	某	何々ノ件電信	一 〇〇〇	五〇〇	一 五二五
五	月	十	三	日				
五	月	十	五	日	何	支廳	何々ノ件書留	一 〇〇〇	一三〇	一 〇二五
五	月							
通			計			二 二〇〇	六七五	一 五二五
			計			一 〇〇〇	六三〇	五二五

第二十四號樣式　物品購入決裁簿

昭和何年四月十日	何會記錄		二五〇	七五〇
四月二十五日	何町(村)長決		一〇〇	六五〇
月計		一、〇〇〇	三五〇	六五〇
五月一日	何會記錄		一〇〇	五五〇
五月七日	何會記錄補決		三〇〇	二五〇
五月十日	購入	一、五〇〇		一、七五〇
五月十八日	何會記錄		二〇〇	一、五五〇
月計		一、五〇〇	六〇〇	
通計		二、五〇〇	九五〇	一、五五〇

備考
一　本帳簿ハ毎年度改調スベシ
二　歳算ノ經常、臨時ノ各部ニ分チ其ノ內役場費、小學校費等ノ別ニ從ヒ口座ヲ分チ且品目毎ニ區別スベシ

（裝訂）

第二十五號樣式　賄夫差立決裁簿

經常（臨時）部役場費（何々）ノ部

町(村)長	合議	主任	年決月日裁	差立先	用務	差立月日	單價	金額	賄夫	賃錢支拂	備考
㊞	㊞	㊞	何昭和月何日年	(何郡何町(村)々々)	何々	何月何日	圓、、	圓、、	大字何某	何月何日	

昭和何年度

賄夫差立決裁簿

何郡何町(村)役場

（裝訂）

備考
一　本帳簿ハ毎年度改調スベシ
二　歳算ハ経常、臨時ノ各部ニ分チ其ノ内役場費、小学校費等ノ別ニ従ヒ口座ヲ分ツベシ
三　一年度又ハ一月ノ賃金何程ノ如ク豫メ契約ノ上使用スル使丁ノ如キハ本帳簿ニ記載ヲ要セズ

第二十六號様式　區域外電話使用決裁簿

昭和何年度

區域外電話使用決裁簿

何郡何町（村）役場

経常（臨時）部役場費（何々）ノ部

町（村）長	合議	主任	年決月日裁	通話先	用柄	通話月日	通話數	料金 単價	料金 金員	通話者	料金支拂月日	備考
㊞	㊞	㊞	何昭和月何日年	何々	何々	何月何日	（何）	圓　、、	圓　、、	㊞	何月何日	

備考
一　本帳簿ハ毎年度改調スベシ
二　歳算ハ経常、臨時ノ各部ニ分チ其ノ内役場費、小学校費等ノ別ニ従ヒ口座ヲ分ツベシ

第二十七號様式　人夫雇傭決裁簿

昭和何年度

人夫雇傭決裁簿

何郡何町（村）役場

経常（臨時）部役場費（何々）ノ部

町（村）長	合議	主任	年決月日裁	用柄	雇傭日數	雇傭月日	賃銭 単價	賃銭 金員	人夫	賃銭支拂月日	備考
㊞	㊞	㊞	何昭和月何日年	何々	何日	至自何月何日何月何日	圓　、、	圓　、、	大字何某	何月何日	

備考
一　本帳簿ハ毎年度改調スベシ
二　歳算ハ経常、臨時ノ各部ニ分チ其ノ内役場費、小学校費等ノ別ニ従ヒ口座ヲ分ツベシ

第二十八號様式　歳入歳出外現金等出納簿

昭和何年度

歳入歳出外現金等出納簿

何郡何町（村）役場

第二十九號樣式　現金日計簿

命出令印納	㊞	㊞	㊞	命出令印納
何	何	何	何昭	年
月	月	月	月和	月
何	何	何	何何	日
日	日	日	日年	日
何某ヘ何工事入札保證金還付	何某ヨリ何工事契約保證金納入	何某ヨリ身元保證金納入	收入役何某ヨリ何工事入札保證金納入	摘要
	額面何千圓券小切手	利息廳費小切手	額面何千圓券小切手	受入高
國庫債券額面百圓券二枚	國庫債券額面百圓券二枚	國庫債券額面百圓券二枚		拂出高
銀行小切手	銀行小切手			差引高
國庫債券額面百圓券二枚				保管高

備考

一　本帳簿ハ洪年度繼續使用スベシ

二　本帳簿ニ依リ整理スルモノ橫ネ左ノ如シ

町(村)經濟ニ關スル入札又ハ契約ノ保證金

吏員ノ身元保證金

罹災者救恤等ニ係ル依託金

三　現金ノ部ト現金以外ノ部トハ口座ヲ分ツベシ

四　「出納命令印」欄ノ印ハ町(村)長印トスベシ

現金以外ノ部

命出令印納	㊞	㊞	㊞	命出令印納
何昭	何昭	何昭	何昭	年
月和	月和	月和	月和	月
何何	何何	何何	何何	日
日年	日年	日年	日年	日
何某ヘ何工事入札保證金還付	何某ヨリ何工事ノ請負契約保證金納入	何某ヨリ何工事入札保證金納入	何某ヨリ何工事契約保證金納入	摘要
三五〇	三五〇			受入高
四五〇	一〇〇	四		拂出高
四五〇	一〇〇			差引保管高

現金日計簿

昭和何年度

何郡何町(村)役場

年 月 日	印町(村)長	摘要	越額	受入額	拂出額	現在額	收入役印
何昭和 何何年		昭和歲出何年度出納簿	二五圓二六	三九五圓七八	三八三圓三七	三七圓六七	
同 同 日		昭和歲入何年度出納簿	一二三八	五〇一九	四一三八	二〇九九	
同 同 日		昭和基本財產何年度歲出簿	五五〇	三〇		五八〇	
同 同 日		昭和基本財產何年度歲入簿	三二〇		三三	二八七	
同 同 日		昭和何年度繼立金歲出簿	八五〇			八五〇	
同 同 日		歲入歲出外現金等出納簿	一五〇〇		一〇〇	五〇〇	
同 同 日		昭和國庫補助何年度收集計簿	五二〇六五	八二九一〇	一、二〇〇	一四九七五	
同 同 日		昭和何年度々簿	三八〇			三八〇	
計	㊞		七二九二九	一、二七五三七	一、七二五二八	二七九三八	㊞
何月何日		受拂ナシ	二七九三八			二七九三八	
計	㊞		二七九三八			二七九三八	㊞

計			同	同	同	同	同	何
			目	目	目	目	目	月
		㊞						何
			昭和何何年度 〃　繰越金計簿	昭和何何年度 歳入歳出外現金等出納簿	昭和何何年度 歳計剰余金歳出簿	昭和何何年度 基本財産歳出簿	昭和何何年度 基本財産歳出簿	昭和何年度 歳出簿
二七九	三八		一四九	五〇	八	二	二	三七
三八	三八〇		七五	〇	五〇	八七	八〇	六七
三九一	五〇		二六一	一〇	一〇			一一〇
五〇			五〇	〇	〇			〇
五一一			四一一	一〇〇				一〇〇
二五			二五					〇
一九五	三八〇		五〇	一八	二	五	二	五七
六三		㊞	〇	五〇	八七	八〇	九九	六七

備考

一　本帳簿ハ毎年度改調スベシ

二　本帳簿ハ町（村）ノ一般會計及特別會計ノ歳入出ハ勿論歳入、歳出外ノ現金出納、國庫帑収入役ニ於テ取扱フ一切ノ現金ニ就キ記載スルモノトス

三　「摘要」欄ニ示セル帳簿ノ所屬年度此ノ現金日計簿ノ所屬年度ト同ジキ場合ハ年度ノ記載ヲ省クコトヲ得

四　登載帳簿ノナキ現金ニ在リテハ「摘要」欄ニ何ノ現金ナルカヲ記載スベシ

第三十號樣式　徵稅令書

徵	第　何　號		
昭和何年度町（村）稅	人	納	大字何 何 某

書令稅		
右昭和何年度何月何日限リ當額何町（村）收入役ニ納付スベシ	一金　何程	第何期何稅（何稅）國稅（何稅）附加稅
	何町（村）長　何某	

〔縮法〕

第三十一號樣式　賦課令書

一通ノ令書ニ數稅ノ分ヲ列記セル場合ハ日計表ニモ之ヲ列記シ且金額、令書枚數ノ合計ヲ記載スベシ

昭和何年度	第何期	稅目	金額	令書枚數
		何稅（何々）	圓 、、、	、、、
			、、、	

昭和何年何月何日領收

日計表

二　一通ノ令書ニ列記スルヲ妨ゲズ

三　「營業稅」「鑛區稅」「電柱稅」等ノ如ク記載スベシ但シ前項ノ例ニ依リ雜種稅等ノ如シ）各個ノ令書ニ記載スベシ此ノ場合ハ稅目等ヲ列記スベシ

四　稅額ノ合計ヲ記載シ何番號ヲ「何稅（何々）第何何號」ノ如ク

六　納期日ノ同一ナル各稅ハ一通ノ令書ニ之ヲ列記スルコトヲ得此

何年何月何日領收」ノ文字亦同シ

「昭和何年何月何日」ノ文字記載ヲ要セズ「徵稅令書」ノ部ノ「昭和

第三十七號樣式ノ收入役領收印ヲ使用スルトキハ「領收證」ノ部

名ノ上方「昭和何年何月何日」ノ文字記載ヲ要セズ

五　第三十六號樣式ノ町（村）長稅付印ヲ使用スルトキハ町（村）長氏

四　「徵稅令書」ノ部「昭和何年何月何日領收㊞」ノ㊞ハ收入役印トス

三　「番號」ハ賦課徵收臺帳ノ番號ヲ記載スベシ

二　中央ノ點線ハ切取線ヲ示スモノナリ

一　用紙ハ縱五寸五分橫八寸ノモノヲ用ヰルベシ

證	收	領	第　何　號		
昭和何年何月何日	右領收候也	一金　何程	人	納	何 某
何町（村）收入役　何某殿		第何期何稅（何稅）國稅何稅附加稅）			

收入
役印

備考

一　用紙ハ縱五寸五分橫八寸ノモノヲ用ヰルベシ

二　中央ノ點線ハ切取線ヲ示スモノナリ

三　「番號」ハ賦課徵收臺帳ノ番號ヲ記載スベシ

四　「徵稅令書」ノ部「昭和何年何月何日領收㊞」ノ㊞ハ收入役印トス

五　第三十六號樣式ノ町（村）長稅付印ヲ使用スルトキハ町（村）長氏名ノ上方「昭和何年何月何日」ノ文字記載ヲ要セズ

第三十七號樣式ノ收入役領收印ヲ使用スルトキハ「領收證」ノ部「昭和何年何月何日領收」ノ文字記載ヲ要セズ「徵稅令書」ノ部ノ「昭和何年何月何日領收」ノ文字亦同シ

六　納期日ノ同一ナル各稅ハ一通ノ令書ニ之ヲ列記スルコトヲ得此

賦課令書

第何號
納人　大字何　何某
昭和何年度
夫役（現品）　何工事（何々）
一人夫何人
（一空俵何枚）（何々何程）
此ノ代納金何程

使役（收納）	昭和何年何月何日何人（何程）㊞
	昭和何年何月何日何人（何程）㊞
期日	昭和何年何月何日何人（何程）㊞

右ノ通當日（昭和何年何月何日）午前（後）何時何十分此ノ告知書相添ヘ何々（場所ヲ記載スルコト）ニ於テ差出スベシ、若代納金ヲ以テ代ヘタキ者ハ何日前迄（前日迄）ニ當町（村）收入役ニ納付スベシ
昭和何年何月何日
何町（村）長　何某㊞

收入役印

領收證

第何號
納人　何某
昭和何年度
夫役（現品）　何工事（何々）
一人夫何人
（一空俵何枚）（何々何程）
右使役（收納）相濟候也
昭和何年何月何日
何町（村）收入役　何某㊞

備考

一　第三十號様式ノ備考一乃至五及八ハ本様式ニ之ヲ準用ス但シ夫役現品ノ日計表ノ様式ハ此ノ限ニ在ラズ

二　一工事等ノ夫役現品ヲ數回ニ亙リ賦課スルモノニアリテハ「何工事（何々）」トアル下ニ一畫ヲ設ケ「第何回」ノ如ク記載スベシ

人夫ヲ使役又ハ現品ヲ收納シタルトキハ係員ニ於テ「使役（收納）期日」欄ニ檢印シ之ヲ收入役ニ提出シ（期日數日ナルトキハ全期日過ギタル後收入役ニ提出スルコト）收入役ハ之ニ依リ領收證ヲ本人ニ交付スベシ

代納金ヲ以テ夫役ノ使役又ハ現品ノ收納ニ代ヘタルトキハ代納金ノ領收ニ當リ「賦課令書」ノ部及「領收證」ノ部ハ左ノ如ク記載スベシ

イ　「賦課令書ノ部」

人夫又ハ現品ノ全部ヲ代納金ニテ納付ノ場合ハ「此ノ代納金何程」トアル左傍ニ「昭和何年何月何日領收」ト記載シテ收入役認印シ又ハ「此ノ代納金何程」トアル下ニ第三十七號様式ノ收入役領收印ヲ押捺スベシ

一部ヲ代納シ一部ヲ人夫使役又ハ現品收納ノ場合ハ「此ノ代納金何程」トアル左傍ニ「內金何程昭和何年何月何日領收」ト記載シテ收入役認印シ又ハ「內金何程」ト記載シテ第三十七號様式ノ收入役領收印ヲ押捺スベシ

ロ　「領收證ノ部」

人夫又ハ現品ノ全部ヲ代納ノ場合ハ「一人夫何人（一空俵何枚）（何々何程）」トアル左傍ニ「此ノ代納金何程」ト記載シ「使役（收納）相濟」トアルヲ「領收」ト訂正スベシ尙此ノ場合第三十七號様式ノ收入役領收印ヲ使用スルトキハ「昭和何年何月何日」ノ文字記載ヲ要セズ一部ヲ代納シ一部ヲ人夫使役又ハ現品收納ノ場合ハ「一人夫何人（一空俵何枚）（何々何程）」トアル左傍ニ「內代納金何程」ト記載シ「使役（收納）相濟」ノ下ニ「並代納金領收」ノ文字ヲ加フベシ

三　急迫ノ場合ニ賦課スル夫役ニ在リテハ「賦課令書」ノ欄外ニ「急迫」ト朱書スベシ尙此ノ夫役ニ在リテハ「賦課令書」中「此ノ代金何程」及「若代納金ヲ以テ代ヘタキ者ハ何日前迄（前日迄）ニ當町（村）收入役ニ納付スベシ」トアルハ記載ヲ要セザルモノトス

四　夫役現品ノ日計表ハ左ノ如ク記載スベシ

日計表

昭和何年何月何日使役（收納）（代納金領收）（使役（收納）並代納金領收）

昭和何年度何工事（何々）（何工事）（何々）（第何回）夫役（現品）

	人夫數（現品數量）	代納金 圓	告知書枚數
使役（收納）	何人（何々何程）	、、、　、、	、、、
代納金	何人（何々何程）	、、、　、、	、、、
計	何人（何々何程）	、、、　、、	、、、

第三十一號ノ二様式　納額告知書

納額告知書

第何號
納人　大字何　何某
昭和何年度使用料（手數料）
一金何程　火葬場使用料何等ノ分（何々）（證明手數料何件分）
昭和何年何月何日領收㊞
右昭和何年何月何日限リ當町（村）收入役ニ納付スベシ
昭和何年何月何日
何町（村）長　何某㊞

收入役印

領收證

第何號
納人　何某
昭和何年度使用料（手數料）
一金　火葬場使用料何等ノ分（何々）（證明手數料何件分）
右領收候也
昭和何年何月何日
何町（村）收入役　何某㊞

一　小學校授業料又ハ其ノ他ノ使用料ニシテ毎月徴收スルモノニ限リ納額告知書ハ左ノ樣式ニ依ルコトヲ得

號何第	納額告知書									
（何々）小學校授業料又ハ其ノ他ノ使用料	人納	大字　何 何 某	月額金何程 （兒童何々）何某ニ對スル分	昭和何年何月何日	四月分	五月分	六月分	七月分	八月分	九月分
		何町（村）長　何　某印	右當月分ヲ其ノ月何日限リ當町（村）收入役ニ納付スベシ	領收㊞	昭和何年何月何日	昭和何年何月何日				
			昭和何年何月何日		十昭和何年月分	十一月分	十二月分	一昭和何年月分	二月分	三月分

收入印

用紙ヲ一枚ニシ相接續スルコトヲ得

二　用紙ハ縱五寸五分橫一尺一寸厚キモノタルベシ

三　「領收證」ノ部ハ全部ノ領收ヲ了シタル後之ヲ切離シテ交付スベシ

四　督促手數料ノ納額告知書ハ左ノ如ク第三十三號樣式ノ督促狀ト

督促（第三十三號樣式）										
一納金日期何日ノ經過ノ翌日ヨリ佐規金額百ニツキ何錢ノ割合ヲ以テ延滯金一金何程	昭和何年度	第何號	大字　何 何 某							
付手數料一金何程	人納									

收入印	書付納									
	昭和何年何月何日	昭和何年度	人納	大字何（何部何町（村）大字何） 何 某						
	右納付候也	一金　何程		反古何程拂下代（何々）						
	昭和何年何月何日									

第三十二號樣式　納付書

納額告知書ノ領收證										
納額告知書										

備考

一　第三十號樣式ノ備考一、二ハ本樣式ニ之ヲ準用ス

二　第三十七號樣式ノ收入役領收印ヲ使用スルトキハ「領收證」ノ部ノ「昭和何年何月何日」ノ文字記載ヲ要セズ

第三十三號樣式　督促狀

督促										
一納金日期何日ノ經過ノ翌日ヨリ佐規金額百ニツキ何錢ノ割合ヲ以テ延滯金一金何程 付手數料一金何程	昭和何年度	第何號	大字　何 何 某							
	人納									

領收證										
昭和何年度	人納	何　某								
右領收候也 昭和何年何月何日	一金　何程	反古何程拂下代（何々）								
何町（村）收入役　何　某印										

狀

右昭和何年何月何日限リ當町(村)收入役ニ納付スベシ指定期限迄ニ税金及督促手數料ヲ完納シタルトキハ延滯金ヲ徴收セズ指定期限ヲ過ギ完納セザルトキハ財產差押ノ處分ヲ爲スベシ

昭和何年何月何日

何町(村)長　何　某㊞

備考

一　番號ハ臺帳ノ番號ヲ記載スベシ

二　町(村)稅以外ノ町(村)收入ニ在リテハ延滯金ニ關スル事項記載ヲ要セズ

三　納付指定期限ノ同ジキ町(村)稅ハ之ヲ一通ノ督促狀ニ列記スルコトヲ得町(村)稅以外ノ町(村)收入ニシテ同一科目ニ屬スルモノ亦同ジ此ノ場合ノ番號ノ記載方ハ第三十號樣式ノ備考六ニ準ズベシ

四　急迫ノ場合ニ賦課シタル夫役ノ不履行ニ對スル金錢ノ納付命令書モ本樣式ニ準ズベシ

五　督促狀ヲ使丁ニ依リテ送達ヲ爲ストキハ左ノ樣式ノ送達書ニ受取人ノ署名捺印ヲ求ムベシ

送達書

一督促狀　第何號　一通

名宛人　大字何　何　某

送達シタル月日時場所	何月何日午前(後)何時何分　名宛人住所(何々)	
受取人署名捺印	何　某㊞	
受取人ナキトキ又ハ受取人受取若ハ署名捺印ヲ拒ミタルトキハ其ノ理由		

右ノ通取扱候也

昭和何年何月何日

使丁　何　某㊞

第三十四號樣式　請求書並領收證

第何號	
支出命令	㊞
昭和何年何月何日發付	
何町(村)	昭和何年度經常(臨時)部
第何款役場費(何々)	第何項需用費(何々)	第何目備品費(何々)

請求書

何郡何町(村)大字何　何　某㊞

一金　何　程

但シ左ノ物品代

品目	數量	單價	金員
何々	何程	何程	何程
何々	何程	何程	何程

右金圓領收候也

昭和何年何月何日

何町(村)收入役何某殿

右　何　某㊞

備考

一　本樣式ハ物品ノ例ヲ示シタルモノニシテ物品ニ非ザルモノニ在リテハ但書ヲ「但シ何料何々」等ノ如ク記載スベシ

二　欄外ノ番號ハ支出命令ノ番號ヲ記載スベシ

三　特別會計ニ在リテハ「何町(村)」トアルヲ其ノ特別會計ノ名稱例ヘバ基本財產ノ特別會計ナレバ「何町(村)基本財產」又ハ「何町(村)何基本財產」ノ如ク記載スベシ

第三十五號樣式　返納告知書

返納告知書

第何號	
納人	大字何(何々)　何　某
昭和何年度經常(臨時)部	
第何款何費	
第何項何々	
第何目何々	

一金　何　程　何月何日何精算(誤拂)(過渡)返納金

昭和何年何月何日領收㊞

右昭和何年何月何日限リ當町(村)收入役ニ納付スベシ

昭和何年何月何日

何町(村)長　何　某㊞

收入役印

領收證

第何號	
納人	何　某
昭和何年度	
經常(臨時)部	
第何款何費	
第何項何々	
第何目何々	

一金　何　程　何月何日精算(誤拂)(過渡)返納金

右領收候也

昭和何年何月何日

何町(村)收入役　何　某㊞

備考

一　第三十號樣式ノ備考一、二、四及五ハ本樣式ニ之ヲ準用ス

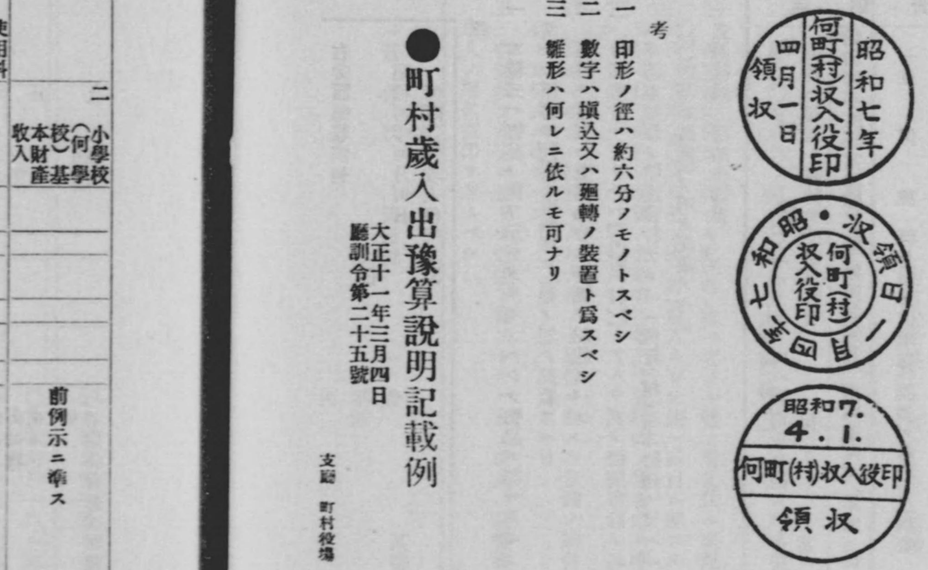
二　番號ハ支拂命令ノ番號ヲ記載スベシ

第三十六號樣式　町(村)長發付印

備考

一　印形ノ徑ハ約六分ノモノトスベシ
二　數字ハ塡込又ハ廻轉ノ裝置ト爲スベシ
三　雛形ハ何レニ依ルモ可ナリ

第三十七號樣式　收入役領收印



備考

一　印形ノ徑ハ約六分ノモノトスベシ
二　數字ハ塡込又ハ廻轉ノ裝置ト爲スベシ
三　雛形ハ何レニ依ルモ可ナリ

●町村歲入出豫算說明記載例

大正十一年三月四日
訓令第二十五號

支廳　町村役場

町村歲入出豫算說明ノ記載ハ左ノ例ニ據ルヘシ

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正何年度樺太何郡何町(村)歲入出豫算

歲入

豫算說明	豫算	豫算	豫算	豫算
科目	款	豫算額	前年度豫算額	增減	附記
	項	圓	圓	圓	
一　基本財產收入	一　財產ヨリ生スル收入				○貸地料何程（何地所在牧場（何々）何坪年額（月額）何程 ○貸家料何程（何地所在建物（何々）何棟月額（年額）何程 ○預金利子何程 郵便貯金何程利子 平均何分年何程利子 銀行預金何程利子 ○債券利子何程 何分利付何公債額面何程 ○木材賣却代何程 何分利付何債券 何地所在山林何々（木ノ種類ヲ記載スルコト）賣却代 ○何々

〔棒法〕

二　小學校（何學校）基本財產收入			○病院收入何程 入院料何程 診察料何程 手術料何程 ○公園使用料何程 ○火葬場使用料何程 ○墓地使用料何程 ○屠場使用料何程 ○水料何程 ○橫賃何程 ○渡船賃何程 小學校授業料何程 高等小學校兒童月額何程 尋常小學校兒童月額何程 幼稚園保育料 ○○○圖書閱覽料 ○○○何々
二　使用料及手數料			
一　使用料			
二　手數料			○○○證明手數料何程 ○○○屠畜手數料何程 ○○○督促手數料何程 ○○○何々
三　交付金			
一　國稅徵收交付金			○國稅徵收高何程ノ何分ノ何（何々）
二　何費徵收交付金			○何費徵收高何程ノ何分ノ何（何々）
四　納付金			
一　何納付金			○何々
五　報償金			
一　何報償金			○何々
六　國庫補助金			
一　水道費補助			○水道布設（何々）費補助何程 ○何々
二　下水道費補助			○下水道改修（何々）費補助何程 ○何々
七　寄附金			
一　小學校（何學校）建築費指定寄附			
二　道路修繕費指定寄附			
八　繰入金			
一　小學校（何學校）積立金繰入			○何費ヘ充當

〔棒法〕

二　基本財産繰入
　○何費（充當
三　何經濟繰入
　○何費（充當
九　財産費拂代
一　土地費拂代
　○何地所在農耕地（何々）何坪費拂代
二　物件費拂代
　○建物費拂代何地所在建物何棟費拂代何程
　○立木費拂代何地所在立木何々（立木ノ種類ヲ記載スルコト）何程費拂代
　○何々
十　繰越金
一　前年度繰越金
十一　雜收入
一　役場雜入
　○不用品賣拂代何程
　○反古賣拂代何程
　○收支殘金預入利子何程
　○屋蓋賣拂代何程
　○豫知スヘカラサル收入何程
　○何々
二　小學校
　○何費（充當
（何學校）雜入
　○製作品賣拂代何程
　○生産物賣拂代何程
　○校舍貸與料何程
　○何々
三　過年度戻入
　○何年度調定洩何々何程
四　繰替金戻入
　○行旅病人及行旅死亡人取扱費繰替金戻入何程
　○何年度繰替ニ係ル分何程
　○何年度繰替ニ係ル分何程
　○何年度繰替金戻入何程
　○何々
十二　借入金
一　借入金
　○何費（充當
十三　町村税
一　國税營業税附加税
　○本税何程一圓ニ付何程
二　國税所得税附加税
　○本税何程一圓ニ付何程
三　國税市街宅地税附加税
　○本税何程一圓ニ付何程

〔棒法〕

四　國税何税附加税
　○本税何程一圓ニ付何程
五　特別税戸別割
　○戸數何戸一戸ニ付平均何程
六　特別税建物割
　○建物何坪一坪ニ付平均何程
　○湯屋業税何程
　○收入金額何程此ノ何分ノ何程
　○代書業税何程
　○收入金額何程此ノ何分ノ何程
　○理髮業者何人一人ニ付何程
　○藝妓税何程
　○藝妓税何程
　○藝妓税何程
　○藝妓税何程
　○娼妓税何人一人ニ付何程
　○酌婦税何程
　○何人一人ニ付何程
　○劇場税何程
　○何（數ヲ記載スルコト）劇場一劇場ニ付何程
　○寄席税何程
　○何（數ヲ記載スルコト）寄席一寄席ニ付何程
　○遊技場税何程
　○何（數ヲ記載スルコト）遊技場一遊技場ニ付何程
　○電柱税何程
　○車税何程
　○自轉車何輛一輛ニ付何程
　○自動車何臺一臺ニ付何程
　○人力車何臺一臺ニ付何程
　○荷車何臺一臺ニ付何程
　○繭税何程
　○乘用馬何臺一臺ニ付何程
　○荷馬何臺一臺ニ付何程
　○乘用馬車何臺一臺ニ付何程
　○荷馬車何臺一臺ニ付何程
　○犬税何程
　○何頭一頭ニ付何程
　○船税何程
　○日本形船

〔棒法〕

七　特別稅雜種稅

○漁業稅何程
漁船
日本形船
長二間未滿船　何程
長二間以上二間未滿船　何程
長三間以上船　何程
西洋形船
捕鯨船　何程
機械及風帆船　何程
蒸汽船　何程
機械船　何程
風帆船　何程
艀船、小廻船及積石數十石未滿何程
積石數五十石以上何程
積石數五十石以上何石一石ニ付何程

漁具
鰯配繒　何統
鉢ニ付何程
鉢配繒ニ付何程
一箕建網ニ付何程
箇所ニ付何程
昆布何程
牧養ノ物分ノ價格ニ付何程

漁具
鰯配繒　何統
鉢ニ付何程
鉢配繒ニ付何程
一箕建網ニ付何程
箇所ニ付何程
昆布何程
牧養ノ物分ノ價格ニ付何程

雜網ニ付何統
氷下網ニ付何程
桁網ニ付何統
卷網ニ付何統
底網ニ付何統
打瀨網ニ付何程
手繰網ニ付何程
巾著網ニ付何程
揚繰網ニ付何程
大謀網ニ付何統
刺網ニ付何程
以外ノ網ニ付何程
流網練習漁業用ニ付何程
流網練習漁業用ニ付何程
流網練習漁業用ニ付何程

雜網ニ付何統
氷下網ニ付何程
桁網ニ付何統
卷網ニ付何統
底網ニ付何統
打瀨網ニ付何程
手繰網ニ付何程
巾著網ニ付何程
揚繰網ニ付何程
大謀網ニ付何統
刺網ニ付何程
以外ノ網ニ付何程
流網練習漁業用ニ付何程
流網練習漁業用ニ付何程
流網練習漁業用ニ付何程

歲出
經常部

歲入合計	款	項	豫算額	前年度豫算額	增減	附記
	十四　夫役現品					
		一　夫役代納金				○夫役何人但シ直接町（村）稅（直接國稅）何程ニ付何人此ノ代納金何程夫役單價何程
		二　現品代納金				○現品何々（現品名ヲ記載スルコト）何程但シ直接町（村）稅（直接國稅）何程ニ付何程此ノ代納金何程現品單價何程
	八　特別稅何々					○何稅何々
						○遊興稅何程消費金額一回平均何程ノモノ何回ニ付平均何程

豫算
豫算說明

科目	豫算額	前年度豫算額	增減	附記
一役場費	圓	圓	圓	

一　給料	○助役給料何程 ○收入役給料何程 ○書記及書記補給料何程 書記月俸平均何程 何人 書記補月俸平均何程 何人 ○何々
二　報酬	○町（村）長報酬何程 ○助役報酬年額（月額）何程 ○區長報酬年額（月額）何程 ○委員報酬何程 何委員報酬年額（月額）平均何程 何人

	○費用辨償何程 町（村）長費用辨償何程 助役費用辨償何程 區長費用辨償何程 委員費用辨償何程
	○旅費何程 吏員旅費何程 何々旅費何程
	○手當何程 非常驅付人夫手當何程
	○給仕給何程

	三雜給	○日給（月給）平均何程何人 ○小使給何程 日給（月給）平均何程何人 ○臨時雇給何程 日給平均何程延何人 ○傭人料何程 日給平均何程延何人 ○賞與何程 有給吏員勉勵賞與何程 ○退隱料何程賞與何程 ○退職給與金何程 ○遺族扶助料何程 ○死亡給與金何程 ○何々
四需用費		○備品費何程 器具機械新調費何程 器具機械修繕費何程 ○書籍入費何程 ○消耗品何程 用紙等代何程 筆墨油代何程 新炭油代何程 ○印刷費何程 ○通信運搬費何程 通信費何程 運搬費何程 ○宿舍料何程 有給吏員月額（年額）何程何人 ○何々

	二會議費	
	五修繕費	○常時修繕費
一費用辨償		○評議員年額（月額）平均何程何人
二雜給		前例示ニ準ス
三需用費		前例示ニ準ス
三土木費		
一道路橋梁費		○修繕費何程 何道路修繕費何程 何橋梁修繕費何程 ○掃除費何程 散水費何程 除雪費何程 ○何々

二治水堤防費		○修繕費何程 何堤防修繕費何程 何波防修繕費何程 ○何々
三惡用水路費		○修繕費何程 何用水修繕費何程 何惡水修繕費何程 何溝池修繕費何程 ○何々
四小學校（何學校）費	一雜給	前例示ニ準ス
	二需用費	前例示ニ準ス
	三修繕費	前例示ニ準ス
五幼稚園（何幼稚園）費	一給料	前例示ニ準ス
	二雜給	前例示ニ準ス
	三需用費	前例示ニ準ス
	四修繕費	前例示ニ準ス
六圖書館（何圖書館）費	一給料	前例示ニ準ス

	二雜給	前例示ニ準ス
	三需用費	前例示ニ準ス
	四修繕費	前例示ニ準ス
七傳染病豫防費	一給料	前例示ニ準ス
	二雜給	前例示ニ準ス
	三需用費	前例示ニ準ス但シ藥品費ハ特ニ消耗品費ト分離シテ掲載スヘシ
	四修繕費	前例示ニ準ス
八傳染病院（隔離病舍）費	一給料	前例示ニ準ス
	二雜給	前例示ニ準ス
	三需用費	前例示ニ準ス但シ藥品費ハ特ニ消耗品費ト分離シテ掲載スヘシ
	四諸費	○種痘費何程 ○トラホーム豫防費何程 ○集談會費何程 ○何々
九汚物掃除費	四修繕費	前例示ニ準ス

	一　雑給	前例示ニ準ス
	二　需用費	前例示ニ準ス
	三　設備費	○○醫院燒却場費何程 ○何々
十　病院（何病院）費		
	一　給料	前例示ニ準ス
	二　雑給	前例示ニ準ス
	三　需用費	前例示ニ準ス但シ藥品費ハ特ニ消耗品費ト分經シテ揭載スヘシ
	四　修繕費	前例示ニ準ス
十一　水道費		
	一　給料	前例示ニ準ス
	二　雑給	前例示ニ準ス
	三　需用費	前例示ニ準ス
	四　作業費	○給水費何程 ○何々
	五　諸費	○淨水費何程 ○水源林費何程 ○何々
	六　修繕費	前例示ニ準ス
十二　下水道費		

	一　雑給	前例示ニ準ス
	二　需用費	前例示ニ準ス
	三　修繕費	前例示ニ準ス
十三　屠場費		
	一　雑給	前例示ニ準ス
	二　需用費	前例示ニ準ス
	三　諸費	○設備費何程 ○何々
	四　修繕費	前例示ニ準ス
十四　公園（何公園）費		
	一　雑給	前例示ニ準ス
	二　需用費	前例示ニ準ス
	三　修繕費	前例示ニ準ス
十五　墓地費		
	一　雑給	前例示ニ準ス
	二　需用費	前例示ニ準ス
	三　修繕費	前例示ニ準ス

十六　火葬場費		
	一　雑給	前例示ニ準ス
	二　需用費	前例示ニ準ス ○出品奬勵費何程 ○裝飾費何程 ○何々
	三　諸費	前例示ニ準ス
	四　修繕費	前例示ニ準ス
十七　物産陳列所費		
	一　雑給	前例示ニ準ス
	二　需用費	前例示ニ準ス
	三　修繕費	前例示ニ準ス
十八　市場費		
	一　雑給	前例示ニ準ス
	二　需用費	前例示ニ準ス
	三　諸費	前例示ニ準ス
	四　修繕費	前例示ニ準ス
十九　勸業諸費		
	一　害鳥蟲驅除豫防費	○害鳥蟲驅除豫防費何程 ○害蟲驅除豫防費何程 ○何々
	四　修繕費	前例示ニ準ス
	三　諸費	前例示ニ準ス
	二　需用費	前例示ニ準ス
	一　雑給	前例示ニ準ス
	二　需用費	前例示ニ準ス ○出品奬勵費何程 ○裝飾費何程 ○何々
	四　修繕費	前例示ニ準ス
二十　救助費		
	一　棄兒救助費	○養育料何程 月額（日額）平均何程何人 ○何々
	二　貧困者救助費	○救助米費何程 月額（日額）平均何程何人 ○何々
	三　罹災救助費	○火災救助費何程 ○水災救助費何程 ○何々
二十一　養育院費		
	一　給料	前例示ニ準ス
	二　雑給	前例示ニ準ス
	三　需用費	前例示ニ準ス
	四　收容者諸費	○食料何程 月額（日額）平均何程何人 ○被服費何程 平均何程何人 ○浴場費何程 ○宿舍費何程 ○何々
	五　修繕費	前例示ニ準ス
二十二　營繕費		

一　雜給	前例示ニ準ス
二　需用費	前例示ニ準ス
三　修繕費	前例示ニ準ス
二十三　電氣事業費	
一　給料	前例示ニ準ス
二　雜給	前例示ニ準ス
三　需用費	前例示ニ準ス
二十四　瓦斯事業費	
一　給料	前例示ニ準ス
二　雜給	前例示ニ準ス
三　需用費	前例示ニ準ス
二十五　基本財産造成費	
一　基本財産造成	○蓄積金何程 （歲計剩餘金ノ全部（何分ノ何）何程 何々全部（何分ノ何）何程 基本財産收入何程 ○何々
二　小學校（何學校）基本財産造成	前例示ニ準ス
二十六　財產費	
一　管理費	○雜給何程 傭人料何々 ○雜費何程 登記料等何々
二　保險料	○火災保險料何程 役場廳舍保險料何程 何々
二十七　諸稅及賦擔	
一　諸稅	○町（村）有土地（建物）ニ對スル國稅（町村稅）何程 ○何々
二　賦擔	○町（村）有土地（建物）ニ對スル夫役現品代納金何程 夫役代納金何程 現品代納金何程 ○何々
二十八　神社費	
一　神饌幣帛料	○神饌幣帛料何程 何神社分 ○雜費何程

二十九　償發費	
一　物件輸送費	○物件輸送費何程 ○雜費何程
三十　雜收入	
一　過納處分費	
二　過年度支出	○大正何年度支拂剩金費何程
三　繰替金	○行旅病人及行旅死亡人取扱費何程 ○精神病者看護費何程 ○召集旅費何程 ○何々
四　表彰費	○篤行者表彰費何程 ○何々
五　午砲費	○何々
三十一　豫備費	
一　豫備費	
經常部計	
臨時部	

豫算豫算說明

科目	豫算額	前年度豫算額	增減	附記
款項				
一　役場費繕費	圓	圓	圓	

二　土木費	
一　道路橋梁費	○新開費何程 何地ヨリ何地ニ至ル道路新開何間一間平均何程 ○改修費何程 何地ヨリ何地ニ至ル道路改修何間一間平均何程 ○災害復舊費何程 何地ヨリ何地ニ至ル道路災害復舊何間一間平均何程 ○何々
二　修繕費	○何修繕費何程 何々何坪（何程）一坪（何程）平均何程
一　建築費	○新築費何程 本館平屋（二階）造建坪何坪一坪平均何程 附屬建物何坪一坪平均何程 周圍建柵何間一間平均何程 ○土地買入費何程 敷地何坪一坪平均何程 ○地盛費何程 敷地地盛何立坪何程一立坪平均何程 ○雜費何程 設計諸費何程 工事監督費何程 ○何々

	二　修繕費	前例ニ準ス
二　治水堤防費		
	一　建築費	○堤防新設費何程 何地ヨリ何地ニ至ル堤防新設何間一間平均何程 ○堤防災害復旧費何程 何堤防災害復旧一間平均何程 ○波除新設費何程 何地ヨリ何地ニ至ル波除新設何間一間平均何程 ○何々
	二　修繕費	前例ニ準ス
三　用悪水路費		
	一　建築費	○用悪水路新開費何程 何地ヨリ何地ニ至ル用水路新開何間一間平均何程 何地ヨリ何地ニ至ル用悪水路新開何間一間平均何程 ○溜池新設費何程 何溜池新設何坪一坪平均何程 ○何々
	二　修繕費	前例ニ準ス
三　小學校（何學校）營繕費		
	一　建築費	前例ニ準ス
	二　修繕費	前例ニ準ス
四　幼稚園（何幼稚園）營繕費		
	一　建築費	前例ニ準ス
	二　修繕費	前例ニ準ス
五　圖書館（何圖書館）營繕費		
	一　建築費	前例ニ準ス
	二　修繕費	前例ニ準ス
六　傳染病豫防費		
	一　給料	前例ニ準ス
	二　雜給	前例ニ準ス
	三　需用費	前例ニ準ス 但シ藥品費ハ特ニ消耗品ト分離シテ掲載スヘシ
七　傳染病院（隔離病舍）營繕費		
	一　建築費	前例ニ準ス
	二　修繕費	前例ニ準ス
八　病院（何病院）營繕費		
	一　建築費	前例ニ準ス

〔縷法〕

	二　修繕費	前例ニ準ス
九　水道費		
	一　布設費	○水源調査費何程 ○鐵管布設費何程 鐵管延長何間一間平均何程 ○何々何程 ○雜費何程
	二　修繕費	前例ニ準ス
十　物產陳列所營繕費		
	一　建築費	前例ニ準ス
	二　修繕費	前例ニ準ス
十一　勸業諸費		
	一　奬勵費	○何奬勵費何程 ○何々
	二　植林費	○何々
十二　警備費		
	一　建築費	前例ニ準ス
	二　修繕費	前例ニ準ス
十三　積立金穀		
	一　小學校（何學校）積立金	○何々（積立ノ目的ヲ記載スルコト）積立金
	二　幼稚園（何幼稚園）積立金	○何々（積立ノ目的ヲ記載スルコト）積立金
十四　借入金費		
	一　元金償還	○何年度借入ノ内
	二　利子	○何年度借入ノ利子 ○一時借入金何程ニ對スル利子何程利率年（何々）何程
	三　諸費	○何々
十五　訴訟費		
	一　訴訟費	○何々
十六　寄附金		
	一　土木費寄附	○何費支辨何地ヨリ何地ニ至ル迄道路新開（改修）（災害復旧）費寄附何程 ○何々
	二　何學校費寄附	○何學校建築（修繕）費寄附何程 ○何々
十七　補助費		

〔縷法〕

| | | |

項目	記載事項
一役場ノ印鑑	第一號樣式
二町村長、助役及收入役ノ印鑑	第二號樣式
三條例、規則及告示、告諭ノ發行	全文（但シ監督官廳ノ許可アリタルモノ（更正許可ヲ除ク）ハ許可年月日番號發行年月日番號及件名ノミトス）其ノ告示ニシテ町村會議員及町村吏員ノ當選、就職、辭職、失職、任命、死亡、町會ノ開閉、納稅督促及細納處分ニ關スル書類ノ公示送達、學校生徒ノ募集、消防演習、種痘及清潔法ノ施行、町村會ノ決定事項ニ關スルモノハ報告ヲ要セズ
四他ノ異變但シ輕易ナルモノヲ除ク	役場及學校ノ災害、叅雜其ノ事件ノ顚末
五區長及區長代理者ノ就職、死亡又ハ失職	第三號樣式
六委員ノ就職、辭職、死亡又ハ失職	第四號樣式
七二級町村ノ收入役ノ給料發令	職名、氏名、給料及發令年月日
八（以下單ニ令ト謂フ）第八十二條ノ吏員ノ任免、死亡其ノ他ノ異動	第五號樣式
九收入役代理吏員ノ死亡、退職其ノ他ノ異動	死亡又ハ退職ノ場合ハ其ノ年月日、職名、氏名、異動ノ場合ハ異動事項及其ノ年月日、職名、氏名
十町村長ノ爲シタル吏員ノ懲戒處分	被處分者ノ職名、氏名、懲戒年月日、懲戒ノ理由及其ノ方法
十ノ二町村會議員ノ當選	第一號樣式
十一町村會議員ノ選舉無效ノ確定及町村會議員ノ辭職、失職又ハ死亡	選舉無效ノ確定ニ付テハ其ノ顚末、町村會議員ノ辭職又ハ失職ノ場合ハ職名、氏名及其ノ理由、町村會ノ決定ニ付シタルモノハ決定書全文及其ノ顚末、死亡ノ場合ハ職名、氏名及死亡年月日
十二町村會ノ招集竝ニ會議ノ事件	召集ノ告知ヲ發シタル日竝ニ招集期日（會期ノ定メアルトキハ其ノ會期）及會議事件急施ヲ要スル事件ハ其ノ理由
十三町村會ノ議決（令第五十七條ニ依ル書面決議ヲ除ク）竝ニ決定事項及町村長、助役、收入役竝ニ其ノ他ノ吏員ノ選舉又ハ選定	議決事項ニ付テハ議案ノ全文ヲ揭ゲ修正シタルトキハ其ノ修正ノ點ヲ朱書シ否決シタルトキハ其ノ理由 決定事項ノ報告ニ付テハ決定書ノ全文竝ニ告示ヲ要スルモノニ在リテハ併セテ其ノ告示年月日選舉又ハ選定ニ付テハ關係會議錄抄本添付 監督官廳ノ許可ヲ受クベキモノ又ハ他ノ規定等ニ依リ報告ヲ要スベキモノニ付テハ議案又ハ決定書ノ添付ヲ要セズ 本報告ニハ孰モ町村會ノ開閉年月日
十四條ニ依リ書面決議ニ付シタル事件	決議ニ付シタル年月日、期限、決議事件、決議ノ概要、同意ヲナシタル議員數、輕易事件ト認メタル理由及否決シタルトキハ其ノ理由

項目	記載事項
十五町村會ノ議決ノ再議又ハ再選舉ヲ行ハシメタル事件	再議ニ付シ又ハ再選舉ヲ行ハシメタル事件及其ノ理由
十六スペキ事件ニ關シ町村長ニ於テ專決處分シタル事件	町村會ニ於テ議決又ハ決定處分ノ理由竝ニ要領及處分年月日
十七不動產ノ取得又ハ其ノ異動	基本財產積立金穀等外町村有財產臺帳樣式ニ準ズ
十八一時借入金ノ借入及償還	第六號樣式
十九三年度ヲ超エザル繼續費ノ設定又ハ變更	設定ノ場合ハ繼續年期及支出方法書竝ニ設定年月日、變更ノ場合ハ繼續年期及支出方法書ノ變更竝ニ變更年月日
二十ニ關シ又ハ財產若ハ營造物ノ使用ニ關シ過料ノ處分	住所、氏名、處分年月日、理由及過料額
二十一（町村會）ヲ含ム）ノ決定	事件ノ顚末、決定書寫
二十二助役又ハ區長ニ分掌セシメタル町村長ノ事務	分掌セシメタル年月日竝ニ分掌事務
二十二ノ二町村吏員ノ身元保證	町村吏員別ニ保證ノ種類、價格竝其ノ異動
二十三町村吏員ニ對スル損害賠償處分又ハ其ノ免除	事件ノ顚末竝ニ町村會決定書全文免除ノ場合ハ免除年月日、職名、氏名及理由
二十四令第百二十三條第三項ノ事務報告書及財產表	町村會ニ提出シタルモノ
二十五町村歲入出決算書	收入役ヨリ提出シタルモノ
二十五ノ二町村定期出納檢查及臨時出納檢查	檢查年月日、檢查ノ顚末及第六號ノ二、三、四樣式調書（臨時出納檢查ニハ檢查前日ニ於ケル各收支通計金額竝ニ收支差引額ヲ記載シ調書ノ添付ヲ要セズ）

町村長ガ訴願ヲ爲シタルトキ（支廳長ニ對スル訴願ヲ除ク）及支廳長ノ處分ニ對スル訴願ヲ除ク）

町村又ハ町村會若ハ町村長行政訴訟又ハ民事訴訟ノ原告又ハ被告トナリタルトキ

事件ノ顚末

町村長ヨリ棒太廳長官ニ報告スベキ事項

印報

項目	記載事項
一町村ノ名稱及役場位置變更ノ實行	變更事項及其ノ年月日
二一級町村長、助役、收入役ノ退職（退職申立ヲ含ム）、就職、死亡及其ノ他ノ異動竝ニ二級町村長ノ死亡	第十號樣式

年報

項目	報告期限	記載事項
一町村有財產表	翌年度四月三十日限	第七號樣式
二町村收入成績表	翌年度六月三十日限	第八號樣式
三町村會議員數及有權者數	翌年一月三十一日限	第九號樣式

二十六　二級町村ニ於テ令第五十七條ニ依リ書面決議ニ付シタル事件

二十八規定（條例及規則ヲ除ク）ノ設定又ハ改廢

二十七町村長行政訴訟又ハ民事訴訟ノ原告又ハ被告トナリタルトキ

發行年月日番號、規定文寫其ノ規定監督官廳ノ許可ヲ受ケタルモノニ在リテハ其ノ官廳名竝ニ許可年月日番號、件名ノミトス但シ更正許可ノ場合ヲ除ク

三	令第五十二條第三項ニ依ル町村會議長及其ノ代理者ノ當選	當選年月日、職名、氏名及任期
四	基本財産ノ設置又ハ其ノ異動	基本財産臺帳樣式ニ準ズ
五	積立金穀等ノ設置又ハ其ノ異動	積立金穀等臺帳樣式ニ準ズ
六	借入金（一時借入金ヲ除ク以下之ニ同ジ）ノ借入及償還	第十一號樣式
七	借入金ノ借入額減少又ハ借入不實行	許可年月日、番號、減少シタル額、其ノ理由又ハ其ノ實行ヲ爲サザル理由及更正ノ償還年次表
八	借入ノ利率ノ範圍ヲ定メ許可ヲ受ケタルモノノ利率ノ確定	許可年月日番號、確定利率、確定年月日及更正ノ償還年次表
九	借入金ノ許可ヲ受ケタル後利率低減借入又ハ借入後ニ利率ノ低減	許可年月日番號、低減利率、低減年月日許可後ノ低減ナルヤノ別及更正ノ償還年次表
十	借入金ノ償還年限短縮	許可年月日番號、短縮シタル償還年限借入額減少ノ爲ノ短縮ナルヤ利率低減ノ爲ノ短縮ナルヤノ別及更正ノ償還年次表
十一	借入金ノ借入先ノ變更	許可年月日番號、元借入先變更借入先及更正ノ償還年次表
十二	借入金ノ償還年限ヲ延長セザル低利借替	第十二號樣式
十三	町村會ノ會議規則及傍聽人取締規則ノ制定又ハ變更	規則全文寫及發行年月日番號

棒太廳支廳長ヨリ棒太廳長官ニ報告スベキ事項

即報

項目	記載事項
	事件ノ顚末

二	二級町村ノ收入役ノ任免、死亡其ノ他ノ異動	第十三號樣式
三	收入役事務兼掌ノ發令	町村名、職名、氏名及發令年月日
四	收入役代理吏員ノ指定竝ニ其ノ異動	指定年月日（異動年月日）、被指定者ノ職名、氏名
五	町村會議員ノ當選、辭職、失職、死亡及其ノ他ノ異動	第十四號樣式
六	町村行政事務監督ニ關スル規定ノ設定又ハ改廢	規定發行年月日番號、規定文寫及其ノ規定長官ノ許可ヲ受ケタルモノニ在リテハ其ノ年月日番號
七	町村監督上必要ノ爲支廳長ノ爲シタル命令又ハ處分	命令又ハ處分概要及其ノ年月日
八	支廳長ノ爲シタル豫算ノ加載	加載ヲ爲シタル部分ノ豫算寫、處分年月日及理由
九	町村吏員ノ懲戒處分（町村長ノ爲シタルモノヲ除ク）	職名、氏名、懲戒ノ理由及其ノ方法
十	町村吏員賠償責任ノ異議申立ニ對スル決定	異議申立ノ要領、決定理由及決定書寫
十一	事務引繼ニ關スル過料ノ處分	被處分者ノ職名、氏名、處分年月日、理由及過料額
十二	町村行政ニ關スル訴願ノ裁決	事件ノ顚末及決裁書寫
十二ノ二	基本財産（金員）ノ運用實行、戻入及其ノ異動	運用ノ實行及戻入ハ第十一號樣式ニ準ジ其ノ他ハ異動事項
十三	令第十九條第三項ノ期日及期間ノ決定	町村每ニ決定シタル期日、期間及告示ヲ要スルモノニ在リテハ其ノ告示年月日
十四	町村會議員ノ選擧又ハ當選ノ效力ニ對スル處分	處分ノ要領及理由
十五	町村會ノ再議ニ付セシメ又ハ再選擧ヲ行ハシムル爲町村長ニ對スル指揮及其ノ顚末	再議又ハ再選擧ノ事件及指揮ノ理由竝ニ其ノ顚末

〔棒法〕

十六	町村會ノ議決又ハ選擧ノ取消	取消シタル事項及其ノ理由
十七	町村會ノ議決スベキ事件ニ關シ町村長ニ與ヘタル指揮	指揮ノ要領及其ノ理由
十八	町村制施行規則第百三十五條ニ依ル許可	條例ノ名稱、發行年月日番號、許可年月日及條例全文寫（廢止ノ場合ヲ除ク）
十八ノ二	延滯金ニ關スル條例ノ設定又ハ改廢	條例ノ名稱、發行年月日番號及條例全文寫（廢止ノ場合ヲ除ク）
十九	町村吏員ノ執行スベキ事件ノ代執行	代執行ヲ爲シタル事件及其ノ理由
二十	町村豫算ニ對スル翌年度歲入繰上充用ノ許可	繰上充用ノ理由
二十一	臨時代理者ノ選任及職務管掌ノ派遣	町村名、臨時代理者職名、氏名、選任年月日、給料額、職務管掌ニ在リテ派遣官吏ノ職名、氏名、派遣年月日

年報

項目	報告期限	記載事項
一 町村吏員表	一月三十一日限	第十五號樣式
二 町村歲入出通常豫算表	五月三十一日限	第十六號樣式
三 町村歲入出追加更正豫算表	翌年度五月三十一日限	第十七號樣式
四 町村稅課率表	五月三十一日限	第十八號樣式
五 町村夫役課率表	五月三十一日限	第十九號樣式
六 町村現品課率表	五月三十一日限	第二十號樣式
七 町村有財產表	翌年度五月三十一日限	第二十一號樣式
八 町村牧入成績表	翌年度九月三十日限	第八號樣式ニ準ス
九 町村會議員數及有權者數	翌年二月末日限	第二十二號樣式
十 町村歲入出決算表	翌年度七月三十一日限	第二十三號樣式

〔棒法〕

第一號樣式　役場ノ印鑑

印　何郡何町（村）役場

昭和何年何月何日調製

備考

一　用紙ハ縱四寸橫一寸五分トシ厚キモノヲ用フベシ印顆ノ大ナルモノハ橫巾ヲ廣ムルコトヲ得

二　改印ノ場合ハ「調製」トアルヲ「改印調製」ト記載スベシ

第二號樣式　町村長、助役及收入役ノ印鑑

印　何郡何町（村）長（助役）（收入役）

昭和何年何月何日調製

備　考

一　第一號樣式ノ備考ハ本樣式ニ之ヲ準用ス

二　印鑑ハ何レモ職印トス

第三號樣式　區長及區長代理者ノ就職、辭職、死亡又ハ失職（就職ノ例）

區長及區長代理者就職報告　何郡何町（村）

區長又ハ代理者ノ職名	氏名	生年月日	住所	就職年月日

備　考

一　任期ヲ定メタルモノニ在リテハ「任期」ノ欄ヲ設ケ「自昭和何年何月何日至昭和何年何月何日」ノ如ク記載スベシ

二　辭職又ハ死亡ノ場合ニ於テハ區名、職名、氏名、辭職又ハ死亡年月日及辭職ニ在リテハ其ノ事由ヲ記載スベシ尙其ノ場合任期ノ定メアルモノハ任期ヲモ記載スベシ

三　失職ノ場合ニ於テハ區名、職名、氏名、失職年月日及其ノ理由

第四號樣式　委員ノ就職、辭職、死亡又ハ失職（就職ノ例）

委員就職報告　何郡何町（村）

委員名	常設臨時ノ別	氏名	生年月日	住所	就職年月日

備　考

一　任期ヲ定メタルモノニ在リテハ「任期」ノ欄ヲ設ケ「自昭和何年何月何日至昭和何年何月何日」ノ如ク記載スベシ

二　辭職又ハ死亡ノ場合ニ於テハ委員名、常設臨時ノ別、氏名、辭職又ハ死亡年月日及辭職ニ在リテハ其ノ事由ヲ記載スベシ尙此ノ場合任期ノ定メアルモノハ任期ヲモ記載スベシ

三　失職ノ場合ニ於テハ委員名、常設臨時ノ別、氏名、失職年月日及其ノ理由

第五號樣式　令第八十二條ノ吏員ノ任免、死亡其ノ他ノ異動（任命ノ例）

令第八十二條ノ吏員ノ任命報告　何郡何町（村）

職名	氏名	生年月日	住所	給料	勤務係	任命年月日

備　考

一　給料ハ月俸何程又ハ日給何程ト記載スベシ若シ日給ノモノニシテ公暇日ニ其ノ日給ヲ支給セザルモノハ其ノ旨備考ニ記載スベシ

二　免職又ハ死亡ノ場合ニ於テハ職名、氏名、免職又ハ死亡年月日及免職ニ在リテハ其ノ事由ヲ記載スベシ

三　異動ノ場合ニ於テハ異動事項及其ノ年月日ヲ記載スベシ但シ此ノ場合職名、氏名ニ異動ナシト雖モ記載スベキモノトス

四　異動トハ改姓、改名、住所變更ノ如キ類ヲ謂フ第十四號樣式ニ〔棒法〕

於ケル異動亦同ジ

五　新ニ任命シタル場合ハ履歷書ヲ添附スベシ

第五號ノ二樣式　昭和何年度一般會計歲入出狀況調昭和何年何月何日現在（檢査前月末日）

科目	調定額	收入額	未納額	科目	豫算額	支出額	豫算殘額
國稅營業稅附加稅				役場費			
同所得稅附加稅				會議費			
同市街宅地稅附加稅				土木費			
同營業稅附加稅				敎育費			
同砂礫區稅附加稅				衞生費			
特別稅戶別割				勸業費			
同建物割				救助費			
同雜種稅				警備費			
同所得割				基本財產造成費			
同土地割				財產費			
同營業稅				神社費			
町村稅計				其ノ他			
過年度收入				經常費計			
其ノ他				臨時費			
合計				合計			

〔棒法〕

備　考

一　各欄ノ數字ハ總テ累計額ヲ揭記スベシ

二　一時借入金ヲナシ又ハ基本財產及積立金ヲ運用シ若ハ特別會計ト爲シ是現金ヲ運用シタルトキハ之ヲ本表ニ加算セズ備考ニ其ノ金額ヲ表示スベシ

三　歲出中敎育費ニハ各小學校費、衞生費ニハ傳染病豫防費、傳染病院費、隔離病舍費、汚物掃除費其ノ他ノ保健衞生ニ關スル諸費ヲ全部合算スベシ

四　支廳長ハ本表以下ノ樣式ヲ洋式ニ改メ又歲入出科目中町村稅及過年度收入ヲ除クノ外適宜取捨スルコトヲ得

五　將來町村稅ノ種類ニ變更アリタル場合ハ本表歲入科目ニ對シテモ加除ヲ爲スベシ

第五號ノ三樣式　昭和何年度特別會計歲入出狀況調昭和何年何月何日現在（檢査前月末日）

種別	歲入 調定額	收入額	未納額	歲出 豫算額	支出額	豫算殘額
何々會計						
何々會計						
合計						

備　考

一　各欄ノ數字ハ總テ累計額ヲ揭記スベシ

二　一時借入金ヲナシ又ハ基本財産及積立金ヲ運用シ若ハ一般會計及他ノ特別會計ト假最現金ヲ運用シタルトキハ之ヲ本表ニ加算セズ備考ニ其ノ金額ヲ表示スベシ

第五號ノ四樣式　現金保管高調昭和何年何月何日現在（檢査前月末日）

種別	金額	保管ノ内容
一般會計		現銀行預金何程、何郵便貯金何程、（以下何程ノ之ヲ）
特別會計		
歲入歲出外計		
國庫支辨		
其ノ他ノ公共團體		
合計		

備考
一　特別會計現金ハ全部合算ノ上揭記スベシ
二　其ノ他ニ關スルモノハ其ノ種類及金額ヲ備考ニ揭記スベシ

第六號樣式　一時借入金ノ借入及償還

（借入ノ例）

一時借入金借入報告　何部何町（村）

借入年月日	借入先	借入額	償還期限	利率

（償還ノ例）

一時借入金償還報告　何部何町（村）

第六號ノ二樣式　昭和何年度一般會計歲入出狀況調昭和何年何月何日現在（檢査前月末日）

種別	歲入 調定額	收入額	未納額	歲出 科目	豫算額	支出額	翌年度繰越額
國庫支出金				役場費			
同附加稅				會議費			
同所得割				土木費			
同地租附加稅				教育費			
同家屋附加稅				衞生費			
同營業收益稅				勸業費			
戶別割				救助費			
同建物稅				警備費			
雜收入							
合計							

備考
一　借入先銀行ナルトキハ借入先毎ニ記載スベシ

日年償月還	先入借	額入借	額償元還金	額未償元還金	額支利拂子	日年支利月拂子	奉利	期計利間算子
		圓	圓	圓	圓			

第六號ノ四樣式　現金保管高調昭和何年何月何日現在（檢査前月末日）

種別	金額	保管ノ内容
一般會計		現銀行預金何程、何郵便貯金何程、（以下何程ノ之ヲ）
特別會計		
歲入歲出外計		
國庫支辨		
其ノ他ノ公共團體		
合計		

備考
一　特別會計現金ハ全部合算ノ上揭記スベシ
二　其ノ他ニ關スルモノハ其ノ種類及金額ヲ備考ニ揭記スベシ

第七號樣式　町村有財產表

町（村）有財產表　昭和何年度末現在何部何町（村）

種別	歲入 調定額	收入額	未納額	歲出 豫算額	支出額	翌年度繰越豫算額
何々會計						
合計						

備考
一　各欄ノ數字ハ總テ累計額ヲ揭記スベシ
二　一時借入金ヲナシ又ハ基本財產及積立金ヲ運用シ若ハ一般會計及他ノ特別會計ト假最現金ヲ運用シタルトキハ之ヲ本表ニ加算セズ備考ニ其ノ金額ヲ表示スベシ

種別	合計	其ノ他	町村稅計	同營業稅	同土地割	同所得割
合計						
臨時費						
經常費計						
其ノ他ノ財產費						
神社費						
財產造成費						
基本財產積立金						

區別			收益財産										公用財産		計		總計	
			一般基本財産			何々特定ノ目的ヲ記載スルコト基本財産		何々特定ノ目的ヲ記載スルコト積立金(穀)										
			數量	價格	收入	數量	收入	數量	價格	收入	數量	價格	數量	價格	數量	收入	價格	收入
土地			坪		圓													
建物	立木		棟坪	圓	圓													
	木		石	圓	圓													
	有價證券	公債其ノ他ノ有價證券		圓	圓													
		金員	1		圓			1			1		1		1			
		穀物	石	1	圓													
	其ノ他ノ財産		1		圓			1			1		1		1			
	計		1		圓			1			1		1		1			

備考

一　數量及價格ノ單位未滿ノ端數ハ四捨五入ノ上單位ニ止ムベシ

二　建物ノ「數量」欄ノ建坪ハ二階以上ノモノヲ合算スベシ有價證券ノ「數量」欄ニハ額面額ヲ記載スベシ若シ額面額全部ノ拂込ヲ了セザルモノハ其拂込濟額ヲ記載スベシ

三　「價格」欄ハ金員ノ外ハ總テ見積價格ヲ記載スベシ

四　「收入」欄ハ其ノ財産ヨリ生ズル一年度分（卽チ標目ノ下ニ記載スル年度分）ノ收入額ヲ記載スルモノニシテ財産ノ賣買、交換其ノ他所有權喪失ノ對價ノ如キハ之ヲ含マザルモノトス

五　有價證券ノ部ノ「其他ノ有價證券」ノ種類及「其ノ他ノ財産」ノ種類ハ孰モ備考ニ之ヲ記載スベシ

六　土地ト立木トヲ併有スルモノハ土地ノ價額ニ立木ノ價格ヲモ含マシムベシ卽チ立木ハ地上權ノ設定等ニ依リ立木ニ對スル權利ヲ目的トスル場合ニノミ之ヲ記載スベキモノトス

七　金員ノ運用セルモノ又ハ貸金トセルモノハ「金員」欄ニ朱ニテ記載スベシ

八　公用財産ハ其ノ用途ヲ備考ニ記載スベシ

第八號樣式　町村收入成績表

昭和何年度町（村）收入成績表　何郡何町（村）

一　現年度收入

總計		
收入	價格	

備考

一　數量及價格ノ單位未滿ノ端數ハ四捨五入ノ上單位ニ止ムベシ

二　建物ノ「數量」欄ノ建坪ハ二階以上ノモノヲ合算スベシ有價證券ノ「數量」欄ニハ額面額ヲ記載スベシ若シ額面額全部ノ拂込ヲ了セザルモノハ其拂込濟額ヲ記載スベシ

三　「價格」欄ハ金員ノ外ハ總テ見積價格ヲ記載スベシ

四　「收入」欄ハ其ノ財産ヨリ生ズル一年度分（卽チ標目ノ下ニ記載スル年度分）ノ收入額ヲ記載スルモノニシテ財産ノ賣買、交換其ノ他所有權喪失ノ對價ノ如キハ之ヲ含マザルモノトス

五　有價證券ノ部ノ「其他ノ有價證券」ノ種類及「其ノ他ノ財産」ノ種類ハ孰モ備考ニ之ヲ記載スベシ

六　土地ト立木トヲ併有スルモノハ土地ノ價額ニ立木ノ價格ヲモ含マシムベシ卽チ立木ハ地上權ノ設定等ニ依リ立木ニ對スル權利ヲ目的トスル場合ニノミ之ヲ記載スベキモノトス

七　金員ノ運用セルモノ又ハ貸金トセルモノハ「金員」欄ニ朱ニテ記載スベシ

八　公用財産ハ其ノ用途ヲ備考ニ記載スベシ

第八號樣式　町村收入成績表

昭和何年度町（村）收入成績表　何郡何町（村）

一　現年度收入

種別	調定額	納期內收入額	納期後收入額			未收入額		
			督促前	督促後	滯納處分後	計	缺損	翌年度繰越
國稅 營業收益稅	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
國稅 何稅附加稅								
町（村）稅 何稅附加稅								
町（村）稅 何々稅								
町（村）稅 計								
使用料								
手數料								
何々								
合計								

二　過年度收入

年度	調定額	收入額			未收入額	
		滯納處分前	滯納處分後	計	缺損	翌年度繰越
大正何年度	圓	圓	圓	圓	圓	圓
昭和何年度						

合計		

備考

一　團位未滿ノ端數ハ四捨五入スベシ

二　町村長ハ二通調製報告スベシ

三　支廳長ヨリ長官ニ報告スル町村收入成績表ハ町村長ヨリ報告シタルモノヲ集計記載シ町村長ヨリ報告シタルモノノ內一通ヲ添付スベシ

第九號樣式　町村會議員數及有權者數

町村會議員數及有權者數

昭和何年十二月三十一日現在町村名

議員	選舉權ヲ有スル者
定員	現員
人	人
	人

備考

一　選舉權ヲ有スル者ノ調查ニシテ十二月三十一日ノ現在ニ據リ難キモノハ最近ノ調查ノ現在數ヲ揭ゲ其ノ調查月日ヲ備考ニ記載スベシ

二　選舉權ヲ有スル者ノ中ニハ議員數ヲモ包含スルモノトス

第十號樣式　一級町村長、助役、收入役ノ就職、退職（退職申立ヲ合ム）、失職、死亡及其ノ他ノ異動竝ニ二級町村長ノ死亡

（町村長就職ノ例）

町村長就職報告　何郡何町（村）

職名	氏名	住所	月生日年	職業又ハ給料	年月日就職	年月日退職	任期

備考

一　「職名」欄ニ「名譽職町（村）長」又ハ「有給町（村）長」ト記載スベシ

二　「職業又ハ給料」欄ニ名譽職町村長ニ在リテハ給料ヲ記載スベシ

三　「任期」ハ「自昭和何年何月何日至昭和何年何月何日」ノ如ク記載スベシ

四　退職（退職申立ヲ合ム）、失職又ハ死亡ノ場合ニ於テハ職名、氏名（退職申立ヲ合ム）、失職又ハ死亡ノ年月日及退職（退職申立ヲ合ム）、失職ニ在リテハ其ノ事由ヲ記載スベシ

五　異動ノ場合ニ於テハ異動ノ事項及其ノ年月日ヲ記載スベシ但シ此ノ場合ニ於テハ職名、氏名ニ異動ナシト雖モ記載スベキモノトス

六　就職ノ場合ハ履歴書ヲ添付スベシ

第十一號樣式　借入金ノ借入及償還

（借入ノ例）

借入金借入報告　何郡何町（村）

備考

一　借入報告ニ於テ許可額ノ全部又ハ一部ノ借入ヲ爲サザルモノアルトキハ其ノ額ヲ「借入未濟額」欄ニ朱ニテ內書スベシ

二　借入ノ目的ニ種類以上ニ渉リ其ノ種類毎ニ借入ノ場合ハ種類別ノ支出額ニ對スル按分比例ニ依リ種類別ノ借入額ヲ區分セザル

三　算出シ之ヲ以テ記載スベシ尙此ノ場合ハ合計ヲモ掲グベシ

四　借入先銀商ナルトキハ借入先毎ニ記載スベシ

第十二號樣式　借入金ノ償還年限ヲ延長セザル低利借替

借入金ノ償還年限ヲ延長セザル低利借替報告　何郡何町（村）

（償還ノ例）

日新番號	年月	借入年度	借入日	借入ノ的	借入額	未償還元金	利率	期限償還	借入先
					圓	圓			

第十三號樣式　二級町村ノ收入役ノ任免、死亡、其ノ他ノ異動

（任命ノ例）

何支廳

郡	町村	職名	氏名	月生日年	住所	給料	勤務條件	年月日任命	任期

備考

一　給料ノ額ハ給料ニ該當スルモノニ在リテハ「何級俸月俸（年俸）何程」ト記載スベシ

二　任期ハ「自昭和何年何月何日至昭和何年何月何日」ノ如ク記載スベシ

三　免職又ハ死亡ノ場合ニ於テハ郡町村名、職名、氏名、任期、免職又ハ死亡年月日及免職ニ在リテハ其ノ事由ヲ記載スベシ

四　異動ノ場合ニ於テハ異動ノ事項及其ノ年月日ヲ記載スベシ但シ此ノ場合郡町村名及氏名ニ異動ナシト雖モ記載スベキモノトス

五　任命ノ場合ハ履歴書ヲ添付スベシ

第十四號樣式　町村會議員ノ當選、辭職、失職、死亡及其ノ他ノ異動

（當選ノ例）

町村會議員ノ當選報告　何支廳

郡	町村名	氏名	生年月日	職業	住所	當選年月日	任期

備考

一　任期ハ「自昭和何年何月何日至昭和何年何月何日」ノ如ク記載スベシ

二　辭職、失職又ハ死亡ノ場合ニ於テハ郡町村名、氏名、職、失職又ハ死亡ノ年月日及辭職、失職ニ在リテハ其ノ事由ヲ記載スベシ

三　異動ノ場合ニ於テハ異動ノ事項及其ノ年月日ヲ記載スベシ但シ此ノ場合郡町村名及氏名ニ異動ナシト雖モ記載スベキモノトス

第十五號樣式　町村吏員表

町村吏員表　昭和何年十二月三十一日現在

一　有給吏員　何支廳管內

町村名	職名	人員	給料年額
		人	圓
計			

二　名譽職吏員

町村名	區長	區長代理者	常設委員			計
			何々	何々	何々	計
	人	人	人	人	人	人
計						

備考

一　有給吏員ハ令第八十二條ノ吏員ヲ記載スベシ

二　給料年額ハ十二月三十一日現在ノ吏員ニ支給スベキ一箇年分ノ額ヲ記載スベシ但シ圓位未滿ノ端數ハ各項ニ於テ四捨五入シ圓位ニ止ムベシ

三　名譽職吏員中常設委員ハ其ノ名稱毎ニ區分シ記載スベシ

第十六號樣式　町村歲入出通常豫算表

昭和何年度町村（町村何々）歲入出通常豫算表

歲入

何支廳管內

何々	何々	何々	科目	款	項	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	計
						何町村	何町村	何町村	何町村	何町村	何町村	何町村	
			何々			圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
			何々										
			何々										
			何々										

歲出

經常部

科目	款	項	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	計
			何何	何何	何何	何何	何何	何何	何何	
			町村部	町村部	町村部	町村部	町村部	町村部	町村部	町村部
			圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
經常部計										
	何々	何々								
		何々								
	何々									
		何々								
	何々									

臨時部

科目	款	項	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	計
			何何	何何	何何	何何	何何	何何	何何	
			町村部	町村部	町村部	町村部	町村部	町村部	町村部	町村部
			圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
	何々									
		何々								
	何々									
		何々								
	何々									

歲入合計

何々	何々	何々							
		何々							

備考

一　本表ハ町村長ヨリ報告シタル通常豫算ニ依リ之ヲ調製スベシ

二　歲入ヲ經常、臨時ノ二部ニ分チタル豫算アルトキハ歲出ノ例ニ準シ記載スベシ

三　款ノ下給料ト雜給トヲ合セテ賄費ノ一項トセル豫算アルトキハ之ヲ其ノ內容ノ費ト修繕費トヲ合セテ需用費ノ一項トセル豫算アルトキハ歲出ノ例ニ準シ記載スベシ

第十七號樣式　町村歲入出追加更正豫算表

昭和何年度町村（町村何々）歲入出追加更正豫算表

歲入

何々	何々	何々	科目	款	項	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	計
						何	何	何	何	何	何	何	
			何々			豫既算額定	增更追減正加額ノ又ハ	算現額	豫既算額定	增更追減正加額ノ又ハ	算現額	豫既算額定	增更追減正加額ノ又ハ
						圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
	何々												
		何々											
	何々												
		何々											
	何々												

歲出合計	何々	何々								
		何々								

備考

一　款ノ下給料ト雜給トヲ合セテ需用費ノ一項トセル豫算アルトキハ歲出ノ例ニ準シ記載スベシ但シ臨時ノ二部ニ分チタル豫算アルトキハ歲入ヲ經常、臨時ノ二部ニ分チタル通常豫算ニ依リ之ヲ調製スベシ

二　歲入ヲ經常、臨時ノ二部ニ分チタル豫算アルトキハ歲出ノ例ニ準シ記載スベシ但シ臨時ノ二部ニ分チタル豫算アルトキハ歲入ヲ經常、臨時ノ二部ニ分チタル通常豫算ニ依リ之ヲ調製スベシ

三　款ノ下給料ト雜給トヲ合セテ需用費ノ一項トセル豫算アルトキハ歲出ノ例ニ準シ記載スベシ但シ臨時ノ二部ニ分チタル豫算アルトキハ歲入ヲ經常、臨時ノ二部ニ分チタル通常豫算ニ依リ之ヲ調製スベシ

四　特別會計ハ其ノ經濟ノ異ナル毎ニ別紙ニ調製スベシ

〔續き〕

費用性質ニ從ヒ給料、雜給、需用費、修繕費ノ各節ノ項ニ分算スベシ

一　款ニ合算スベシ此ノ場合ニ於テ各學校共通ノ費用ヲ節ニ準シ小學校費ノキノアルトキハ之ヲ小學校費ノ款ニ合算スベシ

小學校費、幼稚園費、圖書館費ヲ合セテ教育費ノ一款トシタル豫算アルトキハ之ヲ小學校費ノ款ニ合算スベシ

圖書館費ノ各節ノ款ニ分算スベシ

町村制施行規則ノ町村歲入出豫算樣式ニ例示アル一項ヲ數多ノ項ニ區分セル豫算アルトキハ之ヲナルベク豫算樣式ニ例示アル項ニ合算スベシ

歳出

経常部

科目	款	項	何々	何々	何々	何々	何々
経常部計							
	何々	何々					
	何々	何々					
		何々					
歳入合計							
	何々	何々					

科目	款	項	何々	何々	何々	何々	何々
何々							
臨時部							
	何々	何々					
	何々	何々					
	何々	何々					
臨時部計							
歳出合計							

備考

一　本表ハ町村長ヨリ報告シタル通常歳入ト追加歳入又ハ更正歳入トニ依リ之ヲ調製スベシ

二　第十六號様式ノ備考ハ本様式ニ之ヲ準用ス

三　「追加又ハ更正ノ為増減額」欄ハ一科目中数額シタルモノト減額シタルモノトアル場合ハ之ヲ差引シテ掲グルモノニシテ何某ノ減額ニ係ルモノハ朱書シ又ハ△印ヲ附スベシ

四　「科目」「既定歳入額」「現歳入額」ノ各欄ハ追加又ハ更正セザル科目ノ分ト雖モ之ヲ記載スベシ

第十八號様式　町村税課率表

昭和何年度町村税課率表

何支廳管内

税目	標準	何郡		何町		何郡		何村		何郡		何村		計			
	課税標準	課率	税額	課率	税額	課率	税額	課率	税額	課率	税額	課率	税額	課率	税額	課率	税額
加國税何々税附加税	本税額		圓		圓		圓		圓		圓		圓		圓		圓
國税附加税計	本税額																

特別税何々	何々	何々
特別税計		
合計		

備考

一　一税目中又ハ税目中ノ一細目中ニ於テ課率不均一ノ賦課又ハ數人若ハ町村ノ一部ニ對スル賦課アルトキハ「課税標準」欄以下各欄ヲ左ノ例ニ依リ記載スベシ

イ　課率不均一ノ賦課ニ在リテハ課率毎ニ區別スベシ

ロ　數人若ハ町村ノ一部ニ對スル賦課ニ在リテハ町村全部ノ賦課ト數人若ハ町村一部ノ賦課トニ分チ尙數人若ハ町村一部ノ賦課ハ各數人若ハ町村一部毎ニ之ヲ區別スベシ

ハ　數人若ハ町村ノ一部ニ對スル賦課ニシテ其ノ課率ノ不均一ノモノニ在リテハ「ロ」ニ依リ町村全部ノ賦課ト各數人若ハ町村一部ノ賦課トニ區別シ更ニ夫ヲ課率毎ニ區別スベシ

ニ　税目又ハ税目中ノ細目ノ町村計ノ課率及國税附加税計ノ町村計ノ課率ハ税目又ハ税目中ノ細目ノ町村計又ハ國税附加税計ノ町村計ノ課税標準高ヲ以テ其ノ税額ヲ除シテ得タルモノヲ記載スルモノトス

第十九號樣式　町村夫役課率表

昭和何年度町村夫役課率表　　何支廳管內

町村	賦課標準額	課率一圓ニ付	賦課高	換算金額 一人當金額	換算金額 金額
	圓	人	人	圓	圓
何郡何町					
何郡何村					
何郡何村					
計					

備考

一　數人若ハ町村ノ一部ニ對スル賦課、課率不均一ノ賦課及直接町村税又ハ直接國税ヲ準率トセザル賦課ニ在リテハ左ノ例ニ依リ記載スベシ

イ　數人若ハ町村ノ一部ニ對スル賦課ニ在リテハ町村全部ノ賦課ト數人若ハ町村一部ノ賦課トニ分チ尙數人若ハ町村一部ノ賦課ハ各數人若ハ町村一部毎ニ之ヲ區別スベシ

ロ　課率不均一ノ賦課ニ在リテハ課率毎ニ區別スベシ

ハ　直接町村税又ハ直接國税ヲ準率トセザルモノニ在リテハ之ヲ準率トスルモノト準率トセザルモノトニ分チ尙準率トセザルモノハ準率毎ニ之ヲ區別スベシ

ニ　數人若ハ町村ノ一部ニ對スル賦課ニシテ其ノ賦課ノ課率不均一ノモノニ在リテハ「イ」ニ依リ町村全部ノ賦課ト各數人若ハ町村一部ノ賦課トニ區別シ更ニ夫ヲ課率毎ニ區別スベシ

ホ　數人若ハ町村ノ一部ニ對スル賦課ニシテ其ノ賦課ガ直接町村税又ハ直接國税ヲ準率トセザルモノニ在リテハ「イ」ニ依リ町村全部ノ賦課ト各數人若ハ町村一部ノ賦課トニ區別シ更ニ夫ヲ準率毎ニ區別スベシ

ヘ　課率不均一ノ賦課ニシテ其ノ賦課カ直接國税又ハ直接町村税ヲ準率トセザルモノニ在リテハ「ロ」ニ依リ課率毎ニ區別シ更ニ夫ヲ準率毎ニ區別スベシ

ト　數人若ハ町村ノ一部ニ對スル賦課ニシテ更ニ其ノ賦課ノ課率不均一ニシテ且ツ直接町村税又ハ直接國税ヲ準率トセザルモノニ在リテハ「イ」ニ依リ町村全部ノ賦課ト各數人若ハ町村一部ノ賦課トニ區別シ夫ヲ課率毎ニ區別シタルモノニ就キ更ニ準率毎ニ區別スベシ

二　前各號ノ場合ハ「賦課標準額」欄ノ上ニ『種別』ノ欄ヲ設ケテ各區別ノ標目ヲ記載スベシ

直接國税ヲ準率トシタルモノハ其ノ旨備考ニ記載スベシ

第二十號樣式　町村現品課率表

昭和何年度町村現品課率表　　何支廳管內

町村	現品種類	賦課標準額	課率一圓ニ付	賦課高	換算金額 單位當金額	換算金額 金額
			圓		圓	圓
何郡何町	何々					
	何々					
	計	｜	｜	｜	｜	
何郡何村	何々					
何郡何村	何々					
	何々					
	何々					
	計	｜	｜	｜	｜	
何郡何村	何々					
	何々					
	計	｜	｜	｜	｜	
合計	何々					
	何々					
	何々					
	計	｜	｜	｜	｜	

備考

一　第十九號樣式ノ備考ハ本樣式ニ之ヲ準用ス

〔棒法〕

二　「現品種類」欄ハ現品ノ名稱ヲ記載スベシ

第二十一號樣式　町村有財産表

町村有財産表　昭和何年度末現在　何支廳管內

收益財産ノ部

一　一般基本財産

町村		土地	建物	立木	有價證券 公債證書	有價證券 其ノ他ノ有價證券	金員	穀物	其ノ他ノ財産	計
何郡何町	數量	町	棟坪	石	圓	圓	—	石	—	—
	價格	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
	收入									
何郡何村	數量									
	價格									
	收入									
何郡何村	數量									
	價格									
	收入									
合計	數量									
	價格									
	收入									

二　特別基本財産
一般基本財産ノ樣式ニ依ル

三　積立金穀等
一般基本財産ノ樣式ニ依ル

四　收益財産計
一般基本財産ノ樣式ニ依ル

公用財産ノ部
一般基本財産ノ樣式ニ依ル但シ「收入」欄ヲ要セズ

町村有財産總計ノ部
一般基本財産ノ樣式ニ依ル

備考

一　本表ハ町村長ノ報告シタルモノニ就キ調製スルモノトス

二　特別基本財産又ハ積立金穀等ハ其ノ設置目的又ハ積立目的ヲ備考ニ記載スベシ

三　第七號樣式ハ本樣式ニ之ヲ準用ス

第二十二號樣式　町村會議員數及有權者數

町村會議員數及有權者數　昭和何年十二月三十一日現在　何支廳管內

〔横法〕

町村名	議員 定員	議員 現員	選擧權ヲ有スル者
	人	人	人
計			

備考

一　選擧權ヲ有スル者ノ調査ニシテ十二月三十一日ノ現在ニ據リ難キ町村在ルトキハ最近ノ調査ノ現在數ヲ揭ゲ其ノ調査月日ヲ備考ニ記載スベシ

二　選擧權ヲ有スル者ノ中ニハ議員數ヲモ包含スルモノトス

〔横法〕

第二十三號樣式　町村歲入出決算表

昭和何年度町村（町村何々）歲入出決算表　何支廳管內

歲入

科目 款	科目 項	何郡何町 決算額	何郡何町 豫算額	何郡何町 增減	何郡何村 決算額	何郡何村 豫算額	何郡何村 增減	何郡何村 決算額	何郡何村 豫算額	何郡何村 增減	計 決算額	計 豫算額	計 增減
何々		圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
	何々												
	何々												
何々													
	何々												
歲入合計													

歲出

經常部

科目 款	項	何郡何町			何郡何村			何郡何村			計		
		決算額	豫算額	増減	決算額	豫算額	増減	決算額	豫算額	増減	決算額	豫算額	増減
		圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
何々													
	何々												
何々													
	何々												
	何々												
經常部計													

臨時部

科目 款	項	何郡何町			何郡何村			何郡何村			計		
		決算額	豫算額	増減	決算額	豫算額	増減	決算額	豫算額	増減	決算額	豫算額	増減
		圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
何々													
	何々												
	何々												
何々													
	何々												
	何々												
	何々												
何々													
	何々												
臨時部計													
歳出合計													
歳入差引殘													
內 一般基本財産編入													
內 翌年度繰越													

〔樺法〕

備考

一　本表ハ町村長ヨリ報告シタル決算ニ依リ之ヲ調製スベシ
　豫算額ハ第十七號樣式ノ現豫算額ト符合スベキモノトス

二　第十六號樣式ノ備考ハ本樣式ニ之ヲ準用ス

三　「増減」欄ハ決算額ノ豫算額ニ對スル増減額ヲ記載スルモノニシテ其ノ減ハ朱書シ又ハ△印ヲ附スベシ

●町村視察規程

大正十一年二月二十五日
廳訓令第十八號

改正　昭五年五月訓令一五四號、六年九月二一三號

町村視察規程

支廳　町村役場

第一條　樺太廳支廳長ハ毎年一回以上本令ニ依リ部内町村ヲ視察スヘシ
但シ別段ノ規定アルモノ又ハ臨時事務ノ一部ヲ視察スルハ此ノ限ニ在ラス
本令ニ依ル視察ハ支廳在勤官吏ヲシテ代理セシムルコトヲ得

第二條　視察スヘキ事項ノ概目左ノ如シ

一　町村全體ノ狀況（部落ノ成立、沿革、戸口增減、人情風俗、住民ノ生業及經濟狀況、土人ノ生活狀況等）

二　吏員ノ勤惰、能否、執務成績ノ擧否及部民ニ對スル接遇ノ良否

三　役場處務ノ狀況（役場ノ裝置、事務ノ分擔、事務處理ノ遲速等）

四　町村會議員選擧事務ノ狀況、選擧人名簿、選擧錄、投票錄等ノ整否、競爭ノ狀況及町村行政ニ及ボス影響等）

五　町村會議員又ハ町村評議員ノ能否及町村治ニ對スル態度

六　町村會ノ招集、發案（町村會議員ノ發案ヲ含ム）、議決承認及執行ノ狀況又ハ町村評議員ノ招集、發案、意見答申ノ當否及答申意見ノ採否

七　町村會ノ議決又ハ選擧ノ再議又ハ再選擧ヲ爲シタル事項

八　敎育、衞生、土木、產業、警防其ノ他ノ施設事項ノ擧否

九　基本財產及營造物ノ管理ノ當否

十　借入金及其ノ償還ニ當否竝ニ償還方法ノ適否

十一　町村費負擔ノ輕重及財源ノ狀況

十二　町村稅、夫役現品賦課徵收及其ノ他ノ町村收入ノ正否

十三　豫算決算ノ正否

十四　出納ノ正否及現金保管ノ當否

十五　國及公共團體ノ委任ニ係ル事務ノ整否

十六　帳簿、文書其ノ他記錄ノ整否及其ノ保存ノ當否

十七　前各號ノ外必要ト認ムル事項

第三條　支廳長ニ隨行シテ視察ニ從事スル支廳職員ハ視察事項ヲ視察スルノ外支廳長ノ命令ヲ待タスシテ直ニ指揮スルコトヲ得ス但シ法令ニ違ヒ又ハ錯誤アルコトヲ發見シ事輕微ニシテ直ニ更正シ得ヘキモノハ支廳長ノ命令ヲ待タスシテ町村長ニ注意ヲ與フルコトヲ得若錯誤ノ輕微ナラスシテ差措キ難キモノハ卽時支廳長ニ報告スヘシ

第四條　支廳長視察ヲ爲シタルトキハ町村每ニ左ノ事項ヲ具シ視察後十日以內ニ棒太廳長官ニ報告スヘシ

一　視察月日

二　視察事務ニ從事セル支廳職員ノ官職氏名

三　第二條各號中ニ就キ重要ト認メタル事實及之カ適否ニ關ル意見

前項ノ報告ニハ視察ノ際處分シタルモノハ其ノ要領、將來ノ處分ニ就キ意見アルモノハ其ノ意見ヲ附記スヘシ

第五條　支廳長ハ支廳在勤官吏ヨリシテ代理視察ヲ爲サシメタルトキハ其ノ視察官吏ヨリ町村每ニ第二條ノ各項ニ就キ視察ノ顚末ヲ記シタル復命書ヲ視察後七日以內ニ徵シテ之ヲ調査シ前條ニ準シ復命書ヲ徵シタル日ヨリ五日以內ニ棒太廳長官ニ報告スヘシ

第五條ノ二　支廳長ハ前二條ノ報告書中他日處分ヲ爲スヘキ事項ニシテ結了シタルモノハ其ノ顚末ヲ棒太廳長官ニ報告スヘシ

第六條　視察事務ニ從事スル支廳職員ハ其ノ視察シタル事項ニ就テハ支廳長ニ復命スルノ外祕密ニ取扱ヒ之ヲ漏泄スルコトヲ得ス

附　則

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●町村ノ出納檢閱ニ關スル件

大正十一年四月九日
廳訓令第四十七號

支廳　町村役場

町村ノ出納檢閱ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　棒太廳支廳長ハ每年一回以上支廳勤務ノ屬又ハ其ノ他所部ノ職員ニ特命シテ町村ノ出納ヲ檢閱セシムヘシ

第二條　前條ニ依リ特命ヲ受ケタル檢閱員町村ノ出納檢閱ノ際ハ町村長ニ於テ收入役ヲ立會ハサシムヘシ

第三條　檢閱員ハ檢閱ニ際シ收入役又ハ町村長ニ對シ必要ナル說明ヲ求ムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ收入役又ハ町村長ハ之カ說明ヲ拒ムコトヲ得ス

第四條　檢閱員ハ檢閱ノ結果不合規ト認メタル出納又ハ不明瞭ノ出納アルトキハ收入役又ハ町村長ニ對シテ推問書ヲ發シテ答辯ヲ求ムルコトヲ得

第五條　支廳長ハ檢閱員ヨリ町村每ニ檢閱ノ顚末ヲ記シタル復命書ヲ檢閱後七日以內ニ徵シテ之ヲ調査シ之ニ依リテ町村每ニ檢閱成績ノ概要ヲ復命書ヲ徵シタル日ヨリ五日以內ニ棒太廳長官ニ報告スヘシ

前項ノ復命書ニハ推問書ヲ發シテ答辯ヲ求メタルモノハ其ノ推問書及答辯書ノ謄本ヲ添附スヘシ

第六條　檢閱員ハ檢閱シタル事項ヲ支廳長ニ復命スルノ外祕密ニ取扱ヒ之ヲ他ニ漏泄スルコトヲ得ス

●町村行政ニ關シ支廳ニ備フヘキ帳簿ニ關スル件

昭和五年五月十八日
訓令第百八十一號

支廳

大正十一年三月棒太廳訓令第三十六號ヲ左ノ通改正ス

町村行政ニ關シ支廳ニ左ノ帳簿ヲ備フヘシ

一　町村臺帳　　第一號樣式

二　町村吏員臺帳　　第二號樣式

三　町村會議員臺帳　　第三號樣式

四　町村評議員臺帳　　第四號樣式

五　町村條例臺帳　　第五號樣式

六　町村規則臺帳　　第五號樣式ニ準ズ

七　町村規定臺帳　　第五號樣式ニ準ズ

本號ノ規定トハ町村長ニ於テ定メタル條例及規則以外ノ規定ヲ謂フ

八　町村一般基本財產臺帳

町村會計事務規程ニ依ル基本財產臺帳ノ樣式ニ準ズ但シ町村每ニ口座ヲ分ツヘシ

九　町村特別基本財產臺帳

町村會計事務規程ニ依ル基本財產臺帳ノ樣式ニ準ズ但シ町村每ニ口座ヲ分チ更ニ設置目的每ニ口座ヲ分ツヘシ

十　町村積立金穀等臺帳

町村會計事務規程ニ依ル積立金穀等臺帳ノ樣式ニ準ズ但シ町村每ニ

ロ座ヲ分チ更ニ積立目的毎ニロ座ヲ分ツベシ

十一　町村不動產臺帳

町村會計事務規程ニ依ル基本財產積立金穀等外町村有財產臺帳ノ様式ニ準ズ但シ町村毎ニロ座ヲ分ツベシ

十二　町村借入金臺帳

町村會計事務規程ニ依ル借入金臺帳ノ様式ニ準ズ但シ町村毎ニロ座ヲ分ツベシ

十三　町村運用金臺帳

町村會計事務規程ニ依ル運用金臺帳ノ様式ニ準ズ但シ町村毎ニロ座ヲ分ツベシ

十四　町村特別稅臺帳　第六號様式

十五　町村豫算決算臺帳　第七號様式

十六　町村役場及吏員印鑑簿　第八號様式

十七　前各號ノ外必要ト認ムル帳簿

前項第一號乃至第七號及第十四號乃至第十六號ノ帳簿ハ町村役場ニモ本令ノ様式ニ準ジタルモノヲ備ヘシムベシ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一號様式　町村臺帳

町村臺帳
樺太廳何支廳

何郡何町(村)

項目	記載
町村成立沿革ノ大要	何々…………
大字及字ノ名稱區域	大字　字　區域 何々　何々　何々 何々　何々　何々 何々　何々　何々 何々　何々　何々 何々　何々　何々 昭和何年何月何日大字何々ヲ何々ト變更 昭和何年何月何日大字及字ノ區域ヲ左ノ通變更 何々…………
役場位置	町村制施行ノ際指定　大字何字何番地 昭和何年何月何日變更　大字何字何番地
區ノ分割	昭和何年何月何日分割 區名　區域 何區　大字何字何　大字何字何 何區　大字何字何 昭和何年何月何日左ノ通區劃變更 何々…………
町村長又ハ助役ノ收入役事務兼掌ノ町村ニ在リテハ其ノ事項	昭和何年何月何日何支廳告示第何號(樺太廳告示第何號又ハ何々)ヲ以テ町村長(助役)ヲシテ收入役ノ事務兼掌
町村會議員又ハ評議員定數	年月日及事由　定數 昭和何年何月何日總選擧(全員任命)ノ際　何人 昭和何年何月何日何々ノ爲何人ヲ何人ニ增(減)　何人 年月日及事由　定數 昭和何年何月何日總選擧(全員任命)ノ際　何人
備考	

備考

一　本帳簿ハ連年繼續使用スベシ第七號様式ノ帳簿ヲ除キ他ノ帳簿亦同ジ

二　大字及字ノ名稱區域變更ノ場合並ニ區ノ分割變更ノ場合ニ於テハ式ノ如ク各欄ノ下段ニ變更ノ要旨ヲ記載スルト共ニ其ノ上段ノ記載事項ヲモ更訂スベシ

三　助役ヲ設置スル樺太町村制附則第二項ノ町村ニ在リテハ「助役設置事項」欄ヲ設ケ「昭和何年何月何日樺太廳告示第何號ヲ以テ助役設置」ノ如ク記載スベシ

四　式ニ示セル各欄以外ニ記載ヲ必要ト認ムル事項ハ適宜欄ヲ設ケテ記載スベシ

第二號様式　町村吏員臺帳

町村吏員臺帳
樺太廳何支廳

何郡何町(村)

町村長(助役)ノ部

名譽職有給職ノ別	氏名	生年月日	住所	就職又ハ任命年月日	任期	摘要

何郡何町(村)

收入役ノ部

氏名	生年月日	住所	就職又ハ任命年月日	任期	摘要

何郡何町(村)

區長及區長代理者ノ部

區名	職名	氏名	生年月日	住所	就職又ハ任命年月日	摘要
	區長					
	區長代理者					
	區長					
	區長代理者					

何郡何町(村)

委員ノ部

委員名	常設臨時ノ別	氏名	生年月日	住所	就職又ハ任命年月日	摘要

何郡何町(村)

樺太町村制施行令第八十二條（樺太町村制附則第二項ノ町村ニ在リテハ樺太町村制第十條）ノ吏員ノ部

職名	氏名	生年月日	住所	任命年月日	勤務係	摘要

何郡何町（村）
助役又ハ區長ノ町村長事務分掌ノ部

職名	氏名	分掌事務	分掌年月日又ハ分掌認可年月日	摘要

何郡何町（村）
收入役代理吏員ノ部

職名	氏名	收入役代理吏員指定又ハ認可年月日	摘要

備考

一　町村毎ニ口座ヲ分チ更ニ町村長、助役、收入、區長及區長代理者、委員、樺太町村制施行令第八十二條（樺太町村制附則第二項ノ町村ニ在リテハ樺太町村制第十條）ノ吏員、助役又ハ區長ノ町村長事務分掌、收入役代理吏員ノ各部ニ分チ記載スベシ

二　任期滿了、退職、解職、失職、廢職、轉任又ハ死亡等ノ場合ニ於テハ其ノ年月日及事項ヲ「摘要」欄ニ記載スベシ

三　二級町村ニ在リテハ町村長ノ部ニ於テ「名譽職有給職ノ別」及『任期』欄ヲ要セズ

四　「任期」欄ハ「自昭和何年何月何日 至昭和何年何月何日 何年」ノ如ク記載スベシ

五　區長、區長代理者又ハ委員ニシテ任期ノ定メアルモノハ「任期」欄ヲ設ケ『自昭和何年何月何日 至昭和何年何月何日 何年』ノ如ク記載スベシ

六　町村長、助役又ハ書記委員長ナルトキハ欄外其ノ他適宜ノ箇所ニ其ノ旨ヲ記載スベシ

七　委員ニシテ委員長タル者ニハ委員名ノ左傍ニ『（委員長）』ト記載スベシ

八　樺太町村制附則第二項ノ町村ニ在リテハ區長及區長代理者ノ部ヲ區長ノ部トシ「職名欄」ヲ除クベシ

第三號樣式　町村會議員臺帳

町村會議員臺帳
樺太廳何支廳

何郡何町（村）　定員　何人

氏名	住所	生年月日	當選年月日	任期	摘要

〔樺法〕

備考

一　町村毎ニ口座ヲ分ツベシ

二　第二號樣式備考二及四ハ本樣式ニ之ヲ準用ス

三　議員中ヨリ議長及其ノ代理者ヲ選擧シタルトキハ氏名ノ右上方ニ「議長」又ハ「議長代理者」ト記載スベシ

第四號樣式　町村評議員臺帳

町村評議員臺帳
樺太廳何支廳

何郡何町（村）ノ部　定員　何人

氏名	生年月日	住所	任命年月日	任期	摘要

備考

一　町村毎ニ口座ヲ分ツベシ

二　第二號樣式ノ備考二及四ハ本樣式ニ之ヲ準用ス

三　議長ハ氏名ノ右上方ニ「議長」ト記載スベシ

第五號樣式　町村條例臺帳

町村條例臺帳
樺太廳何支廳

何郡何町（村）
昭和何年何月何日許可
何郡何町（村）何々條例（條例ノ名稱ヲ記載スルコト名稱ナキモノハ適宜何々ノ件ノ如ク記載スルコト） 昭和何年何月何日公布 何町（村）條例第何號
何町（村）何々條例 第一條………… 第二條………… 第三條…………

備考

一　町村毎ニ口座ヲ分ツベシ

二　條例文ハ行ト行トノ間ヲ一罫宛空白トシ記載スベシ

三　全部改正及廢止ノ場合ハ其ノ條例ノ上段ノ欄ニ全部改正又ハ廢止ノ旨及其ノ許可年月日竝ニ改正條例公布年月日番號ヲ朱書シ之ヲ改廢町村條例トシテ別ニ編綴スベシ

四　條例ノ一部改正ノ場合ハ條例文ヲ更訂シ上段ノ欄ニ其ノ旨及許可年月日竝ニ改正條例ノ公布年月日番號及條例文ヲ揭クベシ若シ改正ノ條項多數アルトキハ全部改正ノ例ニ依リ整理スルモ妨ゲナシ

〔樺法〕

五　本臺帳ニハ便宜町村會ノ會議規則及傍聽人取締規則ヲ登載スルコトヲ得

第六號樣式　町村特別稅臺帳

町村特別稅臺帳

樺太廳何支廳

何郡何町(村)何稅

許可又ハ認可年月日	許可又ハ認可事項	課率	摘要

備考

一　町村毎ニ口座ヲ分チ更ニ稅目毎ニ記載スベシ

二　「許可又ハ認可事項」欄ニハ「新設」「課率何程ヲ何程ニ增額」又ハ「課率何程ヲ何程ニ制限超過」等ノ如ク記載スベシ

三　制限超過賦課ノ場合ハ其ノ必要ナル事由（卽チ樺太町村制施行規則第八十九條第一項ノ該當事項）及許可又ハ認可有效期間ヲ「摘要」欄ニ記載スベシ

四　「課率」欄ハ許可又ハ認可後ノ分ヲ記載スベシ

第七號樣式　町村豫算決算臺帳

町村豫算決算臺帳

樺太廳何支廳

何郡何町(村)一般會計(何々會計)

歲入

科目 款	科目 項	豫算額 通常豫算	豫算額 何月何日追加	豫算額 何月何日更正	豫算額 何月何日追加	豫算額 計	決算額
		圓	圓	圓	圓	圓	圓
歲入合計							

歲出

經常部

科目 款	科目 項	豫算額 通常豫算	豫算額 何月何日追加	豫算額 何月何日更正	豫算額 何月何日追加	豫算額 計	決算額
		圓	圓	圓	圓	圓	圓
經常部計							

臨時部

科目 款	科目 項	豫算額 通常豫算	豫算額 何月何日追加	豫算額 何月何日更正	豫算額 何月何日追加	豫算額 計	決算額
		圓	圓	圓	圓	圓	圓
臨時部計							
歲出合計							

備考

一　本帳簿ハ每年度改調スベシ

二　町村每ニ口座ヲ分チ更ニ一般會計ト特別會計トニ分チ且特別會計ハ各會計ニ區別シ記載スベシ

三　更正豫算ハ更正ノ爲既定豫算ニ對シ增シタル額又ハ減ジタル額ヲ記載スベシ削減ジタル額ハ△印ヲ附シ又ハ朱書スベシ

四　決算ノ場合ハ歲入出差引殘金及其ノ殘金ヲ翌年度ヘ繰越又ハ一般基本財產ヘ編入ノ別ヲ備考ニ記載スベシ若シ殘金ノ內一部ヲ翌年度ヘ繰越シ一部ヲ一般基本財產ヘ編入スルモノニ在リテハ各其ノ額ヲ記載スベシ

五　支廳長ニ於テ豫算ノ加載ヲ爲シタルトキハ其ノ科目、原豫算額、加載豫算及處分年月日ヲ備考ニ記載スベシ

六　支廳長ニ於テ樺太町村制附則第二項ノ町村ノ豫算ノ削減ヲ爲シタルトキハ其ノ科目、原豫算額、削減豫算及處分年月日竝ニ長官ノ認可年月日ヲ備考ニ記載スベシ

第八號樣式　町村役場及吏員印鑑簿

町村役場及吏員印鑑簿

樺太廳何支廳

何郡何町(村)役場

印鑑　印　何郡何町(村)役場

昭和何年何月何日調製

何郡何町(村)町(村)長(助役)(收入役)

職印

印鑑　印　何郡何町(村)長(助役)(收入役)

昭和何年何月何日調製

備考

一　町村毎ニ口座ヲ分ツベシ
二　印鑑臺紙ハ厚キ紙ヲ用フベシ
三　印鑑ハ町村事務報告規程ニ依リ町村長ヨリ報告スルモノヲ貼附スベシ
四　改印ノ場合ハ「調製」トアルヲ「改印調製」ト記載スベシ

●基本財産、積立金穀等及不動産ノ處分ニ付認可稟請ニ要スル添付書類ニ關スル件

大正十一年三月一日
訓令第二十四號

支廳　町村役場

町村ニ於テ基本財産及積立金穀等又ハ不動産ノ處分ヲ爲サムトスル場合ニ於ケル認可稟請書ニハ處分ヲ要スル事由ヲ具スルノ外左ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ添付スヘシ

樺太廳支廳長不動産ノ處分ニ付認可ヲ爲シタルトキハ町村ノ稟請書寫及前項ノ添付書類寫(第七號ノ書類ヲ除ク)ヲ添付シ樺太廳長官ニ報告スヘシ

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

一　賣却ニ付テハ其ノ財産ノ種類、數量及豫定價格竝代金ノ費途
二　贈與ニ付テハ其ノ財産ノ種類及價格
三　交換ニ付テハ交換財産相互ノ種類、數量及價格
四　地上權ノ設定ニ付テハ其ノ土地ノ坪數、價格、地上權ノ存續期間及地代竝近傍類地ノ地代トノ比較尙存續期間又ハ地代ニ付定メナキモノニ在リテハ其理由
五　地役權ノ設定ニ付テハ其ノ土地ノ坪數及收益減損ノ見込高
六　基本財産タル金員又ハ金穀等ノ目的外ノ費消ニ付テハ其ノ金額又ハ數量及費途
七　前各號ノ外評議員會諮問會議錄謄本

●借入金ノ認可稟請ニ要スル添付書類ニ關スル件

大正十一年三月一日
訓令第二十三號

支廳　町村役場

町村ニ於テ借入金ヲ爲サムトスル場合ニ於ケル認可稟請書ニハ借入ヲ要スル理由竝借入ノ方法、利息ノ定率及償還方法ヲ具スルノ外左ノ書類ヲ添附スヘシ

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

一　償還費財源調
　町村稅ヲ以テ償還ノ財源ニ充テムトスルモノニ在リテハ各年度ニ於テ賦課スヘキ稅目、金額及課率ヲモ記載スヘシ

〔樺法〕

二　償還年次表　第一號樣式
三　當該年度歲入出豫算　第二號樣式
四　當該年度資擔調　第二號樣式
五　既往三年度ニ於ケル各年度ノ經費支出調　第三號樣式
六　基本財產調　第四號樣式
七　評議會諮問會議錄謄本
八　永久ノ利益トナルヘキ事業ノ爲ニ爲ス借入金ニ在リテハ事業計畫書
　計畫ノ要領、著手及竣工ノ時期等、費用豫算竝其ノ事業ニ依リ將來收入ヲ生スヘキモノナルトキハ其ノ各年度ニ於ケル收入見込額ヲ記載スヘシ
　事業ニシテ工事ヲ施行スルモノニ在リテハ工事施行圖ヲ添附スヘシ
九　期限前ノ資債償還ノ爲ニ爲ス借入金ニ在リテハ債權者ノ承諾書謄本

第一號樣式

償還年次表

年度	元金償還額	利子仕拂額	利率(年何程)	計
大正何年度	圓	圓		圓
大正何年度				
大正何年度				
合計				

備考

一　元金ノ償還ヲ据置ク場合ハ其ノ年度ノ「元金償還額」欄ニ据置ト記載スヘシ
二　初年度ノ利子計算期間一年未滿ナルトキハ備考ニ其ノ期間ヲ記載スヘシ
三　現ニ資債ヲ有スルトキハ其ノ資債ノ元金償還額ヲ各年度ノ相當欄ニ朱書スヘシ

第二號樣式

大正何年度資擔調

種類	金額	納稅者ノ總數ニ對スル平均一人當	總人口ニ對スル平均一人當	總戶數ニ對スル平均一戶當
直接國稅	圓	圓	圓	圓
町(村)稅				

備考

一　當該年度ノ豫算ニ依リ記載スヘシ
二　納稅者總數、總人口及總戶數ハ備考ニ之ヲ記載スヘシ
　一人ニシテ數稅ヲ納ムル者ハ一人トシテ計算スヘシ

第三號樣式

既往三年度ニ於ケル各年度經費支出調

年度	經常部	臨時部	計
大正何年度	圓	圓	圓
大正何年度			
大正何年度			

備考

一　起債年度ノ前年度以前ノ分ヲ記載スヘシ

二　金額ハ決算額ヲ記載スヘシ但シ決算未了ノモノニ在リテハ豫算額ヲ記載シ其ノ旨備考ニ附記スヘシ

第四號様式

基本財産調

大正何年何月何日現在

種別	數量	價格
土地	坪	圓
建物	棟坪	
有價證券	圓	
金員		
何々		
計		

備考

一　建物ノ「數量」欄ノ建坪ハ二階以上ノモノヲモ合算スヘシ

二　有價證券ノ「數量」欄ニハ額面額ヲ記載スヘシ但シ額面額全部ノ拂込ヲ了ラサルモノハ其ノ拂込濟額ヲ記載スヘシ

三　「價格」欄ニハ金員ノ外ハ總テ見積價格ヲ記載スヘシ

四　土地ト立木トヲ併有スルモノハ土地ノ價格ニ立木ノ價格ヲ合マシムヘシ

五　特別基本財産ハ別紙ニ調製スヘシ

●町村税ノ賦課ニ付認可稟請ニ要スル添附書類ニ關スル件

大正十一年三月十日
廳訓令第二十八號

支廳　町村役場

町村ニ於テ特別税ノ新設增額變更若ハ制限超過又ハ直接國税二分ノ一ヲ超過スル附加税若ハ間接國税ノ附加税ノ賦課ヲ爲サムトスル場合ニ於ケル認可稟請書ニハ新設、增額、變更若ハ制限超過又ハ賦課ヲ要スル理由ヲ具スルノ外左ノ書類ヲ添附スヘシ

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

一　當該年度歳入豫算一覽表　第一號様式

二　當該年度歳出豫算一覽表　第二號様式

三　評議會諮問會議錄謄本

四　大正十年法律第四十七號第七條第一項ノ借入金アルモノハ借入金調　第三號様式

五　特別税ノ制限超過賦課ニ在リテハ其ノ賦課物件ノ收支調但シ收入金ヲ推定シ難キモノハ添付ヲ要セス　第四號様式

〔樺法〕

第一號様式

樺太何郡何町(村)大正何年度歳入豫算一覽表

町(村)税ノ部

課目	金額		課税標準	課税標準單位	課率		内譯 認可濟ノ分 課率		認可濟ノ分 金額		今回認可稟請ノ分 課率		今回認可稟請ノ分 金額	
國税營業税附加税	、、、圓	、、	何本税程	一圓	圓	、、	圓	、、	、、、圓	、、、	圓	○、	、、	、、
國税所得税附加税	、、、	、、	何本税程	一圓		、、						、、	、、、、	、、
國税市街宅地税附加税	、、	、、	何本税程	一圓		、、								
國税鑛業税附加税	、、、	、、	何本税程	一圓		、、								
國税何税附加税	、、	、、	何本税程	一圓		、、								
國税附加税計	、、、、、、	、、							、、、、	、、、			、、、、	、、
特別税戸別割	、、、、、、	、、	何戸 戸數	一戸平均	、、	、、								
特別税建物割	、、、、	、、	何坪 坪數	一坪平均		、、						、、	、、、	、、
湯屋業	、、	、、	收入金額何程	千圓	、	、、	、	、、	、、	、、	、	、、	、	、、
代書業	、、	、、	收入金額何程	千圓	、	、、	、	、、	、、	、、	、	、、	、	、、
理髪業 營業者	、、	、、	何人	一人	、	、、	、	、、	、、	、、	、	、、	、	、、
理髪業 使用人	、、	、、	何人	一人	、	、、	、	、、	、、	、、		、、	、	、、

〔樺法〕

特別税

種別		1	課税標準	2	3	4	5	6
遊藝稼人	十四歳以上	〃	何人　一人	〃	〃	〃	〃	〃
遊藝稼人	十四歳未滿	〃	何人　一人	〃	〃	〃	〃	〃
俳優	十四歳以上	〃	何人　一人	〃	〃	〃	〃	〃
俳優	十四歳未滿	〃	何人　一人	〃	〃	〃	〃	〃
幇間		〃	何人　一人	〃	〃	〃	〃	〃
藝妓	十四歳以上	〃	何人　一人	〃	〃	〃	〃	〃
藝妓	十四歳未滿	〃	何人　一人	〃	〃	〃	〃	〃
娼妓		〃	何人　一人	〃	〃	〃	〃	〃
酌婦		〃	何人　一人	〃	〃	〃	〃	〃
劇場		〃	何（數ヲ記載スルコト）劇場　一劇場	〃	〃	〃	〃	〃
寄席		〃	何（數ヲ記載スルコト）寄席　一寄席	〃	〃	〃	〃	〃
遊技場		〃	何（數ヲ記載スルコト）遊技場　一遊技場	〃	〃	〃	〃	〃
電柱		〃	何本　一本	〃	〃	〃	〃	〃

種別			1	課税標準	2	3	4	5	6
車	自轉車		〃	何輛　一輛	〃	〃	〃	〃	〃
車	自働車		〃	何臺　一臺	〃	〃	〃	〃	〃
車	人力車		〃	何臺　一臺	〃	〃	〃	〃	〃
車	荷車		〃	何臺　一臺	〃	〃	〃	〃	〃
車	乘用馬車		〃	何臺　一臺	〃	〃	〃	〃	〃
車	荷馬車		〃	何臺　一臺	〃	〃	〃	〃	〃
橇	乘用馬橇		〃	何臺　一臺	〃	〃	〃	〃	〃
橇	荷馬橇		〃	何臺　一臺	〃	〃	〃	〃	〃
畜犬			〃	何頭　一頭	〃	〃	〃	〃	〃
船舶	日本形船	艀船、小廻船及積石數五十石未滿	〃	何艘　一艘	〃	〃	〃	〃	〃
船舶	日本形船	積石數五十石以上	〃	何石　一石	○　〃	○　〃	〃	○　〃	〃
船舶	西洋形船	蒸汽船	〃	何噸　一噸	〃	〃	〃	○　〃	〃
船舶	西洋形船	機械船	〃	何噸　一噸	〃	〃	〃	○　〃	〃
船舶	西洋形船	風帆船	〃	何噸　一噸	〃	〃	〃	○　〃	〃
船舶	日本形船	船長二間未滿	〃	何艘　一艘	〃	〃	〃	〃	〃
船舶	日本形船	船長二間以上	〃	何艘　一艘	〃	〃	〃	〃	〃
船舶	日本形船	船長三間以上	〃	何艘　一艘	〃	〃	〃	〃	〃

雜種・漁業・漁船・捕鯨船	雜種・漁業・漁船・西洋形船・機械船・廿噸未滿	雜種・漁業・漁船・西洋形船・風帆船・廿噸以上	雜種・漁業・漁具・鰹配縄	雜種・漁業・漁具・鱶配縄	雜種・漁業・漁具・營建網	雜種・漁業・漁具・流網・鰊漁業用	雜種・漁業・漁具・流網・其ノ他	雜種・漁業・漁具・刺網	雜種・漁業・漁具・大謀網	雜種・漁業・漁具・揚繰網	雜種・漁業・漁具・巾著網	雜種・漁業・漁具・手繰網	雜種・漁業・漁具・打瀬網	雜種・漁業・漁具・底網	雜種・漁業・漁具・卷網	雜種・漁業・漁具・桁網
、、、	、	、、	、		、、	、、	、	、	、、	、、	、、	、、	、、	、、	、、	、、
、、	、、	、、	、、	、、	、、	、、	、、	、、	、、	、、	、、	、、	、、	、、	、、	、、
何艘	何艘	何噸	何鉢	何鉢	何箇所	何把	何把	何把	何統	何統	何統	何統	何統	何統	何統	何統
一艘	一艘	一噸	一鉢	一鉢	一箇所	一把	一把	一把	一統	一統	一統	一統	一統	一統	一統	一統
、、	、				、				、、	、	、	、	、	、	、	、
、、	、、	○、	○、	○、	、、	、、	○、	○、	、、	、、	、、	、、	、、	、、	、、	、、
、、	、				、				、、	、	、	、	、	、	、	、
、、	、、	○、	○、	○、	、、	、、	○、	○、	、、	、、	、、	、、	、、	、、	、、	、、
、	、	、	、			、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
、、	、、	、、	、、	、、	、、	、、	、、	、、	、、	、、	、、	、、	、、	、、	、、	、、
、、					、				、	、	、					
、、	、、	○、	○、	○、	、、	、、	○、	○、	、、	、、	、、	、、	、、	、、	、、	、、
、		、							、	、	、					、
、、	、、	、、	、、	、、	、、	、、	、、	、、	、、	、、	、、	、、	、、	、、	、、	、、

〔摸法〕

税・氷下網	税・雜網	税・昆布收穫割	税・遊興	税・何々	税・計	特別税何税	特別税計	町(村)税計
、、	、、	、、	、、	、、	、、、、、	、、	、、、、、	、、、、、
、、	、、	、、	、、	、、	、、	、、	、、	、、
何統	何統	收穫物價格何程	消費金額一回何程平均ノモノ何回	何々		何程		
一統	一統	千圓	一回平均	何程		何々		
		、		、		、		
、、	、、	、、	、、	、、		、、		
、、	、、	、、	、、					
、、	、、	、、、	、、、	、、、	、、、、、		、、、、、	、、、、、
、、	、、	、、	、、	、、	、、		、、	、、
、、	、、	、、	、、	、、				
、、	、、	、、、	、、、		、、、、		、、、、	、、、、
、、	、、	、、	、、	、、	、、		、、	、、

〔摸法〕

税外收入ノ部

科目	金額	摘要
何々	、、、圓、、	何々何程　何々何程　何々何程
何々	、、、、、	何々何程　何々何程
税外收入計	、、、、、	
歳入合計	、、、、、、	

備考

一　本樣式ノ町(村)税ノ部ハ左ノ場合ニ於ケル記載例ヲ示シタルモノニシテ左ノ以外ノモノモ之ニ準スルモノトス

國税附加税

イ　營業税附加税其ノ賦課カ本税二分ノ一ヲ超過シタル後更ニ之ヲ增額スル場合ノ例

ロ　所得税附加税ハ其ノ賦課カ初テ本税二分ノ一ヲ超過スル場合ノ例

ハ　市街宅地税附加税ハ其ノ賦課カ當初ヨリ本税二分ノ一ヲ超過セサル場合ノ例

特別税

イ　戸別割ハ既設後之ヲ增額セサル場合ノ例

ロ　建物割ハ新設スル場合ノ例

ハ　雜種税ハ既設後更ニ之ヲ增額(制限超過ヲ含ム)又ハ變更スル場合ノ例

特別税ノ賦課ノ變更ノ場合ニ於テ課率ノ減スルモノニ在リテハ「今回認可稟請」ノ欄ニ其ノ減スル分ヲ朱書スヘシ

二　特別税戸別割ノ「課税標準高」欄ノ戸數ハ戸別割賦課免除ノ戸數ヲモ含ムモノトス

三　町村税ノ一税目中又ハ税目中ノ一細目中ニ課率不均一ノ賦課又ハ數人若ハ町村ノ一部ニ對スル賦課アルトキハ「課税標準高」欄以下各欄ヲ左ノ例ニ依リ記載スヘシ

イ　課率不均一ノ賦課ニ在リテハ課率毎ニ區別スヘシ

ロ　數人若ハ町村ノ一部ニ對スル賦課ニ在リテハ町村全部ノ賦課ト數人若ハ町村一部ノ賦課トニ分チ尙數人若ハ町村一部ノ賦課ハ各數人若ハ町村一部毎ニ之ヲ區別スヘシ

ハ　數人若ハ町村ノ一部ニ對スル賦課ニシテ其ノ賦課ノ課率不均一ノモノニ在リテハ「ロ」ニ依リ町村全部ノ賦課ト各數人若ハ町村一部ノ賦課トニ區別シ更ニ夫ヲ課率毎ニ區別スヘシ

四　課率不均一ノ賦課又ハ數人若ハ町村ノ一部ニ對スル賦課ニ付

認可ヲ受ケタルモノハ其ノ認可年月日ヲ備考ニ記載スヘシ

五　税外收入ノ部ノ「科目」「金額」ノ欄ハ豫算ノ款ニ依リ「摘要」欄ノ「何々何程」トアルハ豫算ノ項ニ依リ之ヲ記載スヘシ

六　特別會計ノ豫算ハ別紙ニ調製スヘシ第二號樣式亦同シ

第二號樣式

樺太何郡何町(村)大正何年度歳出豫算一覽表

經常部

科目	金額	摘要
役場費	、、、圓、、	給料何程　何々何程　何々何程
何々	、、、、、	何々何程　何々何程
何々	、、、、、	何々何程　何々何程
經常部計	、、、、、、	

臨時部

科目	金額	摘要
何々	、、、圓、、	何々何程　何々何程
何々	、、、、、	何々何程　何々何程
臨時部計	、、、、、	
歳出合計	、、、、、	

備考

一　「科目」「金額」ノ欄ハ豫算ノ款ニ依リ「摘要」欄ノ「何々何程」トアルハ豫算ノ項ニ依リ之ヲ記載スヘシ

二　財源ノ特定シタル費目ニ付テハ其ノ費目及財源ヲ備考ニ記載スヘシ

第三號樣式

借入金調

認可年月日番號	
借入ノ目的	
借入額及借入年月日	
償還額	
未償還額	
利息ノ定率	
償還ノ方法	
償還終了期限	
償還ノ財源	

償還年次			
年度	元金	利子	計
大正何年度	圓	圓	圓
大正何年度			
…………			

表	
計	…………

備考

一　借入一口毎ニ調製スヘシ

二　元金ノ償還ヲ据置ク場合ハ償還年次表ノ其ノ年度ノ「元金」欄ニ据置ト記載スヘシ

三　償還年次表ノ初年度ノ利子計算期間一年未滿ナルトキハ備考ニ其ノ期間ヲ記載スヘシ

第四號樣式

特別税建物割(雜種税何税)(何税)賦課物件收支調

標準建物(何々)木造亞鉛板葺平屋建建坪二十坪ノモノ一棟

(何々)

建物賃貸價格(收入金)(何々)	何程	
經費	何程	
内　公課	何程	國税何程　町(村)税何程
公課以外ノモノ	何程	何々何程　何々何程
殘	何程	
特別税課率	一坪ニ付(何々何程ニ付)何程	

備考

一　標準物件ハ中庸ヲ得タルモノヲ以テスヘシ

二　經費ノ公課ハ該物件ニ賦課スル分ノミヲ記載スルモノトス
公課中町村稅ハ既設ノ分ノミヲ記載スヘシ
三　特別稅課率ハ認可裏請ノ分ヲ記載スヘシ

●町村長ノ部外出張、疾病及忌引等ノ場合ニ關スル件

大正十一年二月二十五日
勅訓令第十五號

改正　大二五年一一月勅令三〇四號、昭五年五月一五三號、八年六月三三號

支廳　町村役場

町村長ノ部外出張、疾病及忌引等ノ場合ニ關スル件

第一條　町村長公務ノ爲其ノ町村外ニ出張セムトスルトキハ法令ノ規定又ハ監督官廳ノ命ニ依ル場合ヲ除クノ外豫定日數、用務、目的地及事由ヲ具シ樺太廳支廳長ノ許可ヲ受クヘシ但シ樺太内ニ於ケル三日以内ノ出張及其所轄支廳若ハ支廳出張所ニ參廳スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第一條ノ二　樺太廳支廳長町村長ノ爲外ノ出張又ハ私事旅行ヲ許可シタルトキハ其ノ要領ヲ樺太廳長官ニ報告スヘシ

第二條　町村長第一條ニ依リ又ハ法令ノ規定若ハ監督官廳ノ命ニ依リ出張スルトキハ其ノ出發歸著共樺太廳支廳長ニ屆出ツヘシ樺太内ニ於ケル三日以内ノ町村外ノ出張若ハ許可ヲ得テ私事旅行ヲ爲ストキ亦同シ

第三條　町村長疾病、忌引其ノ他ノ事故ニ依リ缺勤スルトキハ樺太廳支廳長ニ屆出ツヘシ休暇ノ場合亦同シ

前項忌引ノ場合ニ於テハ樺太廳支廳長ハ除服出仕ヲ命スルコトヲ得

第四條　前各條ノ規定ハ町村長故障アル場合ニ於テ其ノ代理者ニ之ヲ準用ス

附　則

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●町村吏員事務引繼手續

大正十一年二月二十五日
勅訓令第二十號

支廳　町村役場

町村吏員事務引繼手續

第一條　町村吏員ノ事務引繼ニ關シテハ町村吏員事務引繼ニ關スル規程（以下單ニ規程ト稱フ）ニ定ムルモノノ外本手續ニ依ルヘシ

第二條　規程第一條第一項及第三條第一項ニ依リ事務引繼ヲ爲ス期日ハ町村長ヨリ三日前迄ニ樺太廳支廳長ニ報告スヘシ

第三條　規程第一條第三項ノ場合ハ引繼ヲ爲ス者ニ於テ町村長ヲ經テ許可ヲ受クヘシ

第四條　書類及帳簿ノ引繼目錄ハ第一號樣式、財產及物件ノ引繼目錄ハ第二號樣式、現金ノ引繼目錄ハ第三號樣式ニ依ルヘシ

前項ノ引繼目錄ハ現ニ設備セル臺帳又ハ目錄ニ依テ引繼ヲ爲ストキノ現在ヲ確認シ得ル場合ニ於テハ現金ノ引繼ヲ除クノ外之ヲ以テ充用シ目錄ノ調製ヲ略スルコトヲ得但シ此ノ場合ニ於テハ引繼書ニ其ノ旨記載スヘシ

町村稅、國稅及其ノ他徵收囑託ニ係ル他ノ公共團體費ノ引繼ニ在リテハ第四號樣式ニ依リ徵收ノ濟否ヲ記載シタル明細書ヲ添附スヘシ

第五條　後任者ニ於テ前任者ヨリ引繼ヲ受ケタル事務中其ノ處理正當ノ手續ヲ誤リ又ハ其ノ理由分明ナラスト認ムルモノアルトキハ其ノ引繼ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ樺太廳支廳長ノ指揮ヲ承クヘシ

第六條　前各條ノ規定ハ規定第四條ノ場合ニ之ヲ準用ス但シ町村分離ノ場合ニ於ケル諸帳簿類ハ分割シテ引繼ヲ爲スヘシ其ノ分割シ難キモノハ必要ノ部分ヲ謄寫シ本書ト契印ノ上引繼クヘシ

第七條　前任者故ナク事務ノ引繼ヲ遷延シタルトキハ町村長ハ五日以内ニ期限ヲ指定シテ催告スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ町村長ハ直ニ樺太廳支廳長ニ報告スヘシ

第八條　前任者ニ於テ事務ノ引繼ヲ拒ミタルトキハ町村長ハ直ニ樺太廳支廳長ノ指揮ヲ承クヘシ

前條第一項ノ催告ヲ爲シ仍之ニ應セサル場合亦同シ

第九條　事務ノ引繼完了シタルトキハ前任者及後任者若ハ其ノ他ノ引繼ヲ受ケタル者連署ノ上完了ノ日ヨリ三日以内ニ樺太廳支廳長ニ報告スヘシ

第十條　町村長又ハ收入役死亡、失踪其ノ他ノ事由ニ依リ事務引繼ヲ爲スコト能ハサルトキハ代理者ニ於テ前任者退職當時ノ現在ニ依リ引繼目錄ヲ作成シ置クヘシ

前項ノ場合ニ於テ代理者在ラサルトキハ後任者ニ於テ就職後十五日以内ニ前項ノ手續ヲ爲スヘシ但シ目錄ハ樺太廳支廳長ノ派遣シタル支廳職員立會ノ上之ヲ作成スヘシ

前項ノ場合ニ於テ後任者ハ目錄作成ノ期日ヲ三日前迄ニ樺太廳支廳長ニ報告スヘシ

附　則

本令ハ町村吏員事務引繼ニ關スル規程施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一號樣式

書類及帳簿引繼目錄

區別	員數	備考
大正何年何々（書類編綴ノ件名）		
大正何年何々（簿册名稱）	一	
大正何年何々臺帳	二	
何々ノ件（書類ノ件名）	一	
何々		
何々		
何々		

右ノ通引繼候也

年　月　日

元職　氏　名

〔樺法〕

〔樺法〕

第二號樣式

財産及其ノ他ノ物件引繼目錄

一　町（村）一般基本財産ノ部

有價證券　金何千何百圓
　內譯
　五分利國債百圓券　金何何
　四分利國債五十圓券　金何何
銀行預金　金何千何百圓
郵便貯金　金何千何百圓
現金　金何圓何十錢
土地　何高何千何百坪
建物　何棟、建坪何百何十坪

二　何基本財産ノ部

三　何積立金穀ノ部

四　町村有財産ノ部（基本財産ノ部）

五　備品ノ部

何々

器具、機械

何點

圖書

右ノ通引繼候也

年　月　日

元職　氏　名

備考

一　各特定ノ目的毎ニ區分シ第一項ノ例ニ依ルヘシ

二　各特定ノ目的毎ニ區分シ第一項ノ例ニ依ルヘシ

三　各要途毎ニ區分シ第一項ノ例ニ依ルヘシ

四　各特定ノ目的毎ニ區分シ第一項ノ例ニ依ルヘシ

五　役場ニ備スル分

所屬年度毎ニ記載スヘシ

第三號樣式

現金引繼目錄

區別	現在高	備考
大正何年度	圓	
何々（歲入ノ名稱）	、、	
何々	、、	
何々	、、	
合計	、、	

右ノ通引繼候也

年　月　日

元職　氏　名

備考

一　器具、機械ハ同一種類毎ニ之ヲ區別數ヲ記載スヘシ

二　町村稅以外ノ町村ノ收入若ハ國稅又ハ他ノ公共團體ノ徵收ノ徵定ニ係ルモノニ對シテモ此ノ例ニ依リ記載スヘシ

六　其ノ他ノ財産

右ノ例ニ依ルヘシ

小學校（何學校）（何々）ニ關スル分

何々

右ノ通引繼候也

年　月　日

元職　氏　名

備考

一　各種類毎ニ名稱、員數ヲ記載スヘシ

第四號樣式

大正何年度組戾公課徵收ニ係ル用紙書

町（村）戾ノ部

種別	第一期 賦課額	第一期 收入額	第二期 賦課額	第二期 收入額	第三期 賦課額	第三期 收入額	第四期 賦課額	第四期 收入額	未納額	滯納處分中 金額	滯納處分中 人員
國稅 營業稅 附加稅	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓	圓
何圓々々稅 附加稅											
戶別割											
何々											
何々											
合計											

右ノ通引繼候也

年　月　日

元職　氏　名

備考

一　所屬年度毎ニ調製スヘシ

二　町村稅以外ノ町村ノ收入若ハ國稅又ハ他ノ公共團體ノ徵收ノ徵定ニ係ルモノニ對シテモ此ノ例ニ依リ記載スヘシ

●町村吏員ノ懲戒ニ關スル件

大正十一年二月二十八日
勅令第六十三號

町村吏員ノ懲戒ヲ受クヘキ場合左ノ如シ

一　職務上ノ義務ニ違背シ又ハ職務ヲ怠リタルトキ

二　職務ノ内外ヲ問ハス吏員タルノ威信ヲ失フヘキ所爲アリタルトキ

懲戒ハ辭令書ヲ以テ之ヲ本人ニ交付ス

附　則

本令ハ樺太町村吏員懲戒審査會規程施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第七節　雜則

●樺太町村制施行ニ關スル件

大正十一年二月一日
勅令第一號

樺太町村制ノ施行ニ關スル件左ノ通定ム

第一條　樺太町村制（以下單ニ町村制ト謂フ）施行ニ際シ其ノ區域ニ屬スル部落ノ部落總代ハ廢セラレタルモノトス

第二條　樺太廳長官ハ町村制施行ニ際シ町村長就職スルニ至ル迄所部ノ官吏ヲシテ其ノ事務ヲ取扱ハシムルコトヲ得

前項官吏ノ町村ノ事務ニ付要スル旅費ハ其ノ町村ノ負擔トス

第三條　町村制施行ニ際シ其ノ地域ニ屬スル部落ニ於テ從來部落共同ノ費用ヲ以テ經營セル公共事業共有財產及部落公共事業ノ爲共同負擔ニ係ル借入金竝部落費ハ部落總代タリシ者ニ於テ町村制施行ノ日ヨリ十日以內ニ之ヲ町村ニ引繼クヘシ

前項ニ依リ引繼ヲ受ケタル事業、財產及借入金ハ之ヲ其ノ町村ノ事業、財產及借入金トシ部落費ハ之ヲ其ノ町村費ニ繰入ルヘシ

第四條　前條ニ依リ引繼ヲ受ケタル事業、財產及借入金ハ町村長ニ於テ之ヲ町村評議會ニ報告シ且樺太廳支廳長ニ報告スヘシ

第五條　町村制施行ノ日ヨリ町村稅ノ徵收ニ至ル迄ノ間ニ於テ町村費ノ支出ヲ要スルトキハ他ニ町村ニ屬スル收入ナキ場合又ハ一時ノ借入金ヲ以テ之ヲ支辨シ難キ場合ニ限リ町村長ニ於テ樺太廳支廳長ノ許可ヲ得テ假ニ町村稅ヲ徵收シ之ニ充ツヘシ

前項ニ依リ假徵收ヲ爲シタル町村稅ハ追テ其ノ年度ノ町村稅ヲ正規ニ徵收スルニ當リ之ヲ差引クヘシ

第六條　町村制施行ノ際ニ於ケル町村役場ノ位置ハ樺太廳長官之ヲ指定ス

第七條　町村制施行ノ際ニ於ケル町村ノ公告式ニ關スル町村規則ハ其ノ町村役場前ニ揭示シテ之ヲ公告スヘシ

第八條　本令ノ規定ハ大正十年法律第四十七號ヲ適用スル地域ニ之ヲ適用ス

附　則

本令ハ樺太町村制施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●樺太町村制施行ニ際シ部落費其ノ他ノ引繼等ニ關スル心得

大正十一年二月九日
廳訓令第九號

支廳

樺太町村制施行ニ際シ部落費其ノ他ノ引繼等ニ關スル心得左ノ通定ム

第一條　大正十一年二月樺太廳令第一號樺太町村制ノ施行ニ關スル件第三條ニ依ル引繼ハ本令ニ準據セシムヘシ

第二條　一部落ニシテ數町村ニ屬シタルトキ又ハ部落ノ一部ニ樺太町村制施行セラレタルトキ其ノ部落ニ財產アル場合其ノ財產地域ニ依リ分割シ難キトキハ樺太廳支廳長ハ町村相互ノ間又ハ町村ト分割セラレタル部落ノ部落總代トノ協議ニ依リ之ヲ處分セシムヘシ

前項ノ規定ハ借入金ニ付之ヲ準用ス

第三條　町村ニ於テ部落總代タリシ者ヨリ引繼ヲ受ケタル借入金ニシテ町村ノ一部又ハ數人ヲ利スルモノナルトキハ其ノ償還費用ノ賦課ニ付テハ樺太町村制第五十四條又ハ第五十五條ニ依ル等適宜ノ方法ヲ定メシムヘシ

第四條　部落總代タリシ者事業、財產、借入金及部落費ヲ町村ニ引繼クトキハ左ノ書類ヲ添附セシムヘシ

一　事業ニ在リテハ其ノ事業毎ニ起源、沿革及現況竝將來ノ施行ニ付意見アルモノハ其ノ意見ヲ記載シタル調書

二　財產ニ在リテハ第一號樣式ノ明細書

三　借入金ニ在リテハ第二號樣式ノ明細書

四　部落費ニ在リテハ第三號樣式ノ精算書

五　部落費中收支未濟ノモノニ在リテハ前號ノ外尙第四號樣式ノ明細書

六　前各號ノ外書類及帳簿ニ在リテハ第五號樣式ノ目錄、備品及消耗品ニ在リテハ第六號樣式ノ目錄、處分未濟ノ事件ニ在リテハ其ノ事件每ニ從來ノ經過今後ノ處分方法ニ付意見ヲ記載シタル調書

第五條　書類及帳簿ニシテ原本ヲ引繼キ難キモノハ其ノ謄本又ハ抄本ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第六條　一部落ニシテ數町村ニ屬シタル場合帳簿類ニシテ分割シ難キモノアルトキハ樺太廳支廳長之カ引繼ヲ受クヘキ町村ヲ指定スヘシ此ノ場合ニ於テ其ノ引繼ヲ受ケタル町村ヲシテ他ノ關係町村ニ對シ閱覽ノ

第一號樣式

財産明細書

土地ノ部

所在地	字地番	地目	面積	見積価格		用途	取得年月日事由	備考
何部何町(村)大字何	字何何番	何々	坪	圓		敷金用	何大正何年何月何日	何某ヘ有償貸付
何部何町(村)大字何	字何何番	何々				何々用	何大正何年何月何日	保証金ノ方ヘ振替シテ提供
合計	何筆							

建物ノ部

所在地	種類	建坪	見積価格	用途	取得年月日事由	備考
何部何郡何町(村)大字何字何	木造瓦葺平屋建居宅	何坪	圓	公共用	何大正何年何月何日	何某ヘ無償貸付
何部何郡何町(村)大字何字何	板木造瓦葺二階建倉庫	何坪		公用(何々)	何大正何年何月何日	小学校令(何々)
合計	何棟					

有価證券

何(設立ノ目的ヲ記載スルコト)設立金(金額)ノ部

何	何	何	何	何	何	預先又ハ貸付先	金額	證書又ハ通帳番號	同收期日	備考
某ヘ貸付	某ヘ貸付	郵便貯金	何銀行當座預金	何銀行何支店定期預金	何銀行定期預金		圓			
大正何年何月何日迄	大正何年何月何日迄							通帳何號	大正何年何月何日	
								通帳何號	大正何年何月何日	
								證書第何號	大正何年何月何日	
								證書第何號	大正何年何月何日	

預金及貸金

何	何	種類	數量	見積価格	保管場所	取得年月日及事由	備考
合計	々	何石	何程	圓	何々	何大正何年何月何日	
			何米々何何程石		何々	何大正何年何月何日	

證券

種類	番號	額面額	見積価格	取得年月日事由	備考
何分利付國庫債券	何第何號	圓	圓	何大正何年何月何日	何銀行ヘ借入金ノ方ヘ擔保トシテ提供
何回勸業債券	何第何號			何大正何年何月何日	郵便局保管預此ノ通帳番號何第何號
合計	何枚				

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

附則

二　町村及引繼ヲ受ケタル者ノ職氏名

町村引繼終了年月日

一　引繼ヲ爲シタル部落及部落總代タリシ者ノ氏名竝引繼ヲ受ケタル

第七號　引繼ヲ了シタルトキハ當事者連署ノ上第四條ニ依ル書類ノ寫二通ヲ添ヘ五日以内ニ棒太廳支廳長ニ提出スルコトヲ要ス

添附書類一通ヲ添ヘ直ニ棒太廳長官ニ報告スヘシ

棒太廳支廳長ハ前項ノ提出アリタルトキハ左ノ事項ヲ其シ前項ニ依ル通ヲ添附シ直ニ棒太廳長ニ報告スヘシ

合計				

金何程　現金

何々ノ部

何々

備考

一　土地又ハ建物ノ貸付中ノモノニ在リテハ貸付物ノ種類、數量、貸付先、貸付年月日、貸付期間、有償、無償ノ別及有償ナルトキハ其ノ貸付料額、納入期限等ヲ記載シタル調書ヲ別ニ添附スヘシ
二　積立金等ハ積立目的ノ異ナル毎ニ區別シ記載スヘシ
三　部落費殘金ヲ一時預入セルカ如キハ之ヲ積立金等ノ部ノ内ニ記載スヘカラス
四　土地ト立木トヲ併有スルモノハ土地ノ價格ニ立木ノ價格ヲ含マシムヘシ
五　建物ノ建坪ハ二階以上ノモノヲモ合算スヘシ

第二號樣式

借入金明細書

借入目的	借入先	借入年月日	借入額	償還額	未償還額	償還期限	未償還額償還方法	利率	未償還額ニ對スル利子支拂方法	債務者名義	擔保(保證人)
何々	何々(住所又ハ所在地ヲ記載スルコト)(何銀行)何某	大正何年何月何日	圓	圓	圓	大正何年何月何日	大正何年何月何程(自大正何年至大正何年毎年何月一回何程宛)	年何分(何程)	毎回元金償還ノ都度支拂(何々)	何町(村)大字何何某	擔保何々(保證人大字何何某)

〔樺法〕

備考

一　借入一口毎ニ記載スヘシ

第三號樣式

部落費精算書

收入ノ部

種目	金額	摘要
何々	圓	何々
何々		何々
未收入金		何々
計		

支出ノ部

種目	金額	摘要
何々	圓	何々
何々		何々
未支拂金		何々
計		

差引殘金何程　現金(何銀行ヘ預入通帳第何號)(何々)
(差引不足金何程)

備考

一　引繼ヲ爲ス年度又ハ年ノ分ニ就キ調製スヘシ若其ノ以前ノ年度又ハ年ノ分ニシテ差引殘金又ハ不足金ノ處分方法未了ノモノアラハ之ヲ一旦引繼ヲ爲ス年度又ハ年ノ分ニ繰入レテ精算スヘシ

第四號樣式

收支未濟調書

收入未濟ノ部

納入義務者	金額	摘要
大字何何某	圓	部落費分賦金何々分
何郡何町(村)大字何何某		何々
計		

支拂未濟ノ部

支拂先	金額	摘要
何郡何町(村)大字何何某	圓	何々代
大字何何某		何々
計		

〔樺法〕

第五號樣式

書類及帳簿目錄

區分	員數	備考
何々簿		
何々帳		
大正何年何々（書類編綴簿冊名稱）何々ノ件（書類ノ件名）		

第六號樣式

備品及消耗品目錄

備品ノ部

圖書

書目	冊數	見積價格	用途	備考
何々	冊		學校備置	
何々			何々	
合計				

器具、機械

品目	數量	見積價格	用途	備考
何々	個		何々	

消耗品ノ部

品目	數量	見積價格	備考
何々			
合計		何々	

備考

一　器具、機械ハ同種類ノモノヲ用途別ニ總メ點數ヲ以テ記載スヘシ

●優良町村及優良町村吏員表彰規程

大正十一年四月九日
告示第六十二號

優良町村及優良町村吏員表彰規程左ノ通定ム

優良町村及優良町村吏員表彰規程

第一條　左ニ揭クル町村又ハ町村吏員ハ樺太廳長官ニ於テ之ヲ表彰ス

一　町村ニシテ自治ノ實ヲ擧ケ其ノ治績顯著ナルモノ

二　町村吏員ニシテ自治ノ發達又ハ事務ノ整理ニ勗メ其ノ功勞顯著ナル者

第二條　前條ニ依リ表彰ヲ受ケタル町村又ハ町村吏員其ノ治績又ハ功勞更ニ顯著ナルニ到リタルトキハ重ネテ之ヲ表彰スルコトアルヘシ

第三條　表彰ハ表彰狀及金品ヲ授與シ之ヲ告示ス

第四條　町村長ハ所部ノ吏員ニシテ第一條ニ該當スルト認ムルトキハ其ノ事績ヲ精査シ樺太廳支廳長ニ具申スヘシ

樺太廳支廳長ハ町村及町村吏員ニシテ第一條ニ該當スルト認ムルトキハ其ノ事績ヲ精査シ樺太廳長官ニ具申スヘシ町村長ヨリ前項ノ具申ヲ受ケタルトキ亦同シ

第九類　財務

第九類　財務

第一章　會計

第一節　通則

○會計法〔大一〇、法四二〕……一
○會計規則〔大一一、勅一〕……五
○樺太廳特別會計法〔明四〇、法一八〕……一三
○關東廳及樺太廳特別會計規則〔明四〇、勅八七〕……一三
○會計規則及各特別會計規則ノ規定ニ依リ調製スルコトヲ要スル帳簿ノ樣式及記入ノ方法竝書類ノ樣式〔大一一、大令二〇〕……二四
○會計法及會計規則中各省大臣又ハ所管大臣ノ職務事項ヲ長官其ノ他ニ施行セシメラルヽ場合之カ取扱方ニ關スル件〔大一一、財二七八六通牒〕……一七
○歲入歲出概算書同豫定計算書及各目明細書ニ關スル件〔明四〇、內訓三七八〕……一八
○歲入豫算資料報告及歲入徵收額計算表ノ件〔大一四、大訓一二〕……一九
○豫定經費要求書ノ件〔大一〇、廳訓三四〕……一九
○特別會計ノ恩給負擔金ヲ一般會計ニ繰入ルルコトニ關スル法律〔昭六、法八〕……一二〇

○特別會計ノ恩給負擔金ヲ一般會計ニ繰入ルルコトニ關スル法律ノ施行ニ關スル件〔昭六、勅二〇三〕……一二〇
○特別會計ノ恩給負擔金ヲ一般會計ニ繰入ルルコトニ關スル法律施行事務取扱細則〔昭六、大令二七〕……一二二
○特別會計ニ於ケル營繕費ニ關スル法律〔昭六、法九〕……一二三
○國庫出納金端數計算法〔大五、法二〕……一二三
○國庫出納金端數計算法第五條第二項ニ依ル命令ノ件〔大五、勅五六〕……一二四
○國庫出納金端數計算法第二條第二項ニ依ル國稅指定〔大一一、廳令三九〕……一二四
○國庫出納金端數計算法ニ關スル件〔大五、官三八通牒〕……一二五
○政府ト私人トノ債務ノ相殺アリタル場合ニ於ケル歲入徵收官ノ事務取扱方ニ關スル件〔大一一、大訓一五〕……一二五
○郵便官署ヲシテ歲入金ノ受入及歲出金ノ繼替拂ヲ取扱ハシムル件ニ關スル規程〔大四、大令一〕……一二五
○樺太廳及所廳官署ノ歲入金、歲出金及歲入歲出外現金ノ出納ヲ取扱フ郵便局指定〔大四、告示一〇五〕……一三六
○樺太廳郵便局現金ノ受拂規則〔大一一、大令三七〕……一三七
○樺太廳及所廳官署會計事務規程〔大一一、廳訓九三〕……一四九
○樺太廳及所廳官署會計事務規程帳簿計表類樣式〔大一一、廳訓九四〕……一五七
○樺太廳及所廳官署會計事務規程第四十三條第六號ニ依リ主務官吏ノ仕拂調書ニ依リ仕拂フコトヲ得ヘキ補助金〔大四、廳訓三九〕……一八三

○會計法規ニ基ク出納計算ノ數字及記載事項ノ訂正ニ關スル件（大二一、大令四三）……一八三
○歳入年度等誤謬ノ場合訂正手續（大二一、大令三八）……一八三
○歳入金歳出金及歳入歳出外現金受拂ニ關スル件（昭二、通牒監二〇八五通牒）……一八四
○納入告知書現金領收書及同様公書等ノ書式寸法ニ關スル件（明四一、内務省歳甲一四七）……一九二
○記帳計算上使用ノ面積比率數字書體ノ件（大五、主一四三）……一九二
○棒太事業公債法（大七、法二）……一九二

第二節　收入

○租税外諸收入金整理ニ關スル件（明四四、法五八）……一九三
○租税外諸收入金整理ニ關スル件施行規則（明四四、勅二）……一九三
○貨付金取扱規程（明四四、大令一七）……一九四
○貨付金取扱ニ關スル件（明四四、大藏省主税局長通牒）……一九六
○貨付金取扱ニ關スル件（大四、大藏省主税局長通牒）……一九六
○租税外諸收入金ヲ貨付金ニ編入方ニ關スル件（大四、大藏省主税局長通牒）……一九七
○貨付金ニ編入ノ場合ニ於ケル證書等ニ關スル件（大五、大藏省主税局長通牒）……一九七
○棒太廳關庁收入取扱手續（昭五、訓令二〇三）……一九八
○棒太廳關庁收入取扱規程（明四〇、勅二一八）……二〇三
○棒太廳中學校及棒太廳高等女學校授業料收納取扱手續（昭二、訓令二三七）……二〇七
○恩給金額分掛及國庫納金收入等取扱規則（大二一、勅四三）……二〇九
○恩給金額分掛及國庫納金收入等事務取扱細則（大二一、大令三〇）……二一一
○恩給金額分掛及國庫納金收入等取扱規則ノ規定ニ依ル裁定要項通知書書式（大二一、閣訓二）……二一四
○印紙ヲ以テスル歳入金納付ニ關スル件（大九、勅二九〇）……二一五
○棒太ニ於テ收入印紙ヲ以テ納付スヘキ手數料ノ種目（大九、閣令七）……二一六
○手數料トシテ納付スル收入印紙消印方ノ件（大五、訓三）……二一六
○甲乙丙地ニ於ケル歳入金取扱方（明四三、大藏大臣達四八七）……二一七
○各年度歳入調定濟額ニシテ收入未濟ノモノ取扱方（明四四、大訓六八）……二一七
○丙年度ニ繰込タル甲年度所屬現金取扱ニ關スル件（明三八、主起局長通牒）……二一九
○各年度歳入調定濟額收入未濟翌年度繰越額計算表省略ノ件（明四二、大藏大臣通達往二三三〇）……二一九
○繰越ニ係ル歳入調定濟額中收入未了ノモノ整理方（明二五、大藏大臣通達往二三三〇）……二一九
○微收報告書中收入濟額ト歳入金月計表合ハサルトキ差額ヲ生シタル場合ニ於ケル更正方ノ件（大二一、大藏省主起局長通牒）……二二一
○歳入歳出國庫內移換收支取扱手續（大四、臨時二內務大臣通牒）……二二二
○歳計剩餘金繰入方ノ件（大四、內務省會一七）……二二七
○賭博事件沒收品罰金科料ノ處分ヲ爲シタル賭具處理方ノ件（明四三、發保五〇三部長通牒）……二二七
○公衆電話料金取集規程（大八、勅二〇）……二二七

第三節　支出

○支出官事務規程（大二一、大令二）……二三九
○大藏大臣ノ承認ヲ經ルニ非サレハ他ノ歳入ノ金額ヲ流用スルコトヲ得サル費途ノ件（大二二、勅三〇五）……二四八
○繰替又ハ前渡金ノ仕拂殘若クハ其他ノ返納ニシテ外國貨幣又ハ爲替ヲ以テ國庫ニ納付ノ件（大二一、藏七六六）……二四八
○國庫納金額ヲ券面金額トスル小切手振出ノ件（大二一、藏七〇七四通牒）……二四八
○支出濟額報告書記載方ノ件（大二一、課三八八通牒）……二四九
○支出濟額報告書ノ件（大二一、課三八七通牒）……二四九
○政府ヲ第三債務者トシテ設スル差押命令ニ關スル會計上ノ規定（明二六、勅二六二）……二四九

○拾得金期滿失效年月日計算方ノ件（大六、大藏省主計局長通牒）……二三〇
○拾得金期滿失效年月日起算方ノ件（明三四、山梨縣知事照會）……二三九
○拓殖局副總裁照會（拓殖局總裁照會）……二三九
○旨趣カ拾得シタル遺失物ヲ歳入ニ編入取扱ノ件（明四四、拓殖局總裁通牒）……二三九
○旨趣カ拾得シタル遺失物ヲ歳入ニ編入方ノ件（明四四、拓殖局總裁通牒）……二三八
○拾得シタル遺失物ヲ歳入ニ編入方ノ件（明四三、拓殖局副總裁通牒）……二三八
○證券ヲ以テスル歳入納付ニ關スル法律施行細則ノ規定ニ關スル件（大六、旨三三三通牒）……二三八
○證券ヲ以テスル歳入納付ニ關スル法律施行細則（大五、大令三二）……二三五
○證券ヲ以テ納付シ得ル歳入ノ種目及其ノ納付ノ制限ニ關スル件（明二一、總令八）……二三四
○歳入ノ納付ニ使用スル證券ノ制限ニ關スル件（大五、大令三）……二三三
○歳入納付ニ使用スル證券ニ關スル件（大五、勅二五六）……二三二
○歳入納付ニ使用スル證券ニ關スル件（大五、法二〇）……二三二
○證券ヲ以テスル歳入納付ニ關スル件（大九、勅二〇）……二三二
○繰越額計算表樣式（明三二、大訓二二）……二三〇
○繰越額計算表調製方ノ件（明四〇、大藏省主税局長通牒）……二三一
○繰越額計算表ニ關スル件（大二一、大令三八）……二三一
○歳入年度等誤謬ノ場合訂正手續（大二一、大令三八）……二三三
○歳入金歳出金及歳入歳出外現金受拂ニ關スル件（昭二、通牒監二〇八五通牒）……二三四
○納入告知書現金領收書及同様公書等ノ書式寸法ニ關スル件（明四一、内務省歳甲一四七）……二三九
○記帳計算上使用ノ面積比率數字書體ノ件（大五、主一四三）……二三九
○棒太事業公債法（大七、法二）……二三九

第二節　收入

○租税外諸收入金整理ニ關スル件（明四四、法五八）……二三九
○租税外諸收入金整理ニ關スル件施行規則（明四四、勅二）……二三九
○貨付金取扱規程（明四四、大令一七）……二三九
○貨付金取扱ニ關スル件（明四四、大藏省主税局長通牒）……二三九
○貨付金取扱ニ關スル件（大四、大藏省主税局長通牒）……二三九
○租税外諸收入金ヲ貨付金ニ編入方ニ關スル件（大四、大藏省主税局長通牒）……二三九
○貨付金ニ編入ノ場合ニ於ケル證書等ニ關スル件（大五、大藏省主税局長通牒）……二三九
○棒太廳關庁收入取扱手續（昭五、訓令二〇三）……二三九

○政府カ第三債務者トシテ差押ヘラレタル債務額ノ仕拂停止仕拂執行及供託ニ關スル手續（明二七、大令二）……二五〇
○印刷局製造ノ物件ヲ買入ルトキ前金拂ノ件（明四〇、法五）……二五四
○徴兵扶養繼者支拂ニ關スル件（大二、勅二五）……二五四
○棒太ニ施行スル徴兵扶養繼者支拂ニ關スル規則（大五、閣令二）……二五五
○棒太廳及所屬官署經費送切規則（大二一、閣令七〇）……二五五
○棒太廳及所屬官署經費送切規則施行細則（大二一、廳訓一〇〇）……二五七
○棒太廳及所屬官署經費送切規則施行心得（大四、廳訓二）……二六〇
○特定郵便局送切經費支給細則（大二一、廳訓九六）……二六三
○經費送切ニ關スル心得（大四、廳訓一七）……二六六
○經費送切ニ關スル注意事項（大四、殺主一九一通達）……二六六
○歲出金繼者拂證書及同通知書ノ記號ニ關スル件（大四、廳訓一一五）……二六六
○官吏及小學校教員ノ俸給繼者拂渡ニ關スル件（大四、內務都長通牒）……二六八
○棒太廳郵便局現金受拂規則ニ依リ發行シタル歲出金繼者拂證書及同通知書亡失ノ場合ニ於ケル取扱ニ關スル件（大五、廳令一三）……二六八
○現金拂渡後歲出金繼者拂通知書發送又ハ亡失ノ場合處理方

ノ件（大五、內務部長通牒）……二六九
○歲出金繼者拂通知書家用ノ領收證ニ印紙貼用ノ要旨明記ノ件（大五、內務部長通牒）……二七〇
○町村交付金交付規程（大一一、勅令三七）……二七〇

第四節　契約

○會計規則第九十六條ノ規定ニ依リ一般ノ競爭ニ加ラムトスルモノニ必要ナル資格ニ關スル件（大一一、大令三三）……二七一
○一般ノ競爭ニ加ラムトスルモノニ必要ナル資格ニ關スル件（大一一、告示六四）……二七二
○會計法第三十一條第二項ノ適用ニ關スル件（大一一、總理大臣通牒）……二七三
○物件ノ製造又ハ買入賣渡ヲ爲ス場合隨意契約ニ依ルノ件（大一一、勅訓六二）……二七三
○政府ニ於テ物品ノ販賣ヲ同居業者ニ委託スルコトヲ得ル場合ニ關スル件（大二一、勅二九九）……二七四
○工事請負及工用品並雇工人夫供給規則（明四〇、告示三六）……二七四
○工作物ノ賣渡區分ニ關スル件（明三五、大藏大臣通牒）……二八一
○政府ヨリ買拂フ代金ノ差納ニ關スル件（大一〇、勅三七）……二八一
○棒太廳ニ關スル生產物買拂代金差納ニ關スル件（大一〇、閣令四五）……二八二

○陸海軍召集諸費出納官吏配置任命規程（大一五、勅令二二）……二〇三
○棒太廳郵便局出納員命免規程（大一五、勅令三三七）……二〇四
○棒太廳郵便局現金受拂規則ニ依リ發行シタル歲出金繼者拂證書及同通知書亡失ノ場合ニ於ケル取扱ニ關スル件（大五、閣令一三）……二六八

第五節　保證金

○入札又ハ契約ノ保證金ニ關スル件（明四三、勅三四〇）……二八四
○土木工事起業者保證金納付方（明二四、勅二六）……二八四
○容器國債ノ擔保充用ニ關スル件（明四二、法八）……二八五
○政府ニ納ムヘキ保證金其ノ他ノ擔保ニ充用スル國債等ノ價格ニ關スル件（明四二、勅二八七）……二八五
○政府ニ對スル保證金其ノ他ノ擔保ニ供シタル國債ノ買入銷却ニ關スル件（明四二、法九）……二八五
○保證擔保充用國債證券受拂竝報告ノ件（明四一、內務大臣官房會計課長照會）……二八五
○保證擔保充用國債證券受拂竝報告表調製期間及樣式變更ノ件（大元、大藏大臣通牒）……二八六

第六節　出納官吏

○出納官吏事務規程（大一一、大令二）……二八六
○棒太廳出納員現金取扱規則（大二、勅令二）……二〇二
○出納官吏配置任命規程（大四、勅訓三〇）……二〇二
○陸海軍召集諸費出納官吏配置任命規程（大一五、訓令二二）……二〇三
○棒太廳郵便局出納員命免規程（大一五、訓令三三七）……二〇四

○收入官吏歲入歲出外現金出納ノ事務擧ノ件（明三七、大訓三）……三〇四
○出納官吏現金出納簿記帳方（明三五、大訓一〇）……三〇五
○棒太廳郵便局現金出納事務取扱細則（大一五、訓令二七八）……三〇八
○通信官署ノ取扱ニ係ル現金出納ニ於テ郵便爲替金ノ被詐取過超金ノ亡失等ノトキ報告樣式（大一一、會計檢查院部長通牒）……三一九

第七節　保管預金

○保管金規則（明三三、法二）……三一〇
○保管金取扱規程（大一一、大令五）……三一〇
○政府所有有價證券取扱規程（大一一、大令七）……三一六
○政府保管有價證券取扱規程（大一一、大令八）……三一九
○供託有價證券取扱規程（大一一、大令九）……三二五
○教員又ハ學藝技術奬勵費附金ノ保管出納ニ關スル件（明三三、勅三二九）……三三六
○預金部預金取扱規程（大一一、大令六）……三三六

第八節　供託

○供託法（明三三、法一五）……三五一
○供託物取扱規則（大一一、司令二）……三五三
○銀行ニ於テ爲ス供託法第一條ノ供託事務取扱ニ關スル件（大一一、司令四）……三六一

○供託金利息（大一一、司令三）……三六八

第九節　物品會計

○物品會計規則（明三二、勅八四）……三六八
○樣本廳物品取扱細則（明四〇、訓七四）……三七〇
○樣本廳營繕部務所物品會計事務規程（大一四、訓令一二五）……三七二

第十節　官有財産

○樣本官有財産管理規則（明四四、勅二八九）……三七六
○樣本廳所管官有財産取扱規程（大三、訓一六）……三七八
○官有建物貸付規則（明四〇、勅令三四）……三九一
○官舍貸渡規則（明四〇、訓一四三）……三九二

第十一節　檢查證明

○出納官吏檢查規程（明三五、大訓三〇）……三九三
○檢查員休日又ハ退廳後臨檢檢查方（明三五、大訓三五）……三九四
○會計檢查規程（明四〇、勅訓一三六）……三九四
○計算證明規程（大一一、會計檢查院達一）……三九六
○計算證明ニ關スル件（大一一、會計檢查院長通牒）……四九七
○物品及歳入歳出外現金出納計算ノ檢查委託及委託檢查取扱順序（大三、會計檢查院長通達）……五一六
○郵便局出納官吏ノ出納計算ニ對スル檢查等委託ニ關スル件（大一、會計檢查院長通牒）……五一七

（大四、會計檢查院長通達）……五一七
○物品出納計算ノ檢查中工事材料品證明ニ關スル件（大三、會計檢查院部長問答）……五一七
○委託檢查ニ係ル各出納官吏ノ計算證明ニ對シ部司ニ於テ交付省略方ノ件（大六、會計檢查院長問答）……五一八
○歳入徴收額計算書調製方ノ件（大四、會計檢查院長問答）……五一八
○諸計算書類保存期間ノ件（明四四、會計檢查院長通牒）……五一八
○會計ニ關スル規定、通牒等疑義方ノ件（明四五、會計檢查院部長照會）……五一九
○補助ヲ受ケル會社ノ收支證明ニ關スル件（大五、會計檢查院部長通牒）……五一九
○物品檢查ニ關スル件（大五、訓四）……五二〇
○税關物品檢查委託ノ件（大三、大蔵大臣達）……五二〇
○物品出納證明ニ關スル件（大五、會計檢查院長問答）……五二一

第二章　租税

第一節　租税

○樽太ニ於ケル租税ニ關スル件（明四〇、法二）……五二二
○樽太ニ於ケル租税ノ種類及課率（明二、閣令三）……五二二
○樽太市街宅地地租規則（大一〇、勅令二）……五二三
○樽太市街宅地地租規則施行細則（大一〇、訓一九）……五二五

○市街宅地地等級（大九、告示一四八參）……五二七
○市街宅地地等級ノ等級（大一〇、告示五九）……五二七
○所得税法ノ施行ニ關スル件（大九、法一二）……五三七
○樽太所得税令（大一一、勅三〇二）……五三八
○樽太廳所得税令施行規則（大一一、廳令四一）……五四七
○樽太綫業收益税規則（昭二、廳令二二）……五六〇
○樽太綫業收益税規則施行細則（昭二、訓令五二四）……五六五
○樽太綫業收益税規則及樽太所得税令施行規則ニ依ル樽太廳支廳ノ交附スベキ檢查票樣式（大一一、廳令四七）……五七三
○樽太酒造税規則（大一〇、廳令一九）……五七三
○樽太酒造税規則施行細則（大一〇、廳訓二五）……五八〇
○酒造檢查ニ關スル件（大五、主八六通牒）……五八六
○樽太酒類綫業税免除分ニ關スル件（大六、主一四三通牒）……五八七
○樽太酒類製造綫業税規則事務取扱ニ關スル件（大六、主二三六通牒）……五八七
○清酒歩合及移入酒類調查ノ件（大九、財一〇一四通牒）……五八八
○樽太漁業税規則（昭二、廳令三三）……五八八
○樽太漁業税規則施行細則（昭二、訓令三四）……五九一
○樽太酒類出港税法（大元、法二）……五九四
○樽太酒類出港税法施行規則（大元、勅九）……五九五
○樽太酒類出港税法施行規則取扱手續（大元、廳訓五）……五九五
○樽太酒類出港税法及間接國税犯則者處分法ニ依ル樽太廳支廳收税官吏ノ携帶スル證票樣式（大元、廳令）……五九八

○内地、朝鮮、臺灣又ハ樽太ト南洋群島トノ間ニ於ケル船舶及貨物ノ出入ニ關スル件（大一一、法五〇）……六二〇
○木材流送ニ關スル水面使用料徴收規程（昭四、廳令九）……六二一

七……五九八
○樽太酒類出港税法施行規則第四條ニ依ル船舶免狀ノ樣式（大元、廳令六）……五九八
○工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料税法（明三九、法四六）……五九九
○工業用酒精酒類其ノ他酒精含有飲料税法施行規則（明三九、勅八六）……六〇〇
○骨牌税法（明三五、法四四）……六〇三
○登録税法ノ一部ヲ樽太ニ施行スルノ件（大二〇、勅一七二）……六〇四
○登録税法（抄錄）（明二九、法二七）……六〇五
○印紙税法（明三二、法五四）……六一四
○印紙税法ニ依ル税印科綜請求方ノ件（大九、廳令二二）……六一六
○印紙税法不適用ノ法律（抄錄）……六一七
○印紙貼用帳簿書類檢查規程（大五、廳訓四四）……六一七
○砂糖消費税法（明四三、法九）……六一九
○内地、臺灣又ハ樽太ヨリ朝鮮ニ移出スル物品ノ内國税免除ニ關スル件（大九、法五二）……六二〇
○大正九年法律第五十一號施行ニ關スル件（大九、勅三一）……六二〇

○輸入稅ノ從價稅率ニ關スル件〔昭七、法律第四號〕……六二一

第二節　租稅徵收

○國稅徵收法ヲ樺太ニ施行ノ件〔大八、勅三六七等〕……六二四
○國稅徵收法〔明三〇、法二一〕……六二四
○國稅徵收施行規則〔明三五、勅一三五〕……六二八
○樺太ノ町村ニ於テ徵收スヘキ國稅ニ關スル件〔大一一、勅五四〕……六三二
○町村ニ於テ徵收スル國稅事務取扱方ノ件〔大一一、廳訓五八〕……六三二
○樺太ニ於ケル租稅ノ賦課徵收ニ關スル件〔大一一、廳令二三〕……六三八
○樺太租稅徵收規則〔大五、廳令一八〕……六三八
○租稅徵收事務ニ關スル諸帳簿調製方ニ關スル件〔大一一、廳訓五〇〕……六五二
○鑛業稅及砂鑛區稅賦課徵收ニ關スル取扱手續〔大一一、廳訓五六〕……六五四
○砂糖消費稅綿物消費稅等ノ徵收ニ關スル件〔明四四、法四五〕……六五七
○樺太ニ於テ徵收スル租稅ノ督促手數料及延滯金等ニ關スル件〔大五、勅一二一〕……六五七
○租稅其ノ他ノ收入徵收處分嘱託ニ關スル件〔明四〇、法三四〕……六五七
○租稅其ノ他ノ收入徵收處分嘱託竝受託ニ關スル件〔明四〇、樺長七七通牒〕……六五八
○明治四十年法律第三十四號ニ基キ領收シタル稅金ノ收入整理方〔大八、財二八五一通牒〕……六五八
○租稅其ノ他ノ收入徵收處分嘱託ニ關スル費用ノ件〔明四〇、內務省地甲二九通牒〕……六五九
○租稅其ノ他ノ收入徵收嘱託ノ場合ニ於ケル督促手數料ニ關スル件〔明四〇、內務大臣官房回答〕……六五九
○明治四十年法律第三十四號適用ニ關スル件〔明四二、內務省地甲一四通牒〕……六六〇
○租稅ノ賦課徵收等ノ爲出張スル職員ノ手帳ニ關スル件〔大五、訓一四〇〕……六六〇

第三節　犯則處分

○間接國稅犯則者處分法〔明三三、法六七〕……六六一
○間接國稅犯則者處分法施行規則〔明三三、勅五二〕……六六三
○間接國稅犯則者處分取扱規程〔大五、廳訓四五〕……六六四
○法人ニ於テ租稅ニ關シ事犯アリタル場合處罰ノ件〔明三三、法五二〕……六七六

〔樺法〕

第九類　財務

第一章　會計

第一節　通則

●會計法

大正十年四月八日
法律第四十二號

沿革　帝國議會ノ協賛ヲ經タル會計法改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム（各、大臣副署）

會計法

第一章　總則

第一條　政府ノ會計年度ハ每年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

一會計年度所屬ノ歲入歲出ノ出納ニ關スル事務ハ翌年度七月三十一日迄ニ悉皆完結スヘシ

第二條　租稅其ノ他一切ノ收納ヲ歲入トシ一切ノ經費ヲ歲出トシ歲入歲出ハ之ヲ總豫算ニ編入スヘシ

第三條　每會計年度ニ於ケル經費ノ定額ハ其ノ年度ノ歲入ヲ以テ之ヲ支辨スヘシ

第四條　各官廳ニ於テハ法律勅令ヲ以テ規定シタルモノヲ除クノ外特別ノ資金ヲ有スルコトヲ得ス

第五條　政府ハ日本銀行ヲシテ國庫金出納ノ事務ヲ取扱ハシム

前項ノ規定ニ依リ日本銀行ニ於テ受入レタル國庫金ハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府ノ預金トス

第六條　政府ハ國庫金出納上必要アルトキハ大藏省證券ヲ發行シ又ハ日本銀行ヨリ借入ヲ爲スコトヲ得

大藏省證券及借入金ハ當該年度ノ歲入ヲ以テ之ヲ償還スヘシ

大藏省證券及借入金ノ最高額ハ每年度帝國議會ノ協賛ヲ經テ之ヲ定ム

第二章　豫算

第七條　歲入歲出ノ總豫算ハ前年ノ帝國議會集會ノ始ニ於テ之ヲ提出スヘシ

必要避クヘカラサル經費及法律又ハ契約ニ基ク經費ニ不足ヲ生シタル場合ヲ除クノ外追加豫算ヲ提出スルコトヲ得ス

第八條　歲入歲出ノ總豫算ハ經常臨時ノ二部ニ大別シ各部中ニ於テ之ヲ款項ニ區分スヘシ

總豫算ニハ帝國議會參考ノ爲ニ左ノ文書ヲ添附スヘシ

一　歲入豫算明細書

二　各省ノ豫算經費要求書但シ各項中各目ノ明細ヲ記入スヘシ

第九條　豫算中ニ設クヘキ豫備費ハ左ノ二項ニ分ツ

第一豫備金

第二豫備金

第一豫備金ハ避クヘカラサル豫算ノ不足ヲ補フモノトス

第二豫備金ハ豫算外ニ生シタル必要ノ費用ニ充ツルモノトス

第十條　豫備金ヲ以テ支辨シタルモノハ其ノ第一豫備金支出ニ係ルモノハ年度經過後最ノ第二豫備金支出ニ係ルモノハ次ノ常會ニ於テ帝國議

會ニ提出シ其ノ承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第十一條　政府ハ豫算ニ定ムルモノ及特ニ帝國議會ノ協賛ヲ經タル事由アル場合ニ於テハ豐年ト雖モ帝國議會ノ協賛ヲ經テ之ヲ定ムルモノトス

第十二條　租稅其ノ他ノ歲入ハ法令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ徵收又ハ收納スルコトヲ得ヘキ金額ハ每年度

第三章　收入

帝國議會ノ協賛ヲ經テ之ヲ定ムル豫算ノ範圍內ニ於テ每年度ニ在ラス

第十三條　各年度ニ於テ決定シタル經費ノ定額ヲ以テ他ノ年度ニ屬スヘキ經費ニ充ツルコトヲ得ス

第四章　支出

第十四條　國務大臣ハ其ノ所管ニ屬スル收入ヲ國庫ニ納ムヘシ直ニ之ヲ使用スルコトヲ得ス

第十五條　國務大臣其ノ所管定額ヲ支出セムトスルトキハ現金ノ收入ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

帝國議會ノ協賛ヲ經テ之ヲ定ムル豫算ノ範圍內ニ於テ每年度ニ在ラス

第十六條　國務大臣ハ特殊ノ經理ヲ必要トスル場合ニ限リ勅令ノ定ムル所ニ依リ各廳事務費ノ全部又ハ一部ヲ主務官吏ニ對シ渡切ヲ以テ支拂ヒタル經費ノ殘餘ヲ翌年度ニ繰越使用スルコトヲ得

第十七條　國務大臣ハ勅令ヲ以テ定ムル所ニ依リ各廳事務費ノ全部又ハ一部ヲ主務官吏ニ對シ渡切ヲ以テ支拂ヒタル經費ノ殘餘ヲ翌年度ニ繰越使用スルコトヲ得ス但シ第十三條ノ規定ニ依リ繼續費ノ年割額ヲ支拂フ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第十八條　國務大臣ハ日本銀行ニ命シ國庫ノ元利拂ヲ爲サシムル爲之カ資金ヲ當該官吏ニ交付スルコトヲ得

第十九條　國務大臣ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ現金ヲ支拂ヲ爲サシムル爲之カ資金ヲ當該官吏ニ交付スルコトヲ得

第二十條　國務大臣ハ地方ニ支拂ヲ爲サシムトスルトキハ必要ナル資金ヲ日本銀行ニ交付シ之カ支拂ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十一條　國務大臣ハ勅令ヲ以テ定メタル場合ニ限リ前金拂又ハ概算拂ヲ爲スコトヲ得但シ軍艦、兵器、彈藥若ハ外國ヨリ直接ニ物件ノ製造若ハ買入又ハ工事ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十二條　國務大臣ハ特殊ノ經理ヲ必要トスル場合ニ限リ勅令ノ定ムル所ニ依リ各廳事務費ノ全部又ハ一部ヲ主務官吏ニ對シ渡切ヲ以テ支拂ヒタル經費ノ殘餘ヲ翌年度ニ繰越使用スルコトヲ得ス但シ第十三條ノ規定ニ依リ繼續費ノ年割額ヲ支拂フ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第二十三條　會計檢査院ノ檢査ヲ經テ政府ハ帝國議會ニ提出スヘシ歲入歲出ノ總決算ハ翌年開會ノ常會ニ於テ帝國議會ニ之ヲ提出スヘシ

第二十四條　總決算ハ總豫算ト同一ノ樣式ヲ用ヰ左ノ事項ノ計算ヲ明記スヘシ

一　歲入歲出ノ部
　歲入豫算額
　調定濟歲入額
　收入濟歲入額
　不納缺損額
　收入未濟歲入額
二　歲出ノ部
　歲出豫算額
　豫算決定後增加歲出額
　支出濟歲出額
　翌年度繰越額
　不用額

第二十五條　總決算ニハ會計檢査院ノ檢査報告ト倶ニ左ノ文書ヲ添附スヘシ

一　歲入決算明細書
二　各省決算報告書
三　國債計算書

給スルコトヲ得

第五章　決算

第二十六條　各年度ニ於テ歲計ニ剩餘アルトキハ其ノ翌年度ノ歲入ニ繰入ルヘシ

第二十七條　豫算ニ於テ特ニ明記シタルモノ及一年度內ニ終ルヘキ工事製造又ハ物品ノ買入若ハ運搬ニシテ運ク〳〵カラサル事故ノ爲ニ竣功又ハ納入若ハ運搬ヲ遲延シ年度內ニ其ノ經費ノ支出ヲ終ラサリシモノハ之ヲ翌年度ニ繰越シ使用スルコトヲ得

第二十八條　數年ヲ期シテ竣功スヘキ工事製造其ノ他ノ事業ニシテ總額ヲ定メタルモノハ每年度ノ支出額ヲ竣功年度迄通次繰越シ使用スルコトヲ得

第二十九條　過年度ニ屬スル經費ハ現年度定額ヨリ支出スヘシ但シ豫備金ヲ以テ補充シ得ヘキモノヲ除ク外其ノ經費所屬年度ノ每項定額中不用ト爲リタル金額ヲ超過スルコトヲ得ス

第三十條　出納ノ完結シタル年度ニ屬スル收入其ノ他豫算外ノ收入ハ總テ現年度ノ歲入ニ組入ルヘシ但シ支出濟歲出ノ返納金ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ各〻之ヲ支拂ヒタル經費ノ定額ニ戾入ルコトヲ得

第七章　契約

第三十一條　政府ニ於テ買貸借請負其ノ他ノ契約ヲ爲サムトスルトキハ勅令ヲ以テ定メタル場合ヲ除ク外總テ公告シテ競爭ニ付スヘシ

國務大臣前項ノ方法ニ依リ契約ヲ爲スヲ不利ト認ムル場合ニ於テハ指名競爭ニ付シ又ハ隨意契約ニ依ルコトヲ得但シ不動產拂ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第八章　時效

第三十二條　金錢ノ給付ヲ目的トスル政府ノ權利ニシテ時效ニ關シ他ノ法律ニ規定ナキトキハ五年間之ヲ行ハサルニ因リテ消滅ス政府ニ對スル權利ニシテ金錢ノ給付ヲ目的トスルモノニ付亦同シ

第三十三條　金錢ノ給付ヲ目的トスル政府ノ權利ニ付消滅時效ノ中斷停止其ノ他ノ事項ニ關シ適用スヘキ他ノ法律ノ規定ナキトキハ民法ノ規定ヲ準用ス政府ニ對スル權利ニシテ金錢ノ給付ヲ目的トスルモノニ付亦同シ

第三十四條　法令ノ規定ニ依リ政府ノ爲ス納入ノ告知ハ民法第百五十三條ノ規定ニ拘ラス時效中斷ノ效力ヲ有ス

第九章　出納官吏

第三十五條　出納官吏ハ法令ノ定ムル所ニ依リ現金又ハ物品ヲ出納保管スヘシ

出納官吏ハ其ノ出納保管ニ係ル現金又ハ物品ニ付一切ノ責任ヲ負ヒ會計檢査院ノ檢査判決ヲ受クヘシ

第三十六條　出納官吏其ノ保管ニ係ル現金又ハ物品ヲ亡失毀損シタルトキハ善良ナル管理者ノ注意ヲ怠ラサリシコトヲ會計檢査院ニ證明シ責任解除ノ判決ヲ受クルニ非サレハ其ノ亡失毀損ニ付辨償ノ責ヲ免ルルコトヲ得ス

第三十七條　國務大臣ハ特ニ必要アル場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ各廳ノ事務員ヲシテ現金又ハ物品ノ出納保管ヲ分掌セシムルコトヲ得

出納官吏ニ關スル規定ハ前項ノ事務員ニ付之ヲ準用ス

第三十八條　第十五條ニ定メタル小切手振出ノ職務ハ現金出納ノ職務ト相兼ヌルコトヲ得ス

第十章　雜則

第三十九條　特別ノ須要ニ因リ本法ニ準據シ難キモノアルトキハ特別會計ヲ設置スルコトヲ得

特別會計ヲ設置スルハ法律ヲ以テ之ヲ定ムヘシ

第四十條　政府ハ其ノ所有又ハ保管ニ係ル有價證券ノ取扱ヲ日本銀行ニ命スルコトヲ得

第四十一條　日本銀行ハ其ノ取扱ヒタル國庫金ノ出納、國債ノ發行ニ依ル收入金ノ收支、第十八條又ハ第二十條ノ規定ニ依リ交付ヲ受ケタル資金ノ收支及前條ノ規定ニ依リ取扱ヒタル有價證券ノ受拂ニ關シ會計檢査院ノ檢査ヲ受クヘシ

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム　（大正十年勅令第四百八十六號ヲ以テ大正十一年四月一日ヨリ施行）

明治二十七年法律第十六號、明治三十三年法律第五十號及明治四十四年法律第二十四號ハ之ヲ廢止ス

本法施行前ニ爲シタル第二豫備金ノ支出竝本法施行ノ日ノ屬スル年度ノ前年度及前々年度ノ決算ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

本法施行前ニ期滿免除ト爲ラサル權利ニ付テハ本法其ノ他ノ法律中時效ニ關スル規定ヲ適用ス但シ其ノ期間ノ起算點ニ付テハ從前ノ規定ニ依ル

本法施行前ニ進行ヲ始メタル期滿免除ノ期間カ本法其ノ他ノ法律ニ定メタル時效ノ期間ヨリ長キトキハ從前ノ規定ニ依ル但シ其ノ殘期カ本法施行ノ日ヨリ起算シ本法其ノ他ノ法律ニ定メタル時效ノ期間ヨリ長キトキハ其ノ日ヨリ起算シ本法其ノ他ノ法律ニ定メタル時效ノ期間ヨリ長キトキハ前三項ニ規定スルモノヲ除クノ外本法ノ施行ニ關シ必要ナル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔棒法〕

會計規則

大正十一年一月九日
勅令第一號

改正　昭七年六月勅令一〇〇號、八年一二月三三〇號

朕會計規則改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム（各、大臣副署）

會計規則

第一章　總則

第一節　會計年度所屬區分

第一條　歲入ノ年度所屬ハ左ノ區分ニ依ル

一　納期ノ一定シタル收入ハ其ノ納期末日ノ屬スル年度

二　隨時ノ收入ニシテ納入ノ告知書ヲ發スルモノハ納入ノ告知書ヲ發シタル日ノ屬スル年度

三　隨時ノ收入ニシテ納入ノ告知書ヲ發セサルモノハ領收ヲ爲シタル日ノ屬スル年度

第二條　歲出ノ年度所屬ハ左ノ區分ニ依ル

一　國債ノ元利、年金、恩給ノ類ハ支拂期日ノ屬スル年度

二　諸拂戻金、缺損補塡金、償還金ノ類ハ其ノ決定ヲ爲シタル日ノ屬スル年度

三　俸給、給料、手當、旅費、手數料ノ類ハ其ノ支給スヘキ事實ノ生シタル時ノ屬スル年度

四　使用料、保管料、電燈電力料ノ類ハ其ノ支拂ノ原因タル事實ノ存シタル期間ノ屬スル年度

五　工事製造費、物件ノ購入代價、運賃ノ類ハ其ノ支拂ヲ爲スヘキ日ノ屬スル年度

六　前各號ニ該當セサル費用ニシテ繰替拂ヲ爲シタルモノハ其ノ繰替拂ヲ爲シタル日ノ屬スル年度、其ノ他ノモノハ小切手ヲ振出シタル日ノ屬スル年度

第二節　國庫金ノ出納

第三條　日本銀行ハ本令ニ依ルノ外大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ國庫金出納ノ事務ヲ取扱フヘシ

日本銀行ニ於テ受入レタル國庫金ハ政府預金トシ其ノ種別及受拂ニ關スル事項ハ大藏大臣之ヲ定ム

第四條　政府預金ニハ大藏大臣ノ特ニ定ムルモノニ限リ相當ノ利子ヲ附セシム

第五條　每年度所屬歲入金ヲ日本銀行ニ於テ受入ルルハ翌年度四月三十日限トス但シ左ニ揭クルノ場合ニ於テハ翌年度五月三十一日迄之カ受入ヲ爲スコトヲ得

一　出納官吏ヨリ其ノ領收シタル歲入金ノ拂込アリタルトキ

二　市町村又ハ之ニ準スヘキモノヨリ其ノ收納シタル歲入金ノ送付アリタルトキ

三　國庫內ニ於テ移換ニ依ル歲入金ノ受入ヲ爲ストキ

每年度所屬歲出金ヲ日本銀行ニ於テ支拂フハ翌年度五月三十一日限ト

〔棒法〕

第二十三條　由及計算ノ基ク所ヲ明ニシタル書類ヲ添ヘシノ之ヲ會計檢査院ニ通知シ且ツ其ノ事項及金額ヲ歲計豫算ニ掲載スヘシ

第二十四條　第二豫備金ヨリ支出ノ勅裁アリタルトキハ大藏大臣ハ會計檢査院ニ通知シ且ツ其ノ事項及金額ヲ歲計豫算ニ掲載スヘシ

第二十五條　第一豫備金ヨリ支出ノ總計算ハ各省大臣ノ歲入歲出總計算ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第二十六條　各省大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ計算書ヲ調製シ翌年度八月三十一日迄ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第二十七條　大藏大臣ハ各省大臣ノ計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第二十八條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第二十九條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第三十條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第三十一條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第三十二條　各省大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第三十三條　各省大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第三十四條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第三十五條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第三十六條　大藏大臣ハ各省大臣ノ計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第三十七條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第三十八條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第三十九條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四十條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四十一條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四十二條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四十三條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四十四條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四十五條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四十六條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四十七條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四十八條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四十九條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第五十條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第五十一條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第五十二條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第五十三條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第五十四條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第五十五條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第五十六條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第五十七條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第五十八條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第五十九條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第六十條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第二十三條　由及計算ノ基ク所ヲ明ニシタル書類ヲ添ヘシノ之ヲ會計檢査院ニ通知シ且ツ其ノ事項及金額ヲ歲計豫算ニ掲載スヘシ

第二十四條　第一豫備金ヨリ支出ノ勅裁アリタルトキハ大藏大臣ハ會計檢査院ニ通知シ且ツ其ノ事項及金額ヲ歲計豫算ニ掲載スヘシ

第二十五條　第二豫備金ヨリ支出ノ勅裁アリタルトキハ大藏大臣ハ會計檢査院ニ通知シ且ツ其ノ事項及金額ヲ歲計豫算ニ掲載スヘシ

第二十六條　各省大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ計算書ヲ調製シ翌年度八月三十一日迄ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第二十七條　大藏大臣ハ各省大臣ノ計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第二十八條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第二十九條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第三十條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第三十一條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第三十二條　各省大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第三十三條　各省大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第三十四條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第三十五條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第三十六條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第三十七條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第三十八條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第三十九條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四十條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四十一條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四十二條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四十三條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四十四條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四十五條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四十六條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四十七條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四十八條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四十九條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第五十條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第五十一條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第五十二條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第五十三條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第五十四條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第五十五條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第五十六條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第五十七條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第五十八條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第五十九條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第六十條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第二十三條　由及計算ノ基ク所ヲ明ニシタル書類ヲ添ヘシノ之ヲ會計檢査院ニ通知シ且ツ其ノ事項及金額ヲ歲計豫算ニ掲載スヘシ

第二十四條　第一豫備金ヨリ支出ノ勅裁アリタルトキハ大藏大臣ハ會計檢査院ニ通知シ且ツ其ノ事項及金額ヲ歲計豫算ニ掲載スヘシ

第二十五條　第二豫備金ヨリ支出ノ勅裁アリタルトキハ大藏大臣ハ會計檢査院ニ通知シ且ツ其ノ事項及金額ヲ歲計豫算ニ掲載スヘシ

第二十六條　各省大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ計算書ヲ調製シ翌年度八月三十一日迄ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第二十七條　大藏大臣ハ各省大臣ノ計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第二十八條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第二十九條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第三十條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第三十一條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第三十二條　各省大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第三十三條　各省大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第三十四條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第三十五條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第三十六條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第三十七條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第三十八條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第三十九條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四十條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四十一條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四十二條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四十三條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四十四條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四十五條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四十六條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四十七條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四十八條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四十九條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第五十條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第五十一條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第五十二條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第五十三條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第五十四條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第五十五條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第五十六條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第五十七條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第五十八條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第五十九條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第六十條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第二十三條　由及計算ノ基ク所ヲ明ニシタル書類ヲ添ヘシノ之ヲ會計檢査院ニ通知シ且ツ其ノ事項及金額ヲ歲計豫算ニ掲載スヘシ

第二十四條　第一豫備金ヨリ支出ノ勅裁アリタルトキハ大藏大臣ハ會計檢査院ニ通知シ且ツ其ノ事項及金額ヲ歲計豫算ニ掲載スヘシ

第二十五條　第二豫備金ヨリ支出ノ勅裁アリタルトキハ大藏大臣ハ會計檢査院ニ通知シ且ツ其ノ事項及金額ヲ歲計豫算ニ掲載スヘシ

第二十六條　各省大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ計算書ヲ調製シ翌年度八月三十一日迄ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第二十七條　大藏大臣ハ各省大臣ノ計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第二十八條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第二十九條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第三十條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第三十一條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第三十二條　各省大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第三十三條　各省大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第三十四條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第三十五條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第三十六條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第三十七條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第三十八條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第三十九條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四十條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四十一條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四十二條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四十三條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四十四條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四十五條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四十六條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四十七條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四十八條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四十九條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第五十條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第五十一條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第五十二條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第五十三條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第五十四條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第五十五條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第五十六條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第五十七條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第五十八條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第五十九條　大藏大臣ハ第二豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第六十條　大藏大臣ハ第一豫備金ヨリ支出ノ總計算書ヲ調製シ翌年度帝國議會ノ開會後直ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第三十四條　出納官吏又ハ出納員ノ收納シタル現金ハ出納官吏之ヲ日本銀行ニ拂込ムヘシ

第三十五條　日本銀行ニ於テ歲入金ヲ收納シ又ハ歲入金ノ拂込ヲ受ケタルトキハ領收證書ヲ納入人又ハ拂込人ニ交付シ領收濟ノ旨ヲ歲入徵收官ニ報告スヘシ

第三十六條　每年度所屬歲入金ヲ出納官吏又ハ出納員ニ於テ收納スルハ翌年度四月三十日限トス

第三節　報告

第三十七條　歲入徵收官ハ每月徵收報告書ヲ調製シ參照書類ヲ添ヘ之ヲ歲入事務管理廳ニ送付スヘシ

第三十八條　歲入事務管理廳ハ徵收報告書ニ依リ每月徵收總報告書ヲ調製シ參照書類ヲ添ヘ其ノ翌月中ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第四章　支出

第一節　總則

第三十九條　勅令ヲ以テ指定シタル費途ニ對シテハ大藏大臣ノ承認ヲ經ルニ非サレハ之ニ他ノ費途ノ金額ヲ流用スルコトヲ得ス

大藏大臣前項ノ承認ヲ爲シタルトキハ之ヲ會計檢査院ニ通知スヘシ

第四十條　豫備金ヲ以テ補充シ得ヘキ費途及豫備金ヲ以テ支辨スル費途ノ金額ハ他ノ費途ニ流用スルコトヲ得ス

第四十一條　各省大臣他ノ官吏ヲシテ其ノ所管定額ノ支出ヲ爲サシメムトスルトキハ支拂豫算ヲ定メテ之ヲ委任スヘシ

第四十二條　支出官ニ事故アルトキハ各省大臣ハ臨時他ノ官吏ヲシテ其ノ事務ヲ代理セシムルコトヲ得

第四十三條　本章ノ規定ハ小切手法ノ適用ヲ妨ケス

第二節　小切手ノ振出

第四十四條　支出官ハ小切手振出前其ノ經費ハ豫算ノ目的ニ違フコトナキカヲ調査シ該經費ノ金額ヲ算定シ且該經費ハ支拂豫算額ニ超過スルコトナキカ、所屬年度及支出科目ヲ誤ルコトナキカヲ調査スヘシ

第四十五條　支出官ハ其ノ振出ス小切手ニ受取人ノ氏名、金額、年度、支出科目、番號其ノ他必要ナル事項ヲ記載スヘシ

第四十六條　小切手ハ一項每ニ之ヲ振出スヘシ

第四十七條　支出官ノ振出ス小切手ハ大藏大臣ノ特ニ定ムル場合ヲ除ク外之ヲ記名式持參人拂ト爲スヘシ

第四十八條　支出官隔地ノ債主ニ支拂ヲ要スルトキハ支拂場所ヲ指定シ日本銀行ニ之カ資金ヲ交付シ其ノ旨ヲ債主ニ通知スヘシ

前項ノ規定ハ隔地ノ出納官吏ニ資金ヲ交付スル場合ニ之ヲ準用ス

第四十九條　支出官小切手ヲ振出シタルトキハ其ノ都度之ヲ日本銀行ニ通知スヘシ

第五十條　每年度ニ屬スル經費ヲ精算シテ小切手ヲ振出スハ翌年度四月三十日限トス但シ國庫內ニ於ケル移換ノ爲ニスル支出又ハ會計法第十九條ノ規定ニ依リ歲出金ニ繰替使用シタル現金補塡ノ爲ニスル支出ニ付テハ翌年度五月三十一日迄小切手ヲ振出スコトヲ得

第三節　支拂

第五十一條　小切手ノ呈示アリタルトキハ日本銀行ハ其ノ小切手カ法令ニ違フコトナキカ、券面金額カ支拂豫算各項定額ノ殘高ニ超過スルコトナキカヲ調査シ之カ支拂ヲ爲スヘシ

〔棒法〕

前項ノ小切手ニシテ其ノ振出日附ヨリ十日ヲ經過シタルモノト雖一年ヲ經過セサル場合ニ於テハ之カ支拂ヲ爲スヘシ

第五十二條　日本銀行第四十八條ノ規定ニ依リ資金ノ交付ヲ受ケタル場合ニ於テ其ノ小切手ノ振出日附ヨリ一年ヲ經過シタルトキハ債主又ハ出納官吏ニ對シ之カ支拂ヲ爲スコトヲ得ス

第五十三條　每年度小切手振出濟金額中翌年度五月三十一日迄ニ支拂ヲ了セサル金額ニ相當スル資金ハ會計法第二十六條ノ歲計剩餘ニ組入レス之ヲ繰越整理スヘシ

第五十四條　前條ノ規定ニ依リ繰越シタル資金中小切手振出日附ヨリ一年ヲ經過シ未タ其ノ支拂ヲ了セサル金額ニ相當スルモノハ之ヲ其ノ期間滿了ノ日ノ屬スル年度ノ歲入ニ組入ルヘシ

前項ノ規定ハ日本銀行第五十二條ノ場合ニ於テ支拂ヲ了セサル金額ニ相當スル資金ノ返納ニ付之ヲ準用ス

第五十五條　支出官小切手ノ所持人ヨリ償還ノ請求ヲ受ケタル場合ニ於テハ之ヲ調査シ償還スヘキモノト認ムルトキハ事由ヲ具シ證憑書類ヲ添ヘ之ヲ所管大臣ニ提出シ所管大臣ハ審査ノ上之カ支拂ヲ大藏大臣ニ請求スヘシ

第五十六條　前條ノ規定ハ支出官第五十二條ノ場合ニ於テ其ノ支拂ヲ受ケサル債主又ハ出納官吏ヨリ更ニ支拂ノ請求ヲ受ケタル場合ニ之ヲ準用ス

第四節　資金前渡、前金拂、概算拂及渡切經費

第五十七條　會計法第十七條ノ規定ニ依リ主任ノ官吏ヲシテ現金支拂ヲ爲サシムル爲其ノ資金ヲ當該官吏ニ前渡スルハ左ニ揭クル經費ニ限ル

一　陸軍ノ軍隊、學校及病院竝海軍ノ部隊、學校、病院及艦船ニ屬スル經費

二　陸海軍ノ行軍又ハ演習ニ要スル經費

三　陸軍ニ於テ馬匹又ハ飛秣ヲ生產者ヨリ直接購入スル場合ニ要スル經費

四　官船ニ屬スル經費

五　外國ニ於テ支拂ヲ爲ス經費

六　運輸通信ノ不便ナル地方ニ於テ支拂ヲ爲ス經費

七　廳中常用ノ雜費及旅費但シ一年ノ總額五千圓ヲ超ユルコトヲ得ス

八　場所ノ一定セサル事務所ノ經費

九　各廳直營ノ工事、製造又ハ造林ニ要スル經費但シ一主任官ニ付常時五萬圓ヲ超ユルコトヲ得ス

十　監獄作業賃與金

十一　囚人及刑事被告人押送費

十二　證人、鑑定人、通事又ハ參考人ニ支給スル旅費其ノ他ノ給與

第五十八條　前條ノ規定ニ依リ資金ヲ前渡スルハ左ノ區分ニ依ル

一　常時ノ費用ニ係ルモノハ每一月分以內ノ費額ヲ豫定シテ交付スヘシ但シ外國ニ於テ支拂ヲ爲ス經費、運輸通信ノ不便ナル地方ニ於テ支拂ヲ爲ス經費又ハ支拂場所ノ一定セサル經費ハ事務ノ必要ニ依リ六月分以內ヲ交付スルコトヲ得

二　隨時ノ費用ニ係ルモノハ所要ノ費額ヲ豫定シテ事務上差支ナキ限リ成ルヘク分割シテ交付スヘシ

第五十九條　會計法第二十一條ノ規定ニ依リ前金拂ヲ爲シ得ルハ左ニ揭

〔棒法〕

クル經費ニ限ル但シ第九號乃至第十三號ニ揭クル經費ニ付テハ所管大臣大藏大臣ト協議スルコトヲ要ス

一　軍艦、兵器又ハ彈藥ノ代價
二　外國ヨリ直接購入スル機械又ハ圖書ノ代價
三　朝鮮、臺灣、樺太、關東州又ハ南洋群島內ニ居住スル者ニ支給スル徵兵旅費
四　運賃
五　外國ニ於テ支拂ヲ要スル土地又ハ家屋ノ借料及公課
六　政府ノ買收又ハ收用ニ係ル土地ノ上ニ存スル物件ノ移轉料
七　官公署ニ對シ支拂フヘキ經費
八　外國ニ於テ研究又ハ調査ニ從事スル者ニ支給スル學資金其ノ他ノ給與
九　交通至難ノ場所ニ勤務スル者又ハ艦船乘組ノ者ニ支給スル俸給其ノ他ノ給與
十　軍人、軍屬及陸海軍ノ職工ニ支給スル旅費
十一　外國在勤陸海軍武官ニ支給スル俸給其ノ他ノ給與
十二　補助金
十三　諸謝金

第六十條　會計法第二十一條ノ規定ニ依リ概算拂ヲ爲シ得ルハ左ニ揭クル經費ニ限ル但シ第三號ニ揭クル經費ニ付テハ所管大臣大藏大臣ト協議スルコトヲ要ス

一　旅費
二　官公署ニ對シ支拂フヘキ經費
三　補助金又ハ補給金

第六十一條　會計法第二十二條ノ規定ニ依リ事務費ノ全部又ハ一部ヲ主務官吏ニ對シ渡切ヲ以テ支給シ得ルハ左ニ揭クル官署ノ經費ニ限ル

一　在外各廳
二　遞信官署
三　區裁判所出張所
四　朝鮮、臺灣、樺太、關東州及南洋群島ニ於ケル官署

前項ノ官署ノ種類、渡切ト爲スヘキ歲出科目及支給方法ハ所管大臣大藏大臣ト協議シテ之ヲ定ム

第五節　繰替拂

第六十二條　各省大臣ハ左ニ揭クル經費ノ支拂ヲ爲サシムル爲出納官吏ヲシテ其ノ保管ニ係ル前渡ノ資金ヲ繰替使用セシムルコトヲ得但シ第四號ニ揭クル經費ニ繰替使用スヘキ資金ハ艦船經費繰替金ニ限ル

一　旅費
二　埋葬費
三　在外公館ニ於ケル難民貸與金
四　海軍省所管艦船經費

第六十三條　所管大臣ハ左ニ揭クル官署ノ出納官吏又ハ出納員ヲシテ其ノ取扱ニ係ル歲入金、歲出金及歲入歲出外現金ヲ交互ニ繰替使用セシムルコトヲ得

一　鐵道官署
二　遞信官署

前項ノ規定ニ依ル現金ノ繰替使用ニ關スル手續ハ所管大臣大藏大臣ト協議シテ之ヲ定ム

第六節　年度開始前支出

第六十四條　各省大臣ハ資金前渡ヲ爲シ得ル經費ニ限リ必要已ムヲ得サル場合ニ於テハ當該年度開始前之カ資金ヲ交付スルコトヲ得

第六十五條　前條ノ場合ニ於テハ各省大臣其ノ前渡ヲ要スル經費ヲ算定シ計算書ヲ調製シ之ヲ大藏大臣及會計檢査院ニ送付スヘシ

大藏大臣前項ノ計算書ノ送付ヲ受ケタルトキハ審査ノ上之ヲ日本銀行ニ通知スヘシ

第七節　報告

第六十六條　支出官ハ每月支出濟額報告書ヲ調製シ之ヲ所管大臣ニ送付スヘシ

第六十七條　所管大臣ハ支出濟額報告書ニ依リ每月支出總報告書ヲ調製シ支出濟額報告書ヲ添ヘ其ノ翌月中ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第五章　決算

第一節　總決算

第六十八條　歲入歲出總決算ハ總豫算ト同一ノ區分ニ依リ大藏大臣之ヲ調製スヘシ

第六十九條　大藏大臣ハ總決算ニ歲入決算明細書、各省決算報告書及國債計算書ヲ添ヘ會計檢査院ニ送付ノ手續ヲ爲スヘシ

第二節　歲入決算明細書

第七十條　大藏大臣ハ歲入豫算明細書ト同一ノ區分ニ依リ歲入決算明細書ヲ調製シ各項每ニ豫算ニ對スル增減ノ事由ヲ說明スヘシ

第七十一條　歲入事務管理廳ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ每年度收入濟

協議シテ之ヲ定ム

第六節　年度開始前支出

第六十四條　各省大臣ハ資金前渡ヲ爲シ得ル經費ニ限リ必要已ムヲ得サル場合ニ於テハ當該年度開始前之カ資金ヲ交付スルコトヲ得

第六十五條　前條ノ場合ニ於テハ各省大臣其ノ前渡ヲ要スル經費ヲ算定シ計算書ヲ調製シ之ヲ大藏大臣及會計檢査院ニ送付スヘシ

大藏大臣前項ノ計算書ノ送付ヲ受ケタルトキハ審査ノ上之ヲ日本銀行ニ通知スヘシ

第七節　報告

第六十六條　支出官ハ每月支出濟額報告書ヲ調製シ之ヲ所管大臣ニ送付スヘシ

第六十七條　所管大臣ハ支出濟額報告書ニ依リ每月支出總報告書ヲ調製シ支出濟額報告書ヲ添ヘ其ノ翌月中ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第五章　決算

第一節　總決算

第六十八條　歲入歲出總決算ハ總豫算ト同一ノ區分ニ依リ大藏大臣之ヲ調製スヘシ

第六十九條　大藏大臣ハ總決算ニ歲入決算明細書、各省決算報告書及國債計算書ヲ添ヘ會計檢査院ニ送付ノ手續ヲ爲スヘシ

第二節　歲入決算明細書

第七十條　大藏大臣ハ歲入豫算明細書ト同一ノ區分ニ依リ歲入決算明細書ヲ調製シ各項每ニ豫算ニ對スル增減ノ事由ヲ說明スヘシ

第七十一條　歲入事務管理廳ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ每年度收入濟歲入額ニ付豫算ニ對スル增減計算書ヲ調製シ翌年度七月三十一日迄ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第七十二條　各省大臣ハ各省豫定經費要求書ト同一ノ區分ニ依リ其ノ省所管ニ屬スル經費ノ決算報告書ヲ調製シ翌年度七月三十一日迄ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第七十三條　歲入徵收官ハ會計檢査院ニ證明ノ爲歲入徵收額計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ其ノ歲入事務管理廳ニ送付シ歲入事務管理廳ハ之ヲ會計檢査院ニ送付スヘシ

第七十四條　支出官ハ會計檢査院ニ證明ノ爲支出計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ其ノ所管大臣ニ送付シ所管大臣ハ之ヲ會計檢査院ニ送付スヘシ

第七十五條　前二條ノ計算書ハ歲入事務管理廳又ハ所管大臣ヨリ特ニ委任ヲ受ケタル官吏ヲシテ直ニ之ヲ會計檢査院ニ送付セシムルコトヲ得

第三節　國債計算書

第七十六條　國債計算書ハ大藏大臣之ヲ調製スヘシ

第七十七條　國債計算書ニハ左ニ揭クル事項ヲ示スヘシ

一　當該年度末日ニ於ケル國債ノ種類及現在高ヲ示ス計算
二　當該年度ニ於テ償還シ及支拂ヒタル各種國債ノ元高及利子ノ計算
三　最近五年度間ニ於ケル各種國債增減ノ情況ヲ示ス計算

第六章　定額繰越及定額戾入

第一節　定額繰越

第七十八條　各省大臣會計法第二十七條及第二十八條ノ規定ニ依リ定額ノ繰越ヲ要スルトキハ翌年度四月三十日迄ニ繰越計算書ヲ調製シ各事

〔棒法〕

前項ノ規定ニ依ル現金ノ繰替使用ニ關スル手續ハ所管大臣大藏大臣ト

〔棒法〕

件毎ニ其ノ事由ヲ示シ大藏大臣ノ承認ヲ求ムヘシ

繰越計算書ハ歳出豫算ト同一ノ區分ニ依リ調製シ左ニ掲クル事項ヲ示スヘシ

一　繰越ヲ要スル項ノ定額

二　定額中支出濟ト爲リタル額及當該年度所屬トシテ支出スヘキ額

三　定額中翌年度ニ繰越ヲ要スル額

四　定額中不用ト爲ルヘキ額

第七十九條　會計法第二十七條ノ規定ニ依リ繰越ヲ爲サムトスルトキハ豫算ニ於テ明許シタル場合ヲ除クノ外前條ノ繰越計算書ニ契約書ノ寫其ノ他ノ參照書類ヲ添附スヘシ

第八十條　大藏大臣各省定額ノ繰越ヲ承認シタルトキハ繰越計算書ノ寫ヲ添ヘ之ヲ會計檢査院ニ通知スヘシ

第二節　定額戻入

第八十一條　支出濟ト爲リタル歳出ノ返納金ハ其ノ支拂ヒタル經費ノ定額ニ之ヲ戻入ルルコトヲ得但シ重大ナル過失ニ因リ誤拂過渡ト爲リタル金額ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第八十二條　支出官前條ノ規定ニ依リ定額ニ戻入レムトスルトキハ返納人ヲシテ其ノ金額ヲ返納セシムヘシ

第八十三條　日本銀行ニ於テ前條ノ返納金ヲ領收シタルトキハ之ニ相當スル金額ヲ支拂豫算定額ニ戻入ノ記帳ヲ爲シ其ノ旨ヲ支出官ニ通知スヘシ

第八十四條　毎年度ニ屬スル定額戻入ヲ爲スハ翌年度四月三十日限トス

第七章　契約

第一節　總則

第八十五條　各省大臣又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏契約ヲ爲サムトスルトキハ契約ノ目的、履行期限、保證金額、契約違反ノ場合ニ於ケル保證金ノ處分、危險ノ負擔其ノ他必要ナル事項ヲ詳細ニ記載シタル契約書ヲ作成スヘシ

第八十六條　契約書ニハ當該官吏記名捺印スルコトヲ要ス

第八十七條　各省大臣ハ左ニ掲クル場合ニ於テハ第八十五條ニ規定スル契約書ノ作成ヲ省略スルコトヲ得但シ第五號ノ場合ニ於テハ大藏大臣ト協議スルコトヲ要ス

一　三千圓ヲ超エサル指名競爭契約又ハ隨意契約ヲ爲ストキ

二　外國ニ於テ五千圓ヲ超エサル指名競爭契約又ハ隨意契約ヲ爲ストキ

三　競賣ニ付スルトキ

四　物品賣拂ノ場合ニ於テ買受人直ニ代金ヲ納付シ其ノ物品ヲ引取ルトキ

五　第一號及第二號以外ノ隨意契約ニ付各省大臣契約書ヲ作成スルノ必要ナシト認ムルトキ

〔樺法〕

第八十八條　政府ト契約ヲ結ハムトスル者ハ現金又ハ國債ヲ以テ契約金額百分ノ十以上ノ保證金ヲ納ムヘシ

指名競爭ニ付シ又ハ隨意契約ニ依ル場合ニ於テハ各省大臣ハ保證金ノ全部又ハ一部ヲ免除スルコトヲ得前條第三號及第四號ノ場合亦同シ

第八十九條　契約者其ノ義務ヲ履行セサルトキハ契約ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外保證金ハ政府ノ所得トス

第九十條　政府ニ屬スル財産ノ賣拂ヲ爲ストキハ法律勅令ニ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外其ノ引渡前又ハ移轉ノ登記若ハ登錄前其ノ代金ヲ完納セシムヘシ

第九十一條　財産ノ貸付料ハ法律勅令ニ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外之ヲ前納セシムヘシ但シ貸付期間ノ長期ニ涉ルモノニ付テハ毎年定期ニ之ヲ納付セシムルコトヲ得

第九十二條　各省大臣三千圓ヲ超ユル工事、製造又ハ物件ノ買入ニ付テハ竣功又ハ完納ノ後之ヲ監督又ハ檢査シタル官吏又ハ技術者ヲシテ其ノ調書ヲ作成セシムヘシ

契約ニ依リ工事若ハ製造ノ既濟部分又ハ物件ノ既納部分ニ對シ完濟前又ハ完納前ニ代價ノ一部分ヲ支拂ハムトスルトキハ各省大臣ハ特ニ檢査ノ官吏又ハ技術者ヲ命シ事實ヲ調定シテ其ノ調書ヲ作成セシムヘシ前各項ノ調書ニ依ルニ非サレハ支拂ヲ爲スコトヲ得ス

第九十三條　前條第二項ノ支拂ヲ爲サムトスルトキハ工事又ハ製造ニ付テハ其ノ既濟部分ニ對スル代價ノ十分ノ九、物件ノ買入ニ付テハ其ノ既納部分ニ對スル代價ヲ超ユルコトヲ得ス但シ箇々ニ分立シ得ヘキ性質ノ工事又ハ製造ニ於ケル各箇ノ完濟部分ニ對シテハ其ノ代價ノ全額迄ヲ支拂フコトヲ得

第九十四條　前二條ノ規定ハ工事又ハ製造以外ノ請負契約ノ全部又ハ一部ノ履行ニ對シ支拂ヲ爲サムトスル場合ニ之ヲ準用ス

第九十五條　本章ニ定ムルモノノ外契約ニ關シ必要ナル事項ハ大藏大臣之ヲ定ム

第二節　一般競爭契約

第九十六條　一般ノ競爭ニ加ラムトスル者ニ必要ナル資格ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依ル

〔樺法〕

第九十七條　各省大臣ハ左ノ各號ノ一ニ該當スト認メタル者ヲ爾後二年間競爭ニ加ラシメサルコトヲ得之ヲ代理人、支配人、番頭、手代又ハ技術者トシテ使用シタル者亦同シ

一　契約ヲ履行スルニ當リ故意ニ工事、製造又ハ物件ヲ粗雜ニシ又ハ其ノ品質數量ニ關シ欺罔ノ行爲アリタル者

二　競爭ニ際シ不當ニ價格ヲ競上ケ又ハ競下クル目的ヲ以テ連合ヲ爲シタル者

三　競爭ノ加入ヲ妨害シ又ハ競落者ノ契約締結若ハ契約ノ履行ヲ妨害シタル者

四　檢査監督ニ際シ掛員ノ職務執行ヲ妨ケタル者

五　正當ノ理由ナクシテ契約ヲ履行セサリシ者

六　前各號ノ一ニ該當スト認メラレタル後二年ヲ經過セサル者ヲ契約ニ際シ代理人、支配人、番頭、手代又ハ技術者トシテ使用スル者

第九十八條　各省大臣ハ前條ノ規定ニ該當スル者ヲ入札代理人トシテ使用スル者ヲ競爭ニ加ラシメサルコトヲ得

第九十九條　競爭ニ加ラムトスル者ハ現金又ハ國債ヲ以テ見積金額百分ノ五以上ノ保證金ヲ納ムヘシ

第百條　競落者契約ヲ結ハサルトキハ保證金ハ政府ノ所得トス

第百一條　競爭ハ第百九條ニ規定スル場合ヲ除クノ外總テ入札ノ方法ヲ以テ之ヲ行フヘシ

第百二條　入札ノ方法ニ依リ競爭ニ付セムトスルトキハ其ノ入札期日ノ

前日ヨリ起算シ少クトモ十日前ニ官報、新聞紙、掲示其ノ他ノ方法ヲ以テ公告スヘシ但シ急ヲ要スル場合ニ於テハ其ノ期間ヲ五日迄ニ短縮スルコトヲ得

第百三條　前條ノ公告ニハ左ニ掲クル事項ヲ示スヘシ

一　競爭入札ニ付スル事項

二　契約條項ヲ示ス場所

三　競爭執行ノ場所及日時

四　入札ノ保證金額

第百四條　各省大臣又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏ハ其ノ競爭入札ニ付スル事項ノ價格ヲ豫定シ其ノ豫定價格ヲ封書トシ開札ノトキニ之ヲ開札場所ニ置クヘシ

第百五條　開札ハ公告ニ示シタル場所、日時ニ入札者ノ面前ニ於テ之ヲ行フヘシ但シ入札者ニシテ出席セサル者アルトキハ入札ニ關係ナキ官吏ヲシテ開札ニ立會ハシムヘシ

入札者ハ一旦提出シタル入札書ノ引換、變更又ハ取消ヲ爲スコトヲ得

第百六條　開札ノ場合ニ於テ各入ノ入札中第百四條ノ規定ニ依リ豫定シタル價格ノ制限ニ違シタルモノナキトキハ直ニ再度ノ入札ヲ爲サシムルコトヲ得

第百七條　落札トナルヘキ同價ノ入札ヲ爲シタル者二人以上アルトキハ直ニ抽籤ヲ以テ落札者ヲ定ムヘシ

入札ハ無效トス

競爭加入ノ資格ナキ者ノ爲シタル入札又ハ入札ニ關スル條件ニ違反シタル入札ハ無效トス

第百八條　開札ノ場合ニ於テ各入ノ入札中第百四條ノ規定ニ依リ豫定シタル價格ノ制限ニ違シタルモノナキトキハ直ニ再度ノ入札ヲ爲サシムルコトヲ得

第百九條　落札トナルヘキ同價ノ入札ヲ爲シタル者二人以上アルトキハ直ニ抽籤ヲ以テ落札者ヲ定ムヘシ

第百十條　指名競爭ニ付セムトスルトキハ成ルヘク五人以上ノ入札者ヲ指定スヘシ

前項ノ場合ニ於テ當該入札者中出席セサル者アルトキハ入札ニ關係ナキ官吏ヲシテ之ニ代リ抽籤ヲ爲サシムヘシ

第百八條　入札者若ハ落札者ナキ場合又ハ落札者契約ヲ結ハサル場合ニ於テ更ニ入札ニ付セムトスルトキハ第百二條ノ期間ハ五日迄ニ之ヲ短縮スルコトヲ得

第百九條　各省大臣動產ノ買入賣拂ニ付特別ノ事由ニ因リ必要アリト認ムル場合ニ於テハ大藏大臣ト協議シ本節ノ規定ニ準シ競爭ニ付スルコトヲ得

第三節　指名競爭契約

第百十條　會計法第三十一條第二項ノ規定ニ依ル外左ニ掲クル場合ニ於テハ指名競爭ニ付スルコトヲ得

一　契約ノ性質又ハ目的ニ依リ競爭ニ加ルヘキ者少數ニシテ一般ノ競爭ニ付スルノ必要ナキトキ

二　一萬圓ヲ超エサル工事若ハ製造ヲ爲サシメ又ハ五千圓ヲ超エサル財產ノ買入ヲ爲ストキ

三　賃借料年額又ハ總額三千圓ヲ超エサル物件ノ借入ヲ爲ストキ

四　豫定賃貸料年額又ハ總額千圓ヲ超エサル物件ノ賃付ヲ爲ストキ

五　豫定代價二千圓ヲ超エサル財產ノ賣拂ヲ爲ストキ

六　前四號以外ノ契約ニシテ其ノ金額四千圓ヲ超エサルトキ

隨意契約ニ依ルコトヲ得ヘキ場合ニ於テハ指名競爭ニ付スルコトヲ妨ケス

第百十一條　指名競爭ニ付セムトスルトキハ成ルヘク五人以上ノ入札者ヲ指定スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ第百三條ニ規定シタル事項ヲ各入札者ニ通知スヘシ

第百十二條　各省大臣會計法第三十一條第二項ノ規定ニ依リ指名競爭ニ付シテ契約ヲ結ヒタルトキハ事由ヲ詳具シ直ニ之ヲ會計檢査院ニ通知スヘシ

第百十三條　第九十七條乃至第百一條、第百四條乃至第百七條ノ規定ハ指名競爭契約ノ場合ニ之ヲ準用ス

各省大臣必要ナシト認ムル場合ニ於テハ第九十九條ノ保證金ハ之ヲ免除スルコトヲ得

第四節　隨意契約

第百十四條　會計法第三十一條第二項ノ規定ニ依ル外左ニ掲クル場合ニ於テハ隨意契約ニ依ルコトヲ得

一　契約ノ性質又ハ目的カ競爭ヲ許ササルトキ

二　急迫ノ際競爭ニ付スルノ暇ナキトキ

三　政府ノ行爲ヲ秘密ニスルノ必要アルトキ

四　五千圓ヲ超エサル工事若ハ製造ヲ爲サシメ又ハ三千圓ヲ超エサル財產ノ買入ヲ爲ストキ

五　賃借料年額又ハ總額千五百圓ヲ超エサル物件ノ借入ヲ爲ストキ

六　豫定賃貸料年額又ハ總額五百圓ヲ超エサル物件ノ賃付ヲ爲ストキ

七　豫定代價千圓ヲ超エサル財產ノ賣拂ヲ爲ストキ

八　前四號以外ノ契約ニシテ其ノ金額二千圓ヲ超エサルトキ

九　勞力ノ供給ヲ請負ハシムルトキ

十　運送又ハ保管ヲ爲サシムルトキ

十一　官廳相互間ニ於テ契約ヲ爲ストキ

十二　農工商、學校、試驗所、監獄其ノ他之ニ準スヘキモノニ生產又ハ製造ニ係ル物品ノ賣拂ヲ爲ストキ

十三　法律勅令ノ規定ニ依リ財產ノ讓與又ハ無償貸付ヲ爲シ得ル者ニ其ノ財產ノ賣拂又ハ貸付ヲ爲スヘキトキ

十四　非常災害アリタル場合ニ於テ罹災者ニ政府ノ生產ニ係ル建築材料ノ賣拂ヲ爲スヘキトキ

十五　外國ニ於テ契約ヲ爲スヘキトキ

十六　道府縣市町村其ノ他ノ公法人、產業組合又ハ慈惠ノ爲ニ設立シタル敎育所ヨリ直接ニ物件ノ買入又ハ借入ヲ爲スヘキトキ

十七　移住地域內ニ於ケル土木工事ヲ其ノ移住民ノ共同請負ニ付スルトキ

十八　學術又ハ技藝ノ保護奬勵ノ爲之ニ必要ナル物件ノ買拂又ハ貸付ヲ爲スヘキトキ

十九　產業又ハ衛生事業ノ保護奬勵ノ爲之ニ必要ナル物件ノ賃付ヲ爲スヘキトキ又ハ生產者ヨリ直接ニ其ノ生產若ハ製造ニ係ル物品ノ買入ヲ爲スヘキトキ

二十　公共用、公用又ハ公益事業ニ供スル爲必要ナル物件ヲ直接ニ公共團體又ハ起業者ニ賣拂又ハ貸付ヲ爲スヘキトキ

二十一　土地、建物、林野又ハ其ノ產物ヲ之ニ特別ノ緣故アル者ニ賣拂又ハ貸付ヲ爲スヘキトキ

二十二　事業經營上特ニ必要ナル物品ノ買入ヲ爲シ若ハ製造ヲ爲サシメ又ハ土地建物ノ借入ヲ爲スヘキトキ

二十三　法律勅令ノ規定ニ依リ問屋業者ニ販賣ヲ委託スルトキ又ハ之ヲ
　ヲシテ販賣ヲ爲サシムルトキ

前項第參十九號乃至第四十三號ノ場合ニ於テハ所管大臣ハ前項ノ協議ヲ遂ケタルトキハ大藏大臣ニ之ヲ會計檢査院ニ通知スヘシ

協議スルコトヲ要ス

第百十五條　販爭ニ付スルモ入札者ナキトキ又ハ再度ノ入札ニ付スルモ落札者ナキトキハ隨意契約ニ依ルコトヲ得但シ保證金及期限ヲ除クノ外最初競爭ニ付スル場合ニ於ケル價格其ノ他ノ條件ヲ變更スルコトヲ得

第百十六條　落札者契約ヲ結ハサルトキハ其ノ落札金額ノ制限内ニ於テ隨意契約ニ依ルコトヲ得但シ期限ヲ除クノ外最初競爭ニ付スルトキ定メタル價格其ノ他ノ條件ヲ變更スルコトヲ得

第百十七條　前二條ノ場合ニ於テ豫定價格又ハ落札金額ヲ分割計算シ得ル場合ニ限リ該價格又ハ金額ノ制限内ニ於テ各日附ニ付之ヲ數人ニ分割シテ契約ヲ爲スコトヲ妨ケス

第百十八條　隨意契約ニ依ラムトスルトキハ成ルヘク二人以上ヨリ見積書ヲ徵スヘシ

第百十九條　各省大臣會計法第三十一條第二項ノ規定ニ依リ隨意契約ニ依リタル場合ニ於テハ事由ヲ詳具シ直ニ之ヲ會計檢査院ニ通知スヘシ

第八章　保管金及有價證券

第百二十條　政府ハ法律勅令ノ規定ニ依ルニ非サレハ公有又ハ私有ノ現金有價證券ノ出納保管ヲ爲スコトヲ得ス

第百二十一條　出納官吏又ハ出納員其ノ保管ニ關スル現金ヲ亡失シ又ハ其ノ行爲ニ因リ政府ニ損失ヲ生セシメタル場合ニ於テハ所管大臣ハ速ニ會計檢査院ニ通知スヘシ

第百二十二條　出納官吏ハ其ノ責任ニ屬スル現金ノ出納保管ニ付最モ重キ注意ヲ爲スヘシ

第二節　責任

第百二十三條　出納官吏ハ其ノ責任ニ屬スル現金ノ出納保管ニ付最モ重キ注意ヲ爲スヘシ

出納官吏ハ其ノ責任ヲ免ルルコトヲ得ス但シ其ノ事務ヲ執ラサルコトヲ理由トシテ責任ヲ免ルルコトヲ得ス

第百二十四條　各省大臣ハ出納官吏又ハ出納員ノ行爲ニ因リ政府ニ損失ヲ生セシメタリト認ムル場合ニ於テハ會計檢査院ノ判決前ト雖其ノ出

前項ノ外特別ノ必要アル場合ニ於テハ各省大臣大藏大臣ト協議シ其ノ事務員ヲシテ現金ノ出納保管ニ關スル事務ヲ分掌セシムルコトヲ得

納ヲ命セラレタル事務員ハ主任出納官吏又ハ分任出納官吏ノ所管ニ屬スル事務ヲ分掌セシムルコトヲ得

第百二十六條　出納官吏ノ帳簿金藏ハ每年三月三十一日又ハ轉免、死亡、退官其ノ他異動アリタルトキ所管大臣檢査員ヲ命シテ之ヲ檢査セシムヘシ但シ臨時ニ現金ノ前從ヲ受ケタル官吏ノ帳簿金藏ハ定時ノ檢査ヲ要セス

大藏大臣又ハ各省大臣必要アリト認ムルトキハ臨時ニ檢査員ヲ命シテ出納官吏又ハ出納員ノ帳簿金藏ヲ檢査セシムヘシ

第百二十七條　前條ノ場合ニ於テ出納官吏ハ出納ノ檢查ヲ執行スルニ當リ當該出納官吏又ハ出納員ノ故ニ因リ自ラ檢查ヲ受クルコト能ハサルトキハ其ノ代理者又ハ特ニ所管大臣ノ命シタル官吏ヲシテ立會ヲ爲スヘシ

第百二十八條　出納官吏又ハ出納員ノ帳簿金藏ヲ檢查シタルトキハ檢定書ニ通ヲ作成シ檢查員及當該出納官吏、出納員又ハ立會人之ニ記名捺印シ一通ハ當該出納官吏、出納員又ハ立會人ニ交付シ一通ハ所管大臣ニ送付スヘシ

第百二十九條　出納官吏又ハ出納員他ノ公金ノ出納ヲ掌スルトキハ金

金又ハ有價證券ヲ保管セス

第百二十一條　政府ノ保管ニ係ル現金ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ之ヲ大藏省預金部ニ預入ルヘシ

第百二十二條　政府ノ所有又ハ保管ニ係ル有價證券ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ日本銀行ヲシテ之カ取扱ヲ爲サシムル

第百二十三條　政府ノ保管ニ係ル現金又ハ政府ノ所有若ハ保管ニ係ル有價證券ノ取扱手續ニ關シテハ法律勅令ニ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外大藏大臣之ヲ定ム

第九章　出納官吏

第一節　總則

第百二十四條　本令ニ於テ出納官吏ト稱スルハ現金ノ出納保管ヲ掌ル官吏ヲ謂フ

第百二十五條　出納官吏ハ各省大臣又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏之ヲ命シ出納官吏ノ事務ヲ補助セシムルコトヲ得

第百二十六條　各省大臣又ハ其ノ委任ヲ受ケタル官吏必要アリト認ムルトキハ出納官吏ノ代理官吏又ハ分任官吏ヲ置クコトヲ得

前項ノ代理官吏又ハ分任官吏ハ出納官吏ノ事務ノ全部ヲ代理シ分任官吏ハ其ノ一部ヲ分掌スルモノトス

第百二十七條　所管大臣ハ會計法第三十七條ノ規定ニ依リ左ニ揭クル官吏ニ現金ノ出納保管ニ關スル事務ヲ分掌セシムルコトヲ得

署ノ事務員ヲシテ現金ノ出納保管ニ關スル事務ヲ分掌セシムルコトヲ得

二　鑛區官署

三　證書官署

納官吏又ハ出納員ニ對シ辨償ヲ命スルコトヲ得

第百三十五條　前條ノ場合ニ於テ其ノ辨償ヲ命セラレタル出納官吏又ハ出納員其ノ責ヲ免ルヘキ理由アリト信スルトキハ計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ所管大臣ヲ經由シテ之ヲ會計檢查院ニ送付シ其ノ判決ヲ求ムルコトヲ得

會計檢查院ニ於テ出納官吏又ハ出納員ニ對シ辨償ノ責ナシト判決シタルトキハ其ノ既納ニ係ル辨償金ハ直ニ之ヲ還付スヘシ

第三節　檢查及證明

第百三十六條　出納官吏ノ帳簿金藏ハ每年三月三十一日又ハ轉免、死亡、退官其ノ他異動アリタルトキ所管大臣檢查員ヲ命シテ之ヲ檢查セシムヘシ但シ臨時ニ現金ノ前從ヲ受ケタル官吏ノ帳簿金藏ハ定時ノ檢查ヲ要セス

大藏大臣又ハ各省大臣必要アリト認ムルトキハ臨時ニ檢查員ヲ命シテ出納官吏又ハ出納員ノ帳簿金藏ヲ檢查セシムヘシ

第百三十七條　前條ノ場合ニ於テ出納官吏又ハ出納員ノ檢查ヲ執行スルニ當リ當該出納官吏又ハ出納員ノ故ニ因リ自ラ檢查ヲ受クルコト能ハサルトキハ其ノ代理者又ハ特ニ所管大臣ノ命シタル官吏ヲシテ立會ヲ爲スヘシ

第百三十八條　出納官吏又ハ出納員ノ帳簿金藏ヲ檢查シタルトキハ檢定書ニ通ヲ作成シ檢查員及當該出納官吏、出納員又ハ立會人之ニ記名捺印シ一通ハ當該出納官吏、出納員又ハ立會人ニ交付シ一通ハ所管大臣ニ送付スヘシ

第百三十九條　出納官吏又ハ出納員他ノ公金ノ出納ヲ掌スルトキハ金

ノ檢査ヲ執行スルモノハ併セテ他ノ公金ノ檢査ヲ行フヘシ

第百四十條　租稅其ノ他ノ歲入金ノ收納ヲ掌ル官吏ハ會計檢査院ノ檢査ヲ受クル爲出納計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ歲入徵收ヲ託由シテ之ヲ會計檢査院ニ提出スヘシ

第百四十一條　資金ノ前渡ヲ受ケタル官吏ハ會計檢査院ノ檢査ヲ受クル爲出納計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ支出官ヲ經由シテ之ヲ會計檢査院ニ提出スヘシ

第百四十二條　歲入歲出外現金ノ出納ヲ掌ル官吏ハ會計檢査院ノ檢査ヲ受クル爲出納計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ所管大臣又ハ其ノ指定シタル官吏ヲ經由シテ之ヲ會計檢査院ニ提出スヘシ

第百四十三條　第六十三條ノ規定ニ依リ現金ノ繼續使用ヲ爲ス官吏ハ會計檢査院ノ檢査ヲ受クル爲出納計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ所管大臣又ハ其ノ指定シタル官吏ヲ經由シテ之ヲ會計檢査院ニ提出スヘシ

第百四十四條　分任出納官吏ノ出納ハ總テ主任出納官吏ノ計算トシ出納員ノ出納ハ總テ所屬出納官吏ノ計算ニ取扱ヒ其ノ報告書及計算書ヲ調製シ第百四十三條ノ手續ニ準シ期間ニ執行シタル出納ノ計算書ヲ受ケ更ニ之ヲ會計檢査院ニ提出スヘシ

第百四十五條　出納官吏又ハ出納員ヨリ其ノ在職期間ニ執行シタル出納ノ計算書ヲ調製シ第百四十三條ノ手續ニ準シ期間ニ執行シタル出納ノ計算書ヲ受ケ更ニ之ヲ會計檢査院ニ提出スヘシ

第百四十六條　出納官吏又ハ出納員死亡其ノ他ノ事故ニ因リ自ラ計算書ヲ調製スルコト能ハサルトキハ所管大臣ノ命シタル官吏ヲシテ之ヲ調製セシムルコトアルヘシ

第百四十七條　出納官吏又ハ出納員ノ計算書ハ提出ノ後修正變更スルコトヲ得ス

第百四十八條　日本銀行ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ國庫金ノ出納報告及出納證明書ヲ大藏大臣ニ提出スヘシ

第十章　日本銀行ノ計算報告及出納證明

第百四十九條　日本銀行ハ會計檢査院ノ檢査ヲ受クル爲國庫金ノ出納計算書ヲ調製シ證憑書類ヲ添ヘ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第百五十條　日本銀行ハ會計檢査院ノ檢査ヲ受クル爲政府ノ爲ニ取扱フ現金ノ收支ヲ整理シ之ヲ勘定ノ計算書ニ揭記スヘシ

大藏大臣ハ第一項ノ計算書ヲ調査シ之ヲ會計檢査院ニ送付スヘシ

第百五十一條　政府ノ爲ニ取扱フ現金又ハ有價證券ノ出納保管ニ關シ政府ニ損害ヲ與ヘタル場合ニ於ケル日本銀行ノ賠償責任ニ付テハ民法ニ依ル

一　國庫金ノ出納ヲ登記スヘキ帳簿

二　支拂豫算額及支拂濟額ヲ登記スヘキ帳簿

三　國債ノ發行ニ依ル收入金ニ關スル出納ヲ登記スヘキ帳簿

四　國債元利拂資金ノ出納ヲ登記スヘキ帳簿

五　隔地者拂資金ノ收支ヲ登記スヘキ帳簿

六　有價證券ノ受拂ヲ登記スヘキ帳簿

前項ノ帳簿ノ樣式及記入ノ方法ハ大藏大臣ノ認可ヲ經テ日本銀行之ヲ定ム

第百六十一條　大藏大臣ハ會計檢査官立會ノ上每年七月三十一日前年度ノ主計簿ヲ締切ルヘシ

第十二章　雜則

第百六十二條　本令ニ依リ會計檢査院ニ提出スル計算證明書類ノ樣式及提出期限ニ付テハ會計檢査院ノ定ムル所ニ依ルヘシ

第百六十三條　前條ノ計算證明書類ヲ除クノ外本令ニ規定スル書類ノ樣式ハ大藏大臣之ヲ定ム

第百六十四條　本令ニ依リ記名捺印ヲ要スル場合ニ於テハ外國ニ在リテハ署名ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

第百六十五條　本令ニ定ムルモノヲ除クノ外收入及支出ニ關シ必要ナル事項ハ大藏大臣之ヲ定ム

附　則

第百六十六條　本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第百六十七條　左ノ勅令ハ之ヲ廢止ス

仕拂命令委任規程

會計年度開始前現金支出規則

明治二十二年勅令第百二十一號

金庫規則
明治二十三年勅令第二號
明治二十三年勅令第二十號
明治二十三年勅令第三十二號
明治二十三年勅令第三十五號
明治二十三年勅令第百四號
明治二十三年勅令第百十八號
明治二十三年勅令第百九十三號
明治二十三年勅令第二百七十三號
明治二十三年勅令第二百九十五號
明治二十四年勅令第一號
明治二十四年勅令第二十四號
明治二十四年勅令第七十五號
明治二十四年勅令第百六十三號
明治二十六年勅令第五十一號
明治二十六年勅令第七十號
明治二十六年勅令第二百二十八號
明治二十七年勅令第四十號
明治二十七年勅令第七十六號
明治二十八年勅令第百四號
明治二十九年勅令第百五十八號
明治二十九年勅令第二百四十號
明治二十九年勅令第二百六十八號
明治二十九年勅令第二百七十號
明治三十九年勅令第百一號
明治三十九年勅令第二百四十六號
明治三十九年勅令第九十三號
明治三十九年勅令第二百九十號
明治三十八年勅令第百二十八號
郵便電信及電話官署貯金法切手類
明治三十八年勅令第二百一號
明治三十八年勅令第二百二號
明治三十八年勅令第二百二十五號
明治三十八年勅令第三十二號
明治三十八年勅令第二十二號
明治三十七年勅令第二百十七號
明治三十七年勅令第二百七十八號
明治三十七年勅令第五十四號
明治三十七年勅令第十七號
明治三十七年勅令第十號
明治三十六年勅令第百八十號
明治三十六年勅令第二十三號
明治三十六年勅令第百三十六號
明治三十五年勅令第二百五號
明治三十四年勅令第百二十號

明治二十九年勅令第三百七十三號
明治三十年勅令第十五號
明治三十年勅令第二十一號
明治三十年勅令第五十八號
明治三十年勅令第百二十七號
明治三十一年勅令第三十七號
明治三十一年勅令第三十八號
帝國大學資金並學校及圖書館資金所屬森林原野並產物特別處分規則
明治三十一年勅令第百七十四號
明治三十二年勅令第二十五號
明治三十二年勅令第二百六號
明治三十二年勅令第二百二十九號
明治三十二年勅令第三百三號
明治三十二年勅令第三百六十三號
明治三十二年勅令第三百七十五號
明治三十二年勅令第四百十三號
明治三十二年勅令第四百二十四號
明治三十二年勅令第四百三十七號
明治三十三年勅令第三十九號
明治三十三年勅令第二百八十號
明治三十三年勅令第二百四十二號
明治三十四年勅令第八號
明治四十年勅令第八十四號
明治四十年勅令第百五十號
明治四十年勅令第二百二十七號
明治四十年勅令第二百六十一號
明治四十年勅令第三百四十一號
明治四十一年勅令第百三十八號
明治四十一年勅令第百五十八號
明治四十一年勅令第二百四十八號
明治四十一年勅令第三百十一號
明治四十二年勅令第六十一號
明治四十二年勅令第二百二十六號
明治四十三年勅令第三百四十一號
明治四十三年勅令第四百八號
明治四十三年勅令第四百九號
明治四十四年勅令第六十一號
明治四十四年勅令第六十二號
明治四十四年勅令第百五十六號
明治四十四年勅令第二百二十號
明治四十四年勅令第二百七十九號
大正元年勅令第七號
大正二年勅令第百三號
大正三年勅令第三號

明治三十四年勅令第百二十號
明治三十五年勅令第二百五號
明治三十五年勅令第二百三十六號
明治三十六年勅令第二十三號
明治三十六年勅令第百八十號
明治三十七年勅令第十號
明治三十七年勅令第十七號
明治三十七年勅令第五十四號
明治三十七年勅令第百七十八號
明治三十七年勅令第二百十七號
明治三十八年勅令第二十二號
明治三十八年勅令第三十二號
明治三十八年勅令第三十五號
郵便電信及電話官署貯金法切手類
明治三十八年勅令第百二十八號
明治三十八年勅令第二百一號
明治三十八年勅令第二百二號
明治三十八年勅令第二百六十五號
明治三十八年勅令第二百九十號
明治三十九年勅令第九十三號
明治三十九年勅令第百一號
明治三十九年勅令第二百四十六號
明治三十九年勅令第二百七十號

大正三年勅令第百三十五號
大正三年勅令第百三十六號
大正四年勅令第五十五號
大正四年勅令第七十八號
大正四年勅令第八十七號
大正四年勅令第九十五號
大正六年勅令第百二十五號
大正五年勅令第四十五號
大正五年勅令第百五十五號
大正五年勅令第百六十二號
大正五年勅令第百七十三號
大正五年勅令第百八十八號
大正五年勅令第百九十八號
大正五年勅令第二百十九號
大正六年勅令第五十二號
大正六年勅令第百六十二號
大正六年勅令第百八十一號
大正六年勅令第二百三十四號
大正七年勅令第百二十二號
大正八年勅令第三號
大正八年勅令第二十六號
大正八年勅令第三百六十二號
大正九年勅令第百二十五號

大正九年勅令第百三十六號
大正九年勅令第五百四十七號
大正十年勅令第百四十四號
大正十年勅令第四百二十八號
大正六年勅令第百三十二號ハ當分ノ內仍其ノ效力ヲ有ス

第百六十八條　金庫ニ納付セシムル爲納入ノ告知アリタル歲入金ニシテ本令施行前收納ヲ了セサルモノハ該納入ノ告知ニ依リ日本銀行ニ於テ之カ收納ヲ取扱ハシム

前項ノ規定ハ定額戻入ノ爲納入ノ告知アリタル返納金ニシテ本令施行前領收ヲ了セサル場合ニ之ヲ準用ス

第百六十九條　仕拂命令ニシテ本令施行前其ノ支拂ヲ了セサルモノハ仕拂命令ニ關スル從前ノ手續ニ依リ日本銀行ニ於テ本令施行後一年間之カ支拂ヲ取扱ハシム

第五十五條ノ規定ハ前項ノ支拂期間經過後仍會計法附則第五項ノ規定ニ依リ期間ノ滿了セサル債務ノ支拂ニ付之ヲ準用ス

第百七十條　大正十一年五月三十一日迄ニ支拂ノ請求ナキ大正十年度仕拂命令濟金額ニ相當スル資金ハ從前ノ例ニ依リ當該年度ノ歲出支拂未濟金トシテ之ヲ繰越整理ス

第百七十一條　本令施行前繰越整理ニ係ル資金及前條ノ繰越整理ニ係ル資金ニシテ大正十二年三月三十一日迄ニ支拂ヲ了セサルモノハ之ヲ大正十一年度ノ歲入ニ組入ルヘシ

第百七十二條　大正十年度支出濟歲出額ハ同年度歲入歲出ノ總決算及主計簿ニ於テハ仕拂命令濟歲出額ニ併算スヘシ

大正十一年度仕拂命令濟歲出額ハ同年度歲入歲出ノ總決算及主計簿ニ於テハ支出濟歲出額ニ併算スヘシ

第百七十三條　大正十年度分ニ限リ金庫ニ備ヘタル支出簿ハ第百六十條第二號ノ帳簿ニ代用セシムルコトヲ得

第百七十四條　前六條ニ規定スルモノヲ除クノ外本令施行ニ關シ必要ナル規定ハ大藏大臣之ヲ定ム

●樺太廳特別會計法

明治四十年三月二十日
法律第十八號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル樺太廳特別會計法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム（總、大、內、大臣副署）

樺太廳特別會計法

第一條　樺太廳ノ會計ハ特別トシ其ノ歲入及一般會計ノ補充金ヲ以テ其ノ歲出ニ充ツ

第二條　樺太廳特別會計ノ收入支出ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條　政府ハ每年樺太廳特別會計ノ歲入歲出豫算ヲ調製シ歲入歲出ノ總豫算ト共ニ帝國議會ニ提出スヘシ

附　則

本法ハ明治四十年度ヨリ之ヲ施行ス

●關東廳及樺太廳特別會計規則

明治四十年三月三十日
勅令第八十七號

改正　大八年四月勅令九四號、一一年三月四七號

朕關東廳及樺太廳特別會計規則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム（總、大、內、外、大臣副署）

關東廳及樺太廳特別會計規則

第一條　歲入歲出豫定計算書ハ所管大臣之ヲ調製シ前年度九月三十日迄ニ大藏大臣ニ送付スヘシ

第二條　所管大臣ハ關東廳ニ在リテハ關東長官、樺太ニ在リテハ樺太廳長官ヲ以テ支出官トシ各其ノ特別會計ニ屬スル歲出ヲ支出スル爲小切手ヲ振出サシム

關東長官及樺太廳長官ハ部下ノ官吏ニ分任シテ各其ノ特別會計ニ屬スル歲出ヲ支出スル爲小切手ヲ振出サシムルコトヲ得

第三條　關東長官及樺太廳長官ハ每年度決定ノ豫算定額ニ基キ支出官每ニ所要ノ費額ヲ定メ支拂豫算ヲ調製シ大藏大臣及會計檢查院ニ送付シ同時ニ其ノ旨日本銀行ニ通知スヘシ支拂豫算ヲ更定シタルトキ亦同シ

第四條　關東長官及樺太廳長官ハ年度內一時收入金額ニ不足ヲ生スルトキハ其ノ不足金額ヲ豫定シ所管大臣ヲ經由シテ大藏大臣ニ支拂元金ノ繰換ヲ請求スヘシ

大藏大臣ハ前項ノ請求ナキトキハ支拂元金ニ超過シタル小切手ノ支拂ヲ停止セシムルコトアルヘシ

第五條　關東長官及樺太廳長官ハ會計規則第十八條ニ基キ發シタル勅令ニ依リ第一豫備金ノ支出ヲ爲シタルトキハ其ノ金額理由ヲ示ス所ノ計算書ヲ作リ所管大臣ヲ經由シテ大藏大臣ニ通知スヘシ

第六條　大藏大臣第一豫備金支出ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ會計檢查

院ニ通知スヘシ

第六條ノ二　歲入徵收官ハ每月徵收報告書ヲ調製シ參照書類ヲ添ヘ之ヲ關東長官又ハ樺太廳長官ニ送付スヘシ

第六條ノ三　關東長官及樺太廳長官ハ徵收報告書ニ依リ每月徵收總報告書ヲ調製シ參照書類ヲ添ヘ所管大臣ヲ經由シテ其ノ翌月中ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第六條ノ四　支出官ハ每月支出濟額報告書ヲ調製シ之ヲ關東長官又ハ樺太廳長官ニ送付スヘシ

第六條ノ五　關東長官及樺太廳長官ハ支出濟額報告書ニ依リ每月支出總報告書ヲ調製シ支出濟額報告書ヲ添ヘ所管大臣ヲ經由シテ其ノ翌月中ニ之ヲ大藏大臣ニ送付スヘシ

第七條　關東長官及樺太廳長官ハ土地ノ情況ニ依リ會計規則第九十九條ノ保證金ヲ免除スルコトヲ得

第八條　歲入歲出ノ決定計算書ハ豫定計算書ト同一ノ區分ニ據リ所管大臣之ヲ調製シ翌年度七月三十一日迄ニ大藏大臣ニ送付スヘシ

第九條　關東廳及樺太廳ハ歲入簿ヲ備ヘ歲入ノ豫算額、調定濟額、收入濟額、不納缺損額及收入未濟額ヲ登記スヘシ

第十條　關東廳及樺太廳ハ歲出簿ヲ備ヘ歲出ノ豫算額、豫算決定後增加額、支出濟額、翌年度繰越額及殘額ヲ登記スヘシ

第十一條　本令ニ規定セサルモノハ會計規則ノ定ムル所ニ依ル但シ會計規則第四十二條、第八十五條、第八十八條、第九十二條、第九十七條、第九十八條、第百四條、第百二十五條、第百二十六條、第百二十九條、第百三十四條、第百三十五條第二項、第百三十六條乃至第百三十八條、第百四十條及第百四十六條中各省大臣又ハ所管大臣トアルハ關東長官又ハ樺太廳長官トス

附　則

本令ハ明治四十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●會計規則及各特別會計規則ノ規定ニ依リ調製スルコトヲ要スル帳簿ノ樣式及記入ノ方法竝書類ノ樣式

大正十一年三月二十九日
大藏省令第二十號

改正　大一三年三月大藏省令九號、一四年四月一〇號、一五年九月三八號、昭元年一二月六號、二年三月四號、七月二〇號、一〇月三〇號、四年四月三號、五月五號、七月一三號、九月一八號、五年六月一五號、六年一二月三四號

會計規則及各特別會計規則ノ規定ニ依リ調製スルコトヲ要スル帳簿ノ樣式及記入ノ方法竝書類ノ樣式左ノ通之ヲ定ム

一支拂豫算書　別表第一號書式ニ依ル
一支拂豫算更定計算書　別表第二號書式ニ依ル
一年度開始前支出計算書　別表第三號書式ニ依ル
一徵收報告書　別表第四號書式ニ依ル
一徵收總報告書　別表第五號書式ニ依ル
一徵收簿　別表第六號書式ニ依ル
一歲入簿　別表第七號書式ニ依ル
一支出濟額報告書　別表第八號書式ニ依ル
一支出總報告書　別表第九號書式ニ依ル
一繰越計算書　別表第十號書式ニ依ル
一支出簿　別表第十一號書式ニ依ル
一歲出簿　別表第十二號書式ニ依ル
一現金領收證書　別表第十三號書式ニ依ル
一現金出納簿　別表第十四號書式ニ依ル
一國庫日記簿　別表第十五號書式ニ依ル
一國庫原簿　別表第十六號書式ニ依ル
一歲入主計簿　別表第十七號書式ニ依ル
一歲出主計簿　別表第十八號書式ニ依ル
一作業會計、海軍工廠資金會計、朝鮮鐵道用品資金會計及臺灣官設鐵道用品資金會計日記簿　別表第十九號書式ニ依ル
一造幣局會計日記簿　別表第二十號書式ニ依ル
一帝國鐵道會計日記簿　別表第二十一號書式ニ依ル
一健康保險會計日記簿　別表第二十二號書式ニ依ル
一簡易生命保險會計日記簿　別表第二十二號書式ニ依ル
一郵便年金會計日記簿　別表第二十二號ノ二書式ニ依ル
一大藏省退金部會計日記簿　別表第二十二號ノ三書式ニ依ル
一朝鮮簡易生命保險會計日記簿　別表第二十二號ノ四書式ニ依ル
一家畜再保險會計日記簿　別表第二十二號ノ五書式ニ依ル
一勞働者災害扶助責任保險會計日記簿　別表第二十二號ノ六書式ニ依ル
一米穀需給調節會計日記簿　別表第二十三號書式ニ依ル
一製鐵所會計日記簿　別表第二十三號ノ二書式ニ依ル
一特別會計原簿　別表第二十四號書式ニ依ル
一特別會計補助簿　別表第二十五號書式ニ依ル
一支拂豫算更定計算書　別表第二十六號書式ニ依ル
一受拂勘定表　別表第二十七號書式ニ依ル
一帝國鐵道會計貸借對照表　別表第二十八號書式ニ依ル
一帝國鐵道會計損益計算表　別表第二十九號書式ニ依ル
一帝國鐵道會計資本增減表　別表第三十號書式ニ依ル
一帝國鐵道會計固定財產價格增減表　別表第三十一號書式ニ依ル
一固定資本價格增減、簡易生命保險、郵便年金、朝鮮簡易生命保險、家畜再保險又ハ勞働者災害扶助責任保險會計積立金明細目錄　別表第三十二號書式ニ依ル
一健康保險、簡易生命保險、郵便年金、朝鮮簡易生命保險、家畜再保險又ハ勞働者災害扶助責任保險會計積立金明細目錄　別表第三十三號書式ニ依ル

附　則

本令ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

左ノ大藏省令ハ之ヲ廢止ス

明治二十三年大藏省令第九號
明治二十六年大藏省令第三十二號
明治三十年大藏省令第五號
明治四十年大藏省令第十七號
明治四十二年大藏省令第十六號
明治四十三年大藏省令第四十五號
明治四十五年大藏省令第九號
大正五年大藏省令第三號
大正九年大藏省令第二十一號
大正十年大藏省令第十一號
大正十年大藏省令第十六號

本令施行ノ際現存スル帳簿及用紙ハ當分ノ內之ヲ取繕ヒ使用スルコトヲ得

第一號書式

（別表）

支　拂　豫　算　書

何省所管

某年度歳出（何々會計歳出）經常部（臨時部）

支出官官氏名　　日本銀行何店

款	項	金額
		圓
何	何	0
	何	0
	何	0
		0

年　月　日

支拂豫算書ヲ調製スル官吏官氏名㊞

大藏大臣（會計檢查院長）宛

備考

一用紙ハ厚質雲砂引美濃紙トシ左方ニ約一寸ノ綴代ヲ設クヘシ第二號乃至第五號、第八號乃至第十號書式亦同シ

二本書式中日本銀行何店トアルハ支出官ノ振出ス小切手ノ支拂店名ヲ謂フ第二號、第三號及第十四號書式亦同シ

三本書式ハ罫線其ノ他凡テ墨書スルモノトス第二號乃至第五號、第八號乃至第十號、第十三號、第二十七號乃至第三十三號書式亦同シ

第二號書式

支　拂　豫　算　更　定　計　算　書

何省所管　　某年度歳出（何々會計歳出）經常部（臨時部）

支出官官氏名　　日本銀行何店

款	項	增	減
		圓	圓
何	何	0	
	何		0
		0	0

年　月　日

支拂豫算書ヲ調製スル官吏官氏名㊞

大藏大臣（會計檢查院長）宛

第三號書式

年度開始前支出計算書

何省所管　　某年度歳出（何々會計歳出）經常部（臨時部）

支出官官氏名　　日本銀行何店

款	項	金額
		圓
何	何	0
	何	0
		0

年　月　日

年度開始前支出計算書ヲ調製スル官吏官氏名㊞

大藏大臣（會計檢查院長）宛

計歳入）徴収報告書

何　月　分

濟額 本月迄累計	不納欠損額 本月分	不納欠損額 本月迄累計	收入未濟額	現金拂込濟仕譯	
圓	圓	圓	圓		
0	0	0	0		
0	0	0	0	前月迄拂込未濟	0
0	0	0	0	本月中現金領收額	0
					0
0	0	0	0	本月中現金拂込高	0
0	0	0	0	翌月へ越高	
0	0	0	0		
0	0	0	0		

氏名㊞

トス
ニ充ツル徴收總報書甲第五號更正官吏ヲ調製スヘキ官吏第五號甲書ノ合計ニ於テ徴收ハ序ニ依リ總報告書送付ヲ調製スルモノトス

〔横法〕

第四號書式甲

某年度歳入（何々會計）

何省所管　何廳　何年

款	項	目	事由	調定濟額 本月分	調定濟額 本月迄累計	收入徴收官 本月分
				圓	圓	圓
經常	常	部				
何	何	何		0		
		〃	調定外誤納額	0	0	0
	何	何		0	0	0
				0	0	0
臨時	時	部				
何	何	何		0	0	0
		何		0	0	0
				0	0	0
				0	0	0

年　月　日
歳入徴收官

備考
一本特式ニハ日本銀行ノ月報ニ別會計ニ於テ徴收ノ本日ニ依リ徴收ノ例ニ依リ徴收ノ書ニ附シ徴收ノ名ヲ以テ官氏及ヒ官吏ノ奥ニ合ヲ日ヲ突キ書ノ計ニ年月

〔横法〕

第五號書式甲

何省所管　　某年度歲入（何々會計歲入）何年

款	項	目	事由	調定濟額 本月分	調定濟額 迄本月累計	收入 本月分
				圓	圓	圓
經何	常何	部何	調定外誤納額	0	0	0
〃何	〃何	〃何	〃	0	0	0
				0	0	0
臨何	時何	部何		0	0	0
〃何	〃何	〃何		0	0	0
				0	0	0
				0	0	0
				0	0	0

年　月　日

歲入徵收官吏　官名　圓

備考

一本書ニハ歲入徵收官ヨリ提出スル日本銀行ノ月計表ヲ調製スル官吏ノ月計ハ計算書ヲ調製シ之ニ日本銀行ノ徵收報告書ヲ添ヘ徵收報告書送付ノ順序ニ依リ送付スルモノトス

二大學特別會計規則第二十條ノ二ノ徵收集計報告書ニ異動ナク現金拂込高ノミニ異動アル月ニ於テハ徵收報告書ヲ要セス單ニ本書式ニ依リ現金拂込濟仕譯書ヲ調製スヘシ

第五號書式乙

收入金拂込未濟內譯報告書

某年度歲入（何々會計歲入）經常部（臨時部）

何省所管　　何年何月分

廳名	徵收報告書 年月		拂込未濟額	事由
			圓	
何廳	何	何	0	
何廳		〃	0	
			0	

年　月　日

官廳名　圓

備考

一本書ハ徵收總報告書現金拂込濟仕譯ノ欄內ニアル翌月ヘ越高ノ內譯ト二拂込遲滯セルモノハ其ノ事由ヲ記載スヘシ

〔棒法〕

第四號書式乙

現金拂込濟仕譯書

某年度歲入（何々會計歲入）經常部（臨時部）

何省所管　　何廳　　何年何月分

摘要	金額	備考
	圓	
前月迄拂込未濟	0	
本月中現金拂込高	0	
翌月ヘ越高	0	

年　月　日

歲入徵收官　官氏名　圓

備考

歲入調定濟額、收入濟額及不納缺損額ニ異動ナク現金拂込高ノミニ異動アル月ニ於テハ徵收報告書ヲ要セス單ニ本書式ニ依リ現金拂込濟仕譯書ヲ調製シ之ニ日本銀行ノ月計表ヲ添ヘ徵收報告書送付ノ順序ニ依リ送付スルモノトス

計歲入徵收總報告書

何月分

調定濟額 本月迄累計	不納缺損額 本月分	不納缺損額 本月迄累計	收入濟額	現金拂込濟仕譯
圓	圓	圓	圓	
0	0	0	0	前月迄拂込未濟　0
0	0	0	0	本月中現金領收額　0
0	0	0	0	本月中現金拂込高　0
0	0	0	0	0
0	0	0	0	翌月ヘ越高　0
0	0	0	0	

氏名　圓

突合表ヲ添附スルモノトス

此ノ書式ヲ準用ス

〔棒法〕